

会 議 録

会議の名称		つくば市図書館協議会（第1回）		
開催日時		令和3年8月5日（木） 開会 14：00 閉会 16：00		
開催場所		茨城県つくば美術館2階講座室		
事務局（担当課）		教育局中央図書館		
出席者	委員	坏文雄、鷺田美加、齋藤てる、鈴木もえみ、小林忍、石川正昭、柳下浩一朗、清水智子、平岡雅美、齋藤信一		
	その他			
	事務局	森田教育長、柴原館長、松浦副館長、玉木係長、川田係長、大塚主事		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
議題		令和3年度重点事業等について 令和3年度事業計画について 令和3年度蔵書点検報告について つくば市立中央図書館運営上の指標と数値目標について 令和2年度利用者満足度調査について その他		
会議録署名人			確定年月日	令和 年 月 日
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 教育長挨拶 4 委員及び職員紹介 5 会長挨拶 6 議事 7 閉会			

<開会>

成立要件を確認し、つくば市図書館協議会が成立することを告げ、開会の宣言を行った。

<委嘱状交付>

つくば市教育研究会、学校図書館研究部長である平岡雅美校長が、図書館協議会委員に任命された。任期はつくば市立図書館条例第三条第5項の規定により、前任者の在任期間となるため、令和3年8月1日から、令和4年6月30日までとなった。森田教育長から委嘱状が交付された。

<教育長挨拶>

皆さんこんにちは。図書館協議会の開催に当たり一言御挨拶申し上げたいと思います。

委員の皆様には、御多用の中、そしてお暑い中、このようにお集まりをいただきまして、大変ありがとうございます。また日頃から、図書館サービスにつきまして様々な御意見を頂戴し、御指導御鞭撻いただいておりますことに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大ということで、いろいろな影響を受けているわけですがけれども、この図書館においても昨年度は休館するというようなこともありましたし、それから1月には緊急事態宣言ということで、やはり休室するようなことがありました。

また、昨日から感染拡大の宣言があつて、今、まん防ですか。そういう形で言われておりますけれども、私たちとしてはできるだけ工夫をして、この図書館サービスを止めないようにしていきたいなというふうに考えているところです。

そしてつくば市の方は、これからますます子供たちの数が増えるということで、令和5年には小学校が2校、中学校1校、6年には小中学校が1校ずつということで、2年間で計5校の学校を新設すると、開校するということになっております。

その中でもですね、この図書館サービスと連携したような、サービスができる

といいなということで今、サービス拡大ということを進めているところでございます。できましたらこの図書をそこで借りられるとかですね、あとは図書室を開放できる部分を開放するとかですね、そういうことも進められればいいかなというふうに思っています。

人口規模からすると、決して豊かな図書館サービスというわけにはなかなかいかないところもありますので、これからますます地域に密着した、そういう拠点づくりとか、そういうことで頑張らなきゃいけないなというふうに思っているんですけども、自動車図書館ですね。これがですね、1台追加できることになりまして、今年度末には、なんとかできるということで、今度はちょっと形は小さいんですけども、そういうものの準備ができるということで、さらにフットワークよく図書館サービスができるのではないかなとそんなふうに思っています。

皆さんには本当にこれからも御意見を頂戴しながら、私たちも参考にさせていただいて、できる限り良い図書館サービスというのを目指していきたいと思えます。本日も忌憚のない御意見を頂戴できればと思いますので、何卒よろしくお願いいたします。

#### <出席委員及び職員紹介>

出席した委員及び職員が、各自、自己紹介を行った。

#### <会長挨拶>

私は、月に7回ほど俳句の会をやっているのですが、コロナコロナで、あそこも駄目、ここも駄目、いつまで続くんでしょうね、図書館の人も大変だなと思えますが、よろしくお願いします。

新聞で見ましたけれども、県立図書館がリフォームしたとか、コーヒーショップがどうのこうなので、県知事やなんかと一緒に写っております。そういう時代なんだなと。まあ市の方もお金もないでしょうが、教育長さんはじめ、理解をいただいて、つくば市民は図書館への関心が非常に高いのでね、よろしくお願いしますね。図書館のイメージは、市のイメージと一緒にですから、よろしくお願いします。

<議事>

事務局：会長ありがとうございました。それでは議事に移ります。会議の議長はつくば市図書館協議会運営規則第二条第3項の規定により会長が務めることとなっております。これより先の進行は、会長にお願いいたします。会長よろしくお願いいたします。

会長：それでは、議事の1ですが、令和3年度重点事業等について、まず事務局の方からお願いいたします。

(1) 令和3年度重点事業等について

事務局：配布資料に基づき説明。

会長：ありがとうございました。重点事業5点、今、説明していただきました。これは順番どこでも構いませんから、委員の方どうぞ。発言をしてください。

委員：御説明ありがとうございました。2番のつくば市域における図書館間の連携強化について、筑波大学さんと直接の相互貸借ができるようになったっていうのが本当に素晴らしいと思って、すごく喜んで聞かせていただきました。県の方でも、やはり県を介して、今まで行われていたことが、本当にあんなに近いのに、こちらを通してもらわなきゃいけないということで、かなりこう、心苦しさも感じていらっしゃる感じだったんですが、実際にその2週間ぐらいかかっていた配送期間がどのくらい短くなったのかというのを質問としてお聞きします。

事務局：はい、ありがとうございます。実際に本の搬送をどういうふうに行っているかということの説明いたします。週に1回、水曜日に、当館の配送を担当している職員が、大学図書館さんの方へお伺いしております。そこで、相互貸借とかで用意いただいたものを、受け取ってくるということで、定期の搬送ルートを作って、今運行しているというところです。

委員：ありがとうございます。やはりこれからの時代、書籍を、予算を大きく取ってどんどん増やしていける、あるいはいく時代ではないと思うんですね。本当に限られた資源をどうやってみんなで有効活用していくかというときに、や

はり相互貸借とそれからブックポストの増設、この二つでもっともっと、今あるつくば市内、県内の財産を共有していけるかなというふうに思いますので、本当に素晴らしいと思います。ぜひ継続をお願いしたいと思います。

委員：4番の中央図書館の施設改修計画の検討、大変楽しみに期待しております。よろしくお願ひします。後程色々資料についての御説明があるかとは思いますが、それとの関係で1点だけ。

紛失図書がかなりあるということを知って、統計がいっぱい書いてあった資料があったんですけど、びっくりいたしました。資料3ですね。資料3のところで、令和3年は741冊。令和元年は564冊。平成30年は498冊。平成28年は1146冊。まさかこれは、信じられない数字だったんですけども、こういったモラルについての提言が一つ、ホチキス留めの資料がございましたので、そういったところとの関わりで、安心安全な中央図書館の施設改修をしていただくことになるかと思うんですが、監視カメラをね、作るとか、なるべくコスト下げてということであれば、せいぜい監視カメラ、場合によってはダミーでも、カメラを増やすとか、色々あるかと思うんですが、掲示物とか。

つくば市はすごく、中央警察署の生活安全課さんが、児童館母親クラブの色々な活動であるとか、幼稚園の事業であるとか、もちろん小学校、小中学校など、安全委員会の活動に、講演者としておいでいただいて、いろんなところで、市民に色々な教育をしてくださっているんですけども、その中で、福笑いのけんちゃんかな、をやってくださる、上手な語りの、婦人警官の方がいらっしゃるの、図書館のおはなし室あるかと思うんですが、そういったところでも、非常に上手にやっていただけるかと思うんですね。

そういった、何て言うんですか。本来の目的は犯罪などが起こらないように、本が無くなるということも犯罪のことですので、日常的にこう、よくあの、警察官が立ち入りする建物ですみたいなことが、貼り紙がありますけれども、和やかな雰囲気福笑いのけんちゃんをやってくださる警察官の方がおはなし会をやってくださるようなことが、定期的にあるとか、近くに交番もございます

し、ここで、児童館母親クラブでやっているような、安全教育講習会っていうんですか。そういうのを、お話のお部屋でやっていただくなど、改修工事をするのであれば、そういう方々も入りやすいような、作りにしていただくと、そういう犯罪も防げるのかなと思いました。意見ですが、いろいろ御意見があるかと思えますし。

事務局：私たち施設改修という中で、確かに委員おっしゃるように、防犯的な面は若干欠落していたかなと思います。快適性の向上であるとか利便性の向上を何よりも考えていたものですから。

確かに委員おっしゃるような、例えば、本の盗難を防ぐ、具体的にはICチップを1冊ずつ入れてそれを入口でチェックするという、ICタグのシステムがあるんですけども、そういったことも含めまして、その施設改修のところで検討はしていきたいと。

どこまで実現できるか、正直ICタグを入れる費用と、1冊盗まれてしまった費用と、そういうこと言っただけとはいけないと思うんですけど、メーカーの方も、逆にその辺いろいろバランスというか、慎重に御検討されたらどうでしょうかとメーカーが言うぐらいですのでかなり費用がかかりますので、ただその、モラルというその啓発のところは、やはり教育機関でもございますので、引き続き、何らかの形で、施設改修をしなくても、もう既にできることがあるかもしれませぬので、着手していきたいと思えます。ありがとうございました。

委員：2番と3番と4番につきましては、この図書館協議会で、何年か前から話題になったり、その要望が出ていたりっていうことについて、こんなに学校が増えて、市の予算も苦しいだろうと思う中、またコロナの対策で大変な中で、非常にこう攻めているなっていう、うれしい、驚きに近い感想を持ちました。着々と皆さんの要望を叶えようとやってらっしゃるってことで頭が下がります。

一つ、1番なんですけれども、新型コロナウイルス感染症対策を強化しというふうにあるんですけども、その強化というのがどのような形になされているのか。

それからあと資料の中に、夜間に、お試しで、試験期間で、紫外線ですかね、それで消毒をするロボットのようなね、写真つきでありましたけれども、そういったものを導入されているのかどうかも含めてちょっと教えてください。

事務局：はい。感染対策の方なんですけども、紫外線照射のものにつきましては昨年度の下半期、10月から3月末まで、試験的に、市内のベンチャー企業が開発したものだものですから、ちょっと図書館で使ってみて、我々の意見をフィードバックして、我々としては図書館だともうちょっと幅が狭くてコンパクトなのがいいよねなんていうと、その後の発表会で、コンパクトなものを作って出されていたようなので、意見なんかは結構、実現していただいております。ただ本格的に導入というのは、申し訳ありません。そこまでは計画してなかったものですから、今現在は、紫外線照射の方は行っておりません。

感染症対策、その他のところで申し上げようかと思ったんですが、御存知のように、もしかするともうまん延防止が8月いっぱいというような、ちょうどこういうタイミングになりまして、中央図書館につきましても、明日からですね、閲覧席の利用時間をちょっと短くさせていただくとか、あと滞在型のサービス、インターネットの閲覧とか、視聴覚ブースの利用とか、そういったところもちょっと中止をさせていただくというような措置をとらせていただきます。

対策強化というのはその都度、その時期に合わせまして、適切な対策を、この図書館だけじゃなくてつくば市役所全庁的な、一律の対策等もございまして、そういったところと歩調を合わせながら、少しでも安心して御利用いただけるようにということを心がけてやっていきたいというふうに考えております。

委員：4番の施設改修計画で、先ほど快適性、利便性を考えての施設改修っていうこと、お話ありましたけど、まだこれからだと思うんですが、今の時点で、ちょっと具体的にこんなことを計画していますっていうのがあれば、教えてください。

事務局：私たちはずっともう、ここオープンして31年経つんですけど、オープン当初からなんですけど、やはりちょっと図書館に入った段階で、少し暗いかなというイメージがありまして、当然設計段階では、手元の明るさ、照度は十分得られてはいるんですけども、やっぱり暗いってイメージが、どうしてもありますので、その辺を払拭できるようなことができないかなというふうにまず、それは考えております。

また、基本にありますのは提言書を出していただいた懇話会の中でも、例えば中庭がありますが、せっかくあるのに、あそこのこの接続性というか、中庭をもっと活用したらどうかという御意見もありましたし、西側にはペデストリアンデッキを挟んで、中央公園という良いエリアがあるので、そこの接続性もというような御意見もありましたので、そういった観点も含めまして、今のところは具体的にこうしていこうというのは全く確定したものはございませんが、そういったところがキーワードといたしますか、一つのポイントかなと考えております。

## (2) 令和3年度事業計画について

会長：よろしいですか。議事の2番目の方に行きたいと思います。令和3年度事業計画について、事務局の方からよろしくをお願いします。

事務局：配付資料に基づき説明。

会長：はい。委員さんからありますか。お願いします。

委員：実は今月図書館に来て、すごくいいなと思ったのが、この「本が泣いています」の展示がものすごくいいなと思ったんですね。先ほども言ったように、わざとじゃなくても子供って破いてしまったりするときがあるともう、ドキドキしてしまうので、そこを、破ってしまったら、1、そのまま返す、2、自分で直す、3、係の人に言う、そういうちょっとクイズ形式で柔らかい感じで、自分で直すんじゃないかっていうようなことが書いてあったり、とてもいいアプローチだなあと思うんですね。今まで「本が泣いています」だと、こんなに本破かれていましたとか、こんなアンダーライン引かないでくださいっていう、そう

いう、そっちの方面が多かった中で、今回のアプローチは、もしもやっちゃった時はこうしてねっていう、その目線がすごくやさしい目線で、だから子供たちがたくさん見るんだなあと思いました。親子で見たり、私も大人だけれども、すごくよく拝見させていただいたので、きつい目線で、いや破いちゃったら困るじゃないか、皆の本でしょって言うんじゃないかって、こうだったらこうだよ。もし盗まれちゃったら、みんながこんなふうに関わるんだよとか、そういうアプローチもすごくいいかなと思ひまして、今回のこの今の展示は、すごくいいなと思ひたのでお伝えしたいと思ひます。

事務局：ありがとうございます。

委員：在留外国人に対するサービスについて教えていただきたいんですが、実は先ほど日本語のボランティアをやっているという話を申し上げましたが、茨城県内でもつくば市は在留外国人がナンバーワンで、圧倒的に多い。それはリサーチだとかそういうところもいるんですが、最近の傾向としては、技能研修生とかですね、それからここでそもそも働きたいというような方が増えていまして、ボランティア、日本語教室のそういう方が非常に増えています。

彼らは、ある程度長期間、日本に滞在してっていうことでありますが、やはり、彼らに対するサービスがですね、なかなか難しいところがあるような気がいたします。例えばコロナの対策一つとってもですね、なかなか情報が伝わっていかない。市役所から我々のところに来て、我々から彼らに話をしたりしてですね。ちょっとルートが違うんじゃないかなと思ひて。あらゆるそのルートを使って周知徹底を図っているということだと思ひんですけど。

そういう関連で、そういう住民としての、在留の外国人たちに対して図書館としてのサービスはどういうことを考えてらっしゃるのかな。新刊書なんかたくさん出てるのは、いつも拝見していてすごいなと思ひてはいるんですが。教えていただければ。

委員：その関連で、一つだけ。貸出期間が2週間なんですが、外国人の方、カウンターの方から、2日間と聞いたということで、読み聞かせをしてくださる外

国人の方がいらっしゃるんですけども、借りたんですが、2日間しか借りられないと言われたので、もう返しちゃったということで、また借りに行って、行ったと思ったらなかったということがございまして、貸出期間2週間って「2 weeks」っていうのはもう文字で、カウンターあたりに書いておいてもよろしいかなと思いました。もう2か月くらい前の話なんですけれども、びっくりいたしました。最近、英語の読み聞かせとかも盛んで、外国人の保護者の方とかも読み聞かせしてくださって、お忙しい中、わざわざ借りに行ったんですが、大型本を。2日間しか借りられない、そんなことないと思いますよって言って。カウンターに表記していただいたらよろしいかなと思いました。聞き間違いだと思うんです。

事務局：利用案内というのを作っております。当然日本語も作っております。多言語でも作っておりますが、すべての言語をカバーできるとは、おそらく、市内に本当に100数十か国から来てるかと思うので、全部はカバーできておりませんが、主な言語での利用案内は作成していただいておりますので、今後はそういったところは我々、日頃の接客の中で、意識してやっていきたいと思えます。

住民への情報提供、大変申し訳ございません。図書館としてはちょっと、きちんとこういうふうに、体系的に体制を整えてやっているという状況ではございませんので、今後関係部署とですね、それこそ我々が庁内の連携をしてやらなければいけないかと思うんですけども、引き続きそういったところとですね、庁内の連携を図ってやっていきたいと思えます。今現在では、大変申し訳ございませんが、具体的に取り組んでいるという例はございません。

会長：はい、よろしいですか。では3番目の方にいきたいと思えます。令和3年度蔵書点検報告について。先ほどちょっと出ておりましたけれども、事務局の方からお願いいたします。

### (3) 令和3年度蔵書点検報告について

事務局：配布資料に基づき説明。

会長：はい、では委員さんの方から何かありますか。はい、お願いします。

委員：細かい数字の話で恐縮なんですけど、不明率が0.23%。全蔵書に対してのパーセントですよ。0.23では、大したことないなというような感じに受けるんですが、これはもっと詳しく考えますと、アクセスできる本に対しての不明率と、例えば書庫にあるやつは一般の人はアクセスできないわけですね。その数は抜いて、アクセスできる、開架のところの書籍だけ、持って行っちゃったよという比率を見るとですね、もうちょっと高いんじゃないかと。0.23ではなくて、例えば、3パーセントとかですね、上がってくるような気もするんですが、その辺はざっとした感覚でいかがなんでしょうか。

先ほど館長からも、そんな投資をするよりは、盗まれて買った方がいいというような、コストだけの話ですが、ございましたが、基本的な数字の把握の仕方が、ちょっとわからないので教えていただけると。

事務局：閉架書庫の不明はほぼないので、こちらの、例えば手続きのミスとかで、読めてないのが後で発見されたっていうのは減っていくものなので、ほとんど無い状態ですね。例えば、書庫からお持ちしたものを、利用者の方が借りていただく際に、こちらから貸出のミスがあったりとか、あとその方が借りずにお持ちになるっていうと不明になってしまうことがあるんですが、ほぼこちら、それだけでほとんど無い状態なので、フリーにアクセスできる開架部分の不明が本当に多いということですね。

以前、平成2年頃の話なんですけど、研修を受けた際に、3%の本がなくなっている話を聞いて、3%ってものすごい数だなと思ったんですが、こちらで蔵書点検してみると0.何%ということで、多分いろいろ、マナーですとかモラルとかも向上して、以前よりはそういう不明になるものが少なくなってきたのかなっていうふうに判断しているんですけども。

委員：そうすると、細かくて恐縮なんですけど、所蔵冊数というのは、開架の冊数が31万5000あるということなんですね。

事務局：書庫も入れての数ですね。

委員：ですから今の話だとちょっと矛盾するので、やはり開架のところ为例えば20万冊ありますよと。それで、741 だったらどうなるかとかですね、1%未満で、大したことない気がするんですが。細かくて恐縮なんですけど、本当にシリアスな数字ならば、0.01 と 0.23 だったらまあまあかなとかね、その辺のイメージの話なので、そんな厳密な話ではございません。あの、お時間もあれでしょうから。もうちょっとそういう視点で見ていただくと、開架から勝手に持ってって、かばんの中に入れていくっていうのが、数がたくさんあると、怖いなど。先ほどモラルの話もありましたけれども。

事務局：今年度につきましてはちょっともう集計作業も終わってしまいましたので、来年度以降その開架部分に例えば何冊、現在あってそのうちの何冊が不明という形が、集計とか統計で出せるのかどうか、ちょっとシステムの方も含めまして、検討させていただくということで、ただ視点は確かにそのような、閉架書庫から盗まれちゃったということはずないと思いますので。

委員：前の委員会でももしかして尋ねたかもしれないんですけどもう1回伺います。無くなる本は子供向きの本と、大人向きのだと、どちらが多いんでしょうか。それに寄っては、アプローチの仕方が違うかなあと思うんですね。

表示の仕方とかも、例えば、大人向きの新しい雑誌が多いのか、子供向きの、例えば銭天堂とか、今、はやりのがないとか、そのあたりどういう感じでしょうか。

事務局：ざっくりとした資料区分ごとで恐縮なんですけど、添付の別紙3のところ横長の資料にですね。児童図書としての数字は出ておりますので。あとヤングというのが中高生向けの本という位置付けもありますが両方が入っているんですけど、ただ、コミックとか文庫本も入っているんです。必ずしもすべてが中高生向けとは限りませんが。

事務局：文庫は、ライトノベルと言われているものが、ヤング向けというふうに分類されていますので。

委員：やっぱり中高生が多いのかな、という感じですね。

事務局：対象としては、大体それくらいの年代を想定しています。

委員：そうですね、なるほど、わかりました。

事務局：すべて把握している訳ではないですけども、あまりこの数字を外に出すというのはないかなというふうに、実際他の図書館がどれくらい不明率あるのかというのは、あまり公表はしてないのかなと思うんですね。だからちょっと実態がわからないというか。

会長：ゼロにすることはね、なかなか難しいでしょう。努力事項かな。

委員：先ほど「本が泣いています」の展示のお話があって、私も緑色が素晴らしいなと思って。すごい目を引くので。かなり抑止力になるんじゃないかなと思ったんですが、実は、ほかの図書館さんで、今度、紛失というかなくなってしまったことについて、掲示物で啓発を呼びかけてらしたところが、明らかに数字で、本がなくなる率が減ったということ、数年前ですけどもおっしゃっていたので、それだけでも、掲示物などだけでも、おそらく効果があるんじゃないかなと思いました、補足させていただきました。

会長：なかなか難しいですよ。はい、じゃあよろしいですか。次にいきます。

委員：ちょっとごめんなさい。私はピンクリボンのこともたくさんしているんですけども、そのポスターをいつも、筑波大学の芸専の方とか、学院大学の学生さんをお願いしていると、すごくすてきなのを、いつもデザインで、何点も、それを学校の授業の課題の一環として、出してくれて作ってくれているんですけども、もしあれでしたら、そういうせっかく芸専とか学生さんがいるのでね。そのポスターを決まり切った何かでつくるのではなく、そういうところでちょっと授業の一環として作ってもらうとか、コンクールにするとか、ちょっとそういう作戦もいかがでしょうか。作戦というとあれですけど。そういうのももしかして、子供たちが描くのももちろんですけど、本当にアーティストックで、おっ！ていうような、斬新な若者のすごくセンスのいいポスターを、ピンクリボンでも毎年出してくれるんですよ。ですから、ぜひそういうところともせっかくいろんな連携があるので、そういうところの先生方とも、

お話してみてもいいかなってちょっと御提案させていただきます。

事務局：はい、ありがとうございます。

(4) つくば市立中央図書館運営上の指標と数値目標について

会長：はい次に行きます。4番、つくば市立中央図書館運営上の指標と数値目標について、事務局の方からお願いいたします。

事務局：配布資料に基づき説明。

会長：資料4が既に令和2年度で終わった。で、資料5が3年から令和5年度にかけて。ちょっといっぱいあって見つらいんですけども、委員の方からどこでも結構ですからどうぞ。

委員：新たな目標値として設定したのは、今のご説明だと、地域サービスに係る指標、この3つの点だけ新たに設定したということですか。

事務局：数値目標を見直したものだということによろしいですか。

委員：そうです。他はみんな未達ですから、前回の数字を引き継いだということ。

事務局：目標値が変わっているのは、2-7予約件数、あと2-9の情報誌の発行回数、3-1の大活字本の所蔵冊数、あと3-3と3-4の外国語資料、あと3-5の点字資料の所蔵点数、あとはですね、6-1の団体貸出利用回数。

委員：団体貸出の件が今出たので、どこかでと思っていたので、団体貸出についてなんですけど、目標値200、倍に増やすというのが目標値ということかと思うんですが、「けっこうルールがややこしいですね」というような声が近いところで聞こえておまして、「団体貸出するぐらいだったらもう個人個人で貸出しちゃって個人個人で返却しちゃう方が楽かな」というような声が一部聞こえているんですが、どのようなアイデアを加えることによってこの目標値を上げるとイメージされてらっしゃいますか。団体貸出というのは読み聞かせの団体とか学校さんであるとか色々事情が違うかと思いますが。

事務局：確かにルールがややこしいというご指摘につきましては、我々がちょっとご説明不足であるとか、周知の方が不十分であるということが原因にある

のかと思います。制度としては非常に便利な、3か月間お借りいただけるというところで、大変利便性はお話しさせていただいてるところなんですね。これを増やしていく手段としてということで、手法としてという、ご質問だと思いますが、昨年度から副館長なんかにも行っていただいているんですけども、幼稚園とか保育所とかそういったところに、あとは学校さんも校長先生とかを通じてですね、こういうシステム、制度があるんですよという、その周知のですね、機会の場をいただきまして、直接職員が行って直接お話するというところで、実際にそれをきっかけとして、団体であるとか、もっと個人であまりお金がないので大型本を借りていかれるとかですね、そういった利用に繋がっておりますので、ちょっと地道なところではございますが、そういったところをちょっと積み重ねながらですね、引き続き継続して、年間通してやっていきたいなとは思っております。

委員：この3か月っていうのが意外に周知されてなかったりしますので、結局そのまとめ役の方、学校さんの担当の方であるとか、読み聞かせ団体の担当さんのご都合で、3か月未満でいついつに回収しますよっていうようなことがございますので、意外と自分の自由な、自分のついでに返しちゃった方が楽だわっていうようなところがちらほら聞かれるんですけども、MAX 3か月っていうのが意外に周知されてなかったりするのかななんて今思いました。

それで、じゃあ代わりにっていったときに、意外に学校なんかですと、最近大きなモニターとかも各教室に全部あるとか、エアコンも全部あるとか、設備がすごく充実してきていまして、教育目的であれば、本当に度々使うような資料などであれば、そのモニターで映し出して使うという方法があるということで、教育者の方々動いているかと思うんですけども、そのような利用の仕方を取り入れながら、こういう団体貸出も取り入れて、それぞれの生徒さんに、1クラス分の生徒さんに借りれるとか、そういうメリットがあるかと思うんですけども、大人が使う分には、そのいろんな機材を使うということも念頭に考えると、団体貸出じゃなくてもいいのかなっていうような、聞かれたりするもん

で、色んな使い方があるかなと思いますので、色んなアイデアを教えていただくと宣伝できるかなと思います。

事務局：はい。ありがとうございます。

会長：はい。じゃ、お願いします。

委員：はい、この資料4の指標による実績評価の1-3なんですけれども、視聴覚資料はほんとにインターネットの普及でどんどん減少してると思いますので、令和2年度の5万2千はおいておいて、大体7万前後で推移していると思うので、この8万5千というのはちょっとすごく高い目標値で、飛び抜けて高いんじゃないかと思って、7万とか7万5千でいいんじゃないかと思いました。

会長：これ事務局の方いいですか。

事務局：視聴覚資料の貸出自体は、若い人があまりいなくなっていて、申し訳ないんですが高齢者サービスの一環というような形もありまして、どうしてもやめられないというか、あまり貸出が少ないからやらなくていいということではないので、こちらとしてもうまく、利用をたくさんしていただくような工夫をしていかなくてはいけないなとは思ってるんですけれども、今後色々考えていかなくてはいけないことだと思っています。

委員：公立学校の方では一昨日、市の夏季研修会で、学校図書館研究部は本年度重点強化でもあるんで、45校つくば市あるんですがそのうちの44校が参加しました。その中で一つ意見が出たのは、この指標の5-2をちょっと拝見したら、ボランティア登録者が150人おいでだということで、実は今、色んな規模によっても違うんですが、各学校現場の学校図書館担当が一番頭を悩ましてるのは、学校図書館を貸し出すときに、司書だけではとても賄いきれないわけです。休み時間に来て。それで図書委員っていうのがいるわけなんですけど、このコロナ感染の中で、参加させちゃまずいだろうということで、参加させない学校もある。それから参加させていいのかっていうこともある。結論でどんな話が出たかっていうと、誰かその貸出業務を、司書さんがいるんですけど、司書補助ですよ、市の方から派遣されてくるわけですが、1人では賄いきれ

ないので、ボランティアの人がいないかなあって話があったんですが、館長さん、このボランティアさんたちに、まあ全校っていうわけにはいかないですが、在住してる学校への、そういったボランティアを呼びかけていただくことなんてのは可能でございませうか。これあの教育委員会の教育長さんの決裁をいただかなくてはいけないと思うんですが、そういったそのコロナ感染でビクビクしてる子供たちにさせられないというような状況の中で、きちんと衛生管理をしたボランティアさんが手伝ってくれば、非常に蔵書の貸出がスムーズになるんじゃないかなと。そういった意見がありましたので。

委員：あの例えば、私でしたらあのパンボランティアを学校でやってたんですね、子供たちの学校の、あのパンの人が一人しかいないから、お婆さんが、だからパンボランティアっていうのを登録して、保護者がやってて逆に子供たちの様子がわかるからってすごくお母さんたちに人気あったんです。で、なんか、もし保護者の方とかで、あのわりとなんかこうそういうのどうなんでしょうか。いやお手伝いしたい保護者の方はけっこういるかなって思うんですけど。

委員：そうですね、各種ボランティアはあると思うんですが、この間のつくば市の図書館研、要するに学校担当の者が集まった中では、ボランティアを活用した活動事例が出なかったんですよ。

委員：保護者様にちょっと図書ボランティアをっていうの、委員を作ってっていうご意見はなかったんですか。

委員：各学校に学校図書館司書がおります。その司書の補助として、補助員さんが配置されてるんですが、一歩先に行くそのボランティアっていうところまでなかなか事例が出てこなかったです。

委員：小学校だと読み聞かせボランティアさんとかけっこう、その方達なんかは実はすごく絵本のこととか詳しい、素人のお母さんたちでもすごい詳しい方がいて、そういう方のご協力とか。

委員：貸出業務、要するに、読み聞かせボランティアはどの学校でもほぼ45校いるんですが。

委員：そのままその方たちに。多分喜んでくださるかなって。

委員：なるほど。あと、もう一つは、こういうふうに市の図書館に直接もうボランティアとして登録して下さってる方に、本当に在住してる学校にアクセスしていただいて、貸出業務を手伝っていただけると、今のこのコロナ禍では、非常に学校側としては助かります。ご検討いただけると。

会長：はい。お願いします。

事務局：はい。せっかく図書館概要がありますので、23 ページにですね、ボランティア活動状況ということで、中央図書館のボランティア、このここにありますが10の分野で、ボランティアさん、様々な活動していただいております、例えば今、この一番右側のこの図書館サポーターっていう分野がありまして、これは、この活動をやってくださいってのは特にないんですね。ジャンルっていうかそのエリア、分野を決めてないので、ちょっと図書館で例えば何かイベントやるときに、当日来て受付やらしてもらえませんかみたいなことでも何でも受けてくれるような、そういう分野ですごいフレキシブルな分野を設けました。これは実は市民の方から、こういうのあれば私たち登録できるよみたいな、ありがたいお声があつてそれで作らせていただいて、この図書館サポーターに限らず、私たち普段接してるボランティアさんに、そういった学校の事情もお伝えして、お声掛けとかご案内はさせていただけるかと思えます。

委員：ぜひ、じゃないと、各学校で色々意見の齟齬が出ました。消毒させないと委員会活動させちゃだめなのとか、消毒しても委員会活動するのは難しいんじゃないのかとか、色んな意見が出たんですが、時間切れでストップしてしまっただけです。これ、じゃあ分かりました。ぜひ御紹介させていただきます。

会長：コロナだからね。本来保護者の方たちに誰か手伝ってくれませんかと言いたいところなんだろうが、なかなか声もかけづらい、集まりづらいっていう微妙なところもあるんだろうね。

委員：はい。その読み聞かせの、たくさんいらっしゃるんだけど、みんな本当にボランティア精神すごいんですね。私もやっぱり1回声かけたらいいなと思

います。私の知ってる人たちはもう学校のために何かできないかっていう視点はすごく持ってらっしゃるので、声をかけていただいた方が、地域の方なので、さらに近くなのでいいと思います。

委員：発想の転換で、読み聞かせていうのはこういうものだという固定観念があったんで、そういったことに対しても呼びかけをするという取り組みを、つくば市内の全校に呼びかけてみます。

委員：さらに読み聞かせの方は知識もあるんですよ。本に対する、児童書に対する。だからぜひ、私だったら行きたいです。

委員：よろしいですか。竹園学園で、以前、貸し出しのボランティアを保護者の方がされていたという実績はあると思うので、今コロナ禍ということもあるしどうなっているか分からないんですが、多分呼びかけられたら希望者はいらっしゃると思います。実績もあると思います。

委員：わかりました。市の研究部としても、ぜひ読み聞かせのボランティアさんとの兼ね合い、あと市にも 150 人のボランティアさんがいるんだということは、後でまた館長さんほか、ご相談にのっていただいて、こちらの方へも届くように、ちょっと取り組みをしたいと思います。

#### (5) 令和 2 年度利用者満足度調査について

会長：はい。では、5、令和 2 年度利用者満足度調査について事務局の方からお願いいたします。

事務局：配付資料に基づき説明。

会長：はい、何ページかに渡ってありますが、どこでも結構ですから、ありましたらどうぞ。はい。お願いします。

委員：ご説明ありがとうございました。これ、この調査が当初始まったときに、目標値が 80% というのをお聞きして、なんて志が高いんだろうとびっくりしたんですが、実際それを上回る結果が出てるというのは、まず本当に素晴らしいと思います。概ね回答してる方々は満足しているということで、結果全体的にほんとに素晴らしいと思いました。

一方で、今後のリクエストとして、これから計画で公園のように自由な図書館ふれあいライブラリーパークの具現化ということがだんだん視野に入ってくると思うんですが、そこにいらっしゃる方々はおそらく、今図書館にいらしてない方々も対象になってくると思うので、ぜひ、この図書館単独での調査でなくていいと思うのですが、何かの教育委員会ですとか或いはつくば市民対象にした調査の中で、図書館にいらっしゃってない方々が図書館をどうご覧になるか、どうやったらこの自由にのびのびというところ実現できるのかというところ、外から見た面もぜひ調査をしていただけるとより多角的に見えてくるかなというふうに思いますので、リクエストさせていただきます。ありがとうございます。

会長：他、いいですか。

#### (6) その他

会長：それではあと 30 分ありますので、あとはもう自由に、どんなことでも構いませんから、20 分～30 分ぜひ、こんなこと言いたくて来たんだっていう方もあるでしょうから、どうぞ。はいどうぞ。

委員：前回、確か時間が余ったときに、ゆったりとお話できるといいなって提案していただいた、講演会のようなお話だったかと思うんですが、だいぶ前はやっていましたけれども、最近はやってませんっていうような統計が見られましたので、もし何かっていうことがあればどうですかっていう話題の中に、コラボの講演会、市の関係する市長さんであるとか副市長さんであるとか、そういった方々とのコラボレーションみたいな感じで、またやってはいかがですかっていうようなご提案なんかあったかと思うんですが、身近な方々で、皆様お声掛けするというのも可能でしょうし、あとよくよく見るとこの会議に出席されてるメンバーの方々も、そういった講演会にコラボレーションで参加できる、まさにメンバーになることができる方々がここに集まってらっしゃるかななんて思ったんですけれども、少しずつそういったのが企画できるようなあれば、どのような形で、場所を一応中央図書館っていうことであるにしても、

最近の感染防止対策として、Zoom で参加っていう講演者がいてもいいかと思えますし、参加者も図書館にいらっしゃる方もいらっしゃれば、Zoom で、オンラインで参加、オンラインで定員オーバーだったって方は YouTube か何かで見学だけっていう形の参加も可能でしょうし、いろんな形ができるかと思えますので、皆様すぐ何かやりましようっていったときに、すぐ戦力になれるようなメンバーが集まってらっしゃるので、その点どう考えてらっしゃるか。

会長：委員さん方への投げかけですか。

委員：そうですね。あるいはご意見があれば。コメントしていただいて。色んなところでね、講演会とかやってらっしゃる方多いので。

委員：今のに関連して、私9月に、小美玉のみの〜れっていうところで、マタニティのご家族、ファミリー様向けの朗読コラボっていうのやるんですね。バンドの方たちをバックに、バンドっていうか綺麗な音楽と朗読、それもマタニティ向けの、『生まれる』っていう本とか、『ずっとあなたを待っていた』とかね、『かみさまからのおくりもの』っていう、マタニティの方達が気持ちよくなるような絵本を、綺麗な音楽と一緒に、映像と一緒に読むっていうのを小美玉の方から、ご依頼受けて、それもう4年目くらいなんですけれども、例えばそういう図書館でね、何かそういうマタニティのご家族様限定ですけれども、そういうことが、もしね、つくばでもできたらいいなってすごく思っています。その朗読と音楽で、今までここに、図書館に来なかったファミリーを呼んでもらう、マタニティの方とか、新しく来た新住民の方とか、そういう企画なんかも、実は別のところからご依頼受けてやっているもので、もしね、つくばでもね、今のご提案のように何かできることがあれば、幾らでもお声かけいただきたいなっていうのと、あと11月9日にアルスの方で、源氏物語の朗読とピアノのコラボレーションは私させていただくのでね。もしそういった古典も、古典を読んで、原文と、古典の原文と現代語訳とピアノやるんですけど、そういうのも、源氏の固い部分じゃなくて、導入としてすごくその後に音楽をやるので、わかりやすい、全文読むんじゃないので、ちょっとそういうので、なんていうの古

典への入門みたいなことも、できたらいいかなと思うので、もし何かねそういう形でお手伝いできることがあれば、この委員の中でよければですよ。謝礼とかそういうことは全然関係ないからボランティアでも頑張りますので、何かね、どんなきっかけでもいいので来たことのない方が、あら、ちょっと行ってみようかなと思う、全く違うアプローチで、本と市民をつなぐ、何かそういうことができたらいいかなと思うので、小美玉のマトニティコンサートは多分ネット配信されると思うので、ただ申し込んだ方のみ、誰でも見られるんじゃないかと。申し込んだ方のみなので、もしあれでしたらね、ちょっとご覧いただけたらいいかなって思います。

会長：コラボってだんだんイメージがわいてきましたけれども、ライブラリーピクニック、図書館懇話会で出た人は、ああいうところだといっぱいそういうのができそうですね。中央公園でライブラリーピクニック、そこにコラボで読み聞かせと歌とか、ジャズと何とかとかって、ほんとそういうのは今からでも少しずつ考えていかないと。

事務局：一昨年やりましたライブラリーピクニックですね。あのときもテントを出して、そこで読み聞かせをやりました。時間ちょっとずらしましたがけどジャズの生演奏やったりとかですね、そういう色んなアイデアを出してやっていますので、多分こっからここまでっていうそのエリアを決めずにね、もう何でもいいと思ったらこうどんどん取り入れてみて、新しい世界が。図書館概要に平成2年からの沿革がありますが、途中までは結構講演会とかやっていました。もうここ10年以上、そういったところがちょっと抜けちゃってる。昔は琵琶法師呼んで、アルスホールでやったこともあったりですね、結構面白いことをやっていました。

会長：館長さん、こういう催しはさ、誰がどんなふうにやればできるの、やりたいやりたいって誰かが手上げてそこに図書館が乗っかってるのか、それとも図書館の誰か窓口さんに言うの、どういう手順だとそういうことができるの。

事務局：例えば費用がかかるということであれば、市役所ですのもう前年度

のうちに予算組みをしますので、だから来年度やるんだったら本当もうそろそろ確定していかないといけないというような時期には入ってきてはおります。

会長：みんな予算が絡むから。

事務局：そうですね、ただ、先ほどありがたいお話で、ボランティアでと言っていたので、そういうことであれば広報部分だけをしっかりとやればお客さん集まるような形で。それができるようであれば、年度内で、いきなりわいた話でも、年度内にできるかもしれませんので。

委員：小美玉の企画は本当に人気があるので。マタニティのご家族とご本人様。すごくいいと思います。

会長：案外そういうコラボってというのは、やってもいいという人はいるかもしれないね。また、思ってるより楽しいイベントになるのかもしれない。

委員：癒やされるみたいです。

会長：何かそれで要は、要するに図書館の方にちょっとこんなことやってみたらいいのかなということ投げかけてもいいわけだね。予算がなければボランティアだっていいし。はい、他に、はいどうぞ。

委員：アンケートのやつありがとうございます。やっぱりすばらしいレベルで、言われたように。対象 124 名の内訳を見てると、まあ満遍なくどの代にもいらっしやって、偏りがなくていいかなと思うので。ただ中のアンケートがやっぱり偏っていると、やっぱり手段が必要かなと思ったんだけど。地域活性化でこの前吉沼でも一緒にやらしていただいたんですけど、やっぱり見える化、素敵なアイデアで、来場アンケートをやっていました。これもし図書館で、その「アンケートに参加してるよ」っていう、これきっと結果はホームページかなんかで配信すると思うんですけど、必ずしもその人たちにみんな、やっぱり自分で見ないと、こっちからダイレクトでお返ししてるわけじゃないので、やはり小さい子供たちは、もしくは親子あたりはその見える化で、シールを貼ってやってらっしゃったアイデアはいいなと思ったんですよね。やはり何か参加してる、一緒に。単純なアンケート内容なんだけど、参加してる。もしくは今度図書

館でぜひ聞いてみたいなっていう 1 項目だけでも、わかるような仕掛けをしていくと、このアンケートをいい形にもっとしていけないかなっていうのを感じました。

事務局：ありがとうございます。

会長：はい、ほかにございませんでしょうか。はい。どうぞ。

委員：ちょっとまた話戻っちゃう感じなんですけど、先ほどボランティアでっていうお話もあったので、そういう方向ですとまた話が広がる、地元でけっこう広がるのかなとも思ったんですけど、先ほど琵琶法師の方をお呼びして、そのだいぶ前の時にも、やはり点字絵本とか、そのような感じのものも取り入れて、講演会やったというようなお話だったと思うんですが、確かにこの資料、蔵書の中で、力入れてるものの中で、点字絵本であるとか、あと外国人、外国語のための資料ですね、書籍っていうのがやはりつくばの図書館の特徴かなあって思ったんです。

それで、意外に知られていないのが、英語の点字。筑波大学はいろんな教育施設がございますので、点字で英語を教えるとかそういった指導されてる先生方もいらっしゃるって、そういった方面で、点字で英語学習みたいな、そういうような、今まで講演会でなかったんで、そういう方もお力添えいただける可能性もあるかななんて思いました。もしそういうのがご一緒にコラボでやっていただけるようでしたら、結構近くに筑波大関係の方もいらっしゃるんで、と思いました。

委員：事業計画のところの本の福袋の話があって、これとてもありがたいなあと思っておりましたので読ませていただいてお話を伺いました。子供たちって自分の好きな本しか選ばないし、それ以外に何かいろんな本を読んでみなくて言っても、なかなか、じゃ何が自分読みたいんだろうってなってしまうので、開けてみたらいっぱいあったから読んでみたらこっち面白かったなってなるのはとってもいいなと思って。学校の図書館でも何かこういうの 2、3冊詰めてね、福袋とかやってやってもできるのかなっていうのを、子供たちと考えていけ

たらいいなあなんて、図書委員の子たちと。そんなことを考えました。

図書館ボランティアの話が先ほどあったんですけど、うちの学校でもやっぱり長いこと図書のボランティアの方たちすごく伝統があってやってくださっていて、貸出業務だけは今のところはなしでやってくださってるんですね。本の修復とか受付作業とか受け入れ作業とかそういうのは、本当に毎週のように集まってやってくださってるんですけど、貸し出しのところだけは皆さん逆に気遣ってくださって、あんまりね、子供たちと接しない方がいいかなとか言ってくださってる場所なんです。

なんでその学校の実態によってはね、いろいろあるのかなっていうのは感じながら思っておりました。ちょっとうちの学校の先生は何でそんなことちゃんと伝えなかったのかなって、帰ってから確認しなくちゃと思って。どうもありがとうございます。以上です。

委員：私パンボランティアの話先ほどしましたけれども、私が行くと息子が「今日俺の母さんだからみんなパン買いに行こうぜ」とか言ってすごい並んでくれて、「今日何々ちゃんママだから見に行こうぜ」とか言って、結構子供たちって意外とそういう反応もあったりして面白いんですね。だから知らない方がいるよりは誰かのお母さんとか見たことある人とか、そういうのも安心、安全にも繋がるし、「部活頑張ってる？」なんてちょっとした、別の声かけなんかもして、私はそのパンボランティアすごい楽しかったんですね。

だからそういういいところもあるかなっていう、だから買いに来て私は「いいのいいの私が買ってあげる」なんて奢っちゃったりもして損をしてたんですけど、すごくそれは親子ともに楽しい思い出だったので、ぜひご父母様も使っていただければ嬉しいかなって思います。

委員：会長さんいいですか。ボランティアの話も非常に嬉しくて、ちょうど館長さんと協議した方がいいんで、一つ感激したことがあったんです。これはボランティアのことじゃないんですが、実は数年前に、茨城県で教員応援団っていう事業があるんですが、そこに椎名誠、ご存知ですかね、椎名誠さんと呼ん

だんです。そうすると、教員応援団なかなか皆さん行きづらい、行きたがらないんです、正直怒られちゃうんですが、非常に長い講演会なんで、頑張れ頑張れと言われてうーんってなっちゃうんですが。ところがその時の講師が椎名誠だったので非常にうらやましくって、私たまたま当たったんです。でもう絶対聞きたくて、本来ならいつも後ろの方に座ってるんですが、最前列の目の前座りました。で、つくば市さんの今のこの事業の中を拝見したら何人かそういった方をお呼びになられてて、ポストコロナの話なんですけど、予算の問題もあるかもしれないですが、このつくば市のこのアルスホールの規模であれば、その全国レベルの非常に有名な方、例えば亡くなっちゃったんですが田辺聖子さんなんかももしかしたら呼んでいただけたかなあと思って。多少の料金を払っても。相手の方にボランティアで来てもらうのは失礼だと思うんで、チケット制でもこのアルスとして、図書館事業として、組んでいただけると、全国から来ますよね。きっと、私椎名誠の講演会があったら、他県はこのコロナが終われば、もう多分北海道から沖縄まで行っちゃうと思うんで、なかなかやらないんです。やらないので、そういったものをここで計画していただけると嬉しいんです。何卒、館長さん事業の方に組み入れていただけると。

委員：作家さんの講演会ってことですね。

委員：作家さんの講演会ですね。なかなか聞けないんですね。今になってみると本当に田辺聖子さんの肉声聞きたかったです。あと瀬戸内寂聴さん、もう100歳超えてますけど、そういったリモートでしか聞こえない方のお話も、もしかしてやると、一生の思い出になると思うんですね。これはもう参加者に受益者負担で出してもらってというのは許可いただければ、それでもきっと。

会長：以前絵本作家来ましたよね。

委員：時々絵本作家さん来てますけどそういう大きな、ビッグな方はね。絵本作家さんなんかはわりとちょこちょこ。あと、つくばに松井るり子さんって方がたぶん住んでらっしゃるとか、ありますね。

委員：つくばの名前が、そのアルスっていう、その活動が市民の皆さんにドー

ンとなって、それが茨城県全体、またこの関東、全国になるんじゃないかなっていう。あの時椎名誠の話を聞いて集まった皆さんがみんなそう思っていました。本当に粹な計らいを、亡くなった幡谷理事長さん、トヨペットの、あの方がやってくださったかも。森田先生が一番、ちょうど県にいた頃の話なんで。ほんとにありがたかったです。

会長：なかなか予算が。

教育長：かなりかかっています。

委員：じゃあ後援で入っていただいて。

委員：やっぱりこんなふうにして話していると、こういうことができたらか、やっていただけたらっていうことがどんどん広がって楽しくなってくるんですけども、何ととっても今コロナ禍の中なので、素晴らしい方の講演聞くにしても、やっぱりリアルだから感動がより大きくなるっていうのがあるかなと思うんですね。だからリモートだとちょっともったいないというか、そういう感じもありますので、先ほどのあの学校にやっぱり入るっていうことについて、私が勤めてたところでは学校行事ですら、保護者2人までっていうふうにな、人数を限定して、絶対に多くならないようにっていうふうにして学校行事の、重要なものだけ開催したっていうことを考えますとね、ボランティアさんやりたい方もたくさんいるけれども、今のこの状況なので躊躇するっていう部分は、図書館に登録してる私も1人なんですけども、やっぱり本当に行っていいかしらっていう部分もね、自分の中にはなくもないので、その辺は少し焦らずに、状況が良くなれば、必ず何かそういったこともできそうだなというふうに思いました。

あともう一つ、「本が泣いています」のお話なんかも出てきてるんですけど、私もあれ素晴らしいと思って、見させていただいて、ただ見たときに、今の時代を表してるっていうふうに思ったのが、破れているっていうのが明らかにあは犬かなんかが齧ったんじゃないかなって、ページの角のところですね、普通破れてるっていうとちっちゃいお子さんがこうやって破いちゃうとかね、

剥がしちゃうとかっていうのがあったと思うんですけど、角がちょうどペットがかじったように破れてるのが多いので、お借りした時に、いついつが返却日ですっていう、ちょうど本の葉になるような、縦長のね、大きさを挟んでいただいていますよね。だから今後はあそこのところに、ペットが、よく赤ちゃんの手の届かない所においてくださいっていうのと同じでね、やっぱりそのペットとかがいる場所には置かないでねとかそういった一行も貼ってもいいかもしれないと思ったのと、ちょうど葉の大きさがいいんですけども、もし可能なら、すぐにとかそういうことではないんですけども、もうちょっとサイズを大きくして、字をもう少し大きくしていただけると、これから先私ももっと見やすくなるわとかね、あとお子さんが見た時にもね、字がもうちょっと大きい方がちゃんと読むかなっていう気も少しするので、ご検討いただければというふうに思います。

委員：今、私沼崎のボランティア団体と一緒に、朝ラジオ体操とかやってんですけど、読み聞かせもその方たちはやられてて、読み聞かせのレベルが素晴らしいんですよ。私の知っている三つのグループの室からも、できたら言ってくれて言われたのが、学校に行った時に大きな絵本が案外ないんだと、あれをもう少し充実してくれれば、相当の回数で学校に行ってやってるので、費用対効果は素晴らしいと思うんですよ。実際に使ってる方達のレベルも素晴らしいし。その人たちが今、読み聞かせ、外でやってくれただけど、そこに音楽まで合わせちゃうレベルの方々たちもいてね。いいんですよこれがまた絵本と音楽がマッチすると。これからコロナが落ち着いたらでいいんですけど、その中央公園で、それだけすばらしい読み聞かせグループが幾つもあるので、何かそこでちょっとイベントを組んだら、その人たちももっと知っていただけるし、何か生まれそうな気がするんですよ。本と公園と音楽と。何かそんなアイデアを、体験させてもらったとき、素晴らしいなと思いました。

委員：書庫の本の話になるんですけども、絵本に関して言わせてもらおうんですけど、絶版になった絵本とか、すてきな絵本とか、もう手に入らないなあてい

う絵本が、ここで絶対見つかるんです。もうほぼ見つかるのでいつも感動してしまうんですけど、見ることができ、ここの書庫は宝の山だなんて思ってまして、本当ありがたく思ってるんですけども、一旦書庫に行った本が、もうなかなか開架に戻ることはないんだろうなど。所蔵スペースの関係で仕方がないことだと思うんですけども、この本開架にあれば子供たちに見せたいなっていう絵本がやっぱりいっぱいあるんですね。よく施設ごとに絵本のコーナーで、例えば梅雨の時期だったら雨とか傘とかカエルとかの絵本が並んで、テーマに沿って並んで、すごく手に取りやすいようになってるんですけども、そういう時にちょっと書庫のカエルの本を取り出していただいたり、その時のテーマに沿って取り出しいただきたい。ちょっと書庫の本が、日の目に当たるようにしていただけたらすごく嬉しいなど。

事務局：ありがとうございます。土浦市の図書館さんの例なんですけど、その書庫の本ではないんですけど、全く借りられなかった本を展示したところ、結構皆さんお借りになるっていう事例もありますので、多分こちら側がどういうふうにするか、展示も含めて、お客様にアプローチ、アピールしていくかというのが、やっぱり本当に大切かなと今感じました。ありがとうございます。

委員：いろいろ、その他大勢の意見であれですけど、いろいろ話が行ったり来たりしますけれども、一つ推薦しておきたいと思う方がいらっしやいまして、先ほどのコラボの何かって言ったときに、股野儷子先生って方なんですけれども、『和の行事えほん』という子供向けの絵本があります。それを英語訳された方で、他に『月刊帰国子女マニュアル』、『アメリカ小・中・高校教育マニュアルー子女を国際児に育てる現地情報ー日本語版』というようなものであるとか、『楽しく読める日本の暮らし12ヶ月』といった、ご主人様スウェーデン大使でいらした方なんですけれども、日本と海外と行き来されて、専門の英語教育、初期の段階（1964年頃）から日本の小学校英語に携わったメンバーのお1人でもいらっしやるんですけども、そういった方で、最後のお仕事は筑波大附属の盲学校で英語指導されてましたので、先ほどのこれまでの講演会の流れでも、

いい流れかななんて思う方かななんて思ったんですが、ボランティアでやっていただけるような方だと、ありがたいなとは思うんですけども、知り合いとか大先輩でいらっしゃるんですが、先ほど瀬戸内寂聴さんといった超有名人のお話がありましたので、皆様のお考えのレベルがいろいろありますので、こんな感じのレベルだなということで皆さん共有できたらいいかなと思ひまして、ご紹介させていただきました。

会長：残り10分になりましたので、最後の一言ということでありましたら。中央図書館への要望とか、期待とか、こんな中央図書館でありたいとか、何でもいいですから1人2分ぐらいで言ってください。なければ結構ですよ。はい。誰からでもどうぞ。

委員：今日はありがとうございました。県の図書館協議会の副委員長を務めさせていただきまして、最近県立の図書館がリニューアルオープンして、星乃珈琲店さんとのコラボレーションにお伺いしたので、そのことをここでご報告いたします。元県議会議場を使われていて、入口入るとドーンとよく見かける大きな階段がある両側に、星乃珈琲店のイスが並んでいるという完全なるオープンなカフェができ上がっています。そこに図書も、カフェの中にも図書があるんですが、外側にも図書があつて、図書館とカフェが、どこまでが図書館でどこまでがカフェなのか分からない融合したつくりになっています。オープニングのときにはそこで四重奏の演奏まで行われて、静かにしなきゃいけないとか、飲食しちゃいけないとかそういう常識がすべて取り払われた形での、図書館オープンというふうになっていました。

ぜひ、これからそのパークというところを目指していくにあたって、やはりいろんな先駆的な事例があると思うので、県立の図書館も本当に変わりましたので、ぜひともお出かけいただいて現場をご覧いただけたらというふうに思います。ありがとうございました。

会長：中央図書館も是非とも変わっていきましょう。はい、他に。はい、どうぞ。

委員：今日、私教育長の森田様が最初から最後まで出ていただいて、こんなふうに話をずっとこう聞いていただいたってことにまず感動しております。最初こう挨拶されるとね、公務がお忙しいということで、大概是退席をなさるんですけれども、今日はずっといてくださったっていうこと。

教育長：当初から時間を取っておりましたので。

委員：本当にありがとうございました。それからいつも本当に前向きに館長さん中心に、職員の皆様が進めていらっしゃるっていうことで、この会議もとても気持ちよく出席をさせていただいております。今後とも応援団ということで、ほんのささやかでもできることをしたいと思ってますので、頑張ってくださいねと思います。今日はありがとうございました。

委員：私は恐竜がすごく好きで、この夏休み恐竜博に行くために恐竜の勉強しようと思って、実は図書館の司書の方に「恐竜の本ありますか」と言いましたら、「何年生向きですか」と言われたので、ちょっと自分だったんですけど、「小学校5年生から中学生ぐらいの男の子なんですけど、親子で」と言ったら、「わかりました」と「漫画がいいですか図鑑がいいですか」「そうですね、できればどっちも」と言ったら、すぐに7冊ぐらいいい感じの本をばっと司書の方が、いろんなジャンルのを持ってきてくださって、すごくうれしかったんですね。「この中でもし自分の感性に合わないのがあったら置いてもらえばいいですから」と言ってくださったんですけど司書の方ってやっぱりすごいなって、ピンポイントで、だからそういうことを子供たちも、ちょっと恥ずかしがらないで聞いたならば一つと教えてくれるよっていうのを、もっともっと利用して、司書の方の大切さを子供たちも、親も子も、もっともっと司書の方に頼っていいのかなってすごく思って、その恐竜に関しては今出された7冊全部お借りして今一生懸命読んでるんですけれども、やっぱりそういう意味でも本当に頼りになる図書館だなと思ってます。

そして先ほどもおっしゃっていたように、すごくスタッフの方が気持ちがいいので、それがやっぱりこの図書館全体の雰囲気にも流れてるかなと思ってお

ります。電子図書とかもありますけど、私はページをくることがすごく好きなので、これからもいろんな形でご協力させていただけたらいいかなと思っております。これからもどうぞよろしく申し上げます。

委員：今回もいつも丁寧な資料をたくさんそろえていただいて、これだけの資料そろえるのにどれだけの時間がかかったのかと思っていつも見させていたでいます。ここならでは、講演会をしてみてもはどうでしょうかとか、書庫の本をいかしてもらえませんかという直接こう意見を言えることが、すごくありがたく思っています、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

委員：すばらしい応援団の応援のメッセージが多いんですが、あえて自分が言わせていただくとですね、冒頭にお話した通り、やはり日本一の研究学園都市にしては、やっぱり例えば土浦の新館を見るとですね、やっぱりこれ負けてるなと思われまして、今が悪いとかダメだとかいうんじゃないですね、やはり日本一のその研究学園としての、図書館っていうのはどうあるべきかっていうのをですね、ぜひ考えていただいて、市長が議会なり予算の統括部門なりですね、ぜひ積極的に言っていただいて、個々の政策は素晴らしいし、スタッフはすばらしいと思うんですが、やはりその部分で、全国の中で勝負できる施設、組織であってほしい。素晴らしい皆さんの応援メッセージはまさしくそのとおりだと思いますので、あえてちょっとお願ひをいたします。

委員：本当にいつも有意義な話し合いに参加させていただきありがとうございます。本当に学びになります。ありがとうございます。

委員：今日はありがとうございます。実はここ親子ですごく思い入れのあるお部屋で、美術館の講座室なんですけれども、随分年代経ったんだなあって思ったんですが、子供達がコンピューターでお絵かきができる場所です、それで自分で作った作品をあそこの掲示板に貼っていただくんですね。講座室に先生がいらっしゃって、それで、なにになにちゃんの、なにになにのお姉ちゃんのとか載ってるって。名前もちゃんと載ってますので、そこがこう、ここが非常にこう、なんて言うんですか、お散歩コースの中の、みんなのコミュニティーって

言うんですか、皆が繋がる場でもあったので、そういった懐かしい子供と一緒にしたお散歩コースの大事な部屋で会議ができてすごく幸せでした。施設改修という話がございますが、こういうところも含めまして、楽しみにしておりますのでよろしく願いいたします。

委員：本日は本当に貴重なお話ありがとうございました。ひらけポンキッキのお姉さんにお会いできるとは、たぶん私が聞いてた頃です。

委員：ガチャピンの中に入ってたんじゃなくてお姉さんでしたよ。一応言っとなかないと。

委員：実はこの図書館に来るのは10年ぶりなんです。2年間県の教育委員会に派遣してもらって学生に戻ることができて、その時に随分使わせていただいたんですが、いかんせんこれ正直駐車場が隣接してないんで、ちょっと私あの土浦に住んでるんで土浦とか常総とか、近隣の図書館は使わせていただいてたんですが、今日は1時間前に来て改めて中ぐるっと歩いたんです。そうしましたら非常に丁寧に説明いただきました。自分の身分も何も言わないで、どういふふうにご利用すんですかとか言ったら、丁寧にやっていただいて。ここを使わなかったこの3年間になるんですが、なんて残念なことしたのかな。だから多分、きっと私みたいな人間が、他にも潜在的にたくさんいるはずなんです。本を読む喜び、それから図書、つくば、この市立図書館のすばらしさというのが本当に伝わるように微力ですが、尽力したいと思いますので、今後ともよろしく願いします。

委員：どうもありがとうございました。お話を伺ってございまして、皆さん前向きに考えてらっしゃるのはすごいなと思っているんです。コロナ禍でいろんなことができなくなっていて、じゃあやんないかっていうのは簡単なんですけど私もそう思ってしまいがちなんですが、でもそうじゃなくて、次じゃあどうすれば、人と人をつなげてやれるのかという話が皆さんすごく前向きにお話されていたのがすごく印象的で今日来てよかったなと思っています。どうもありがとうございました。以上です。

会長：それでは、ちょうど時間になりました。もう一回教育長さんにも、先ほどありましたが、今日はありがとうございました。

教育長：こちらも本当に貴重な意見ありがとうございました。

会長：じゃあ私の方はこれで終わります、事務局の方にお返しします。

事務局：すいません最後にお時間過ぎてしまって申し訳ない。報告2件だけさせていたきたいと思います。

1点目はですね、現在館内でちょっと検討していることがございまして、実は図書館の広域利用について検討しております。今現在ですね、うちの図書館ご利用いただける方、貸し出しが受けられる方は、つくば市に在住在勤在学の方に限定しています。実は県内で、市民、市外の利用をどれだけやってるかという一覧表がありまして、全くやってないのうちだけだったものですから、やはりこれはもう時代から大分取り残されてるなど。決して隣の市の方のために頑張ろう、頑張るのは頑張るんですけど、その方を優先するというわけではございませんが、広域利用というのは一方的に、例えば常総市さんの方にうちの本お貸ししますよってということもありますけども、逆につくば市民が常総市もご利用いただけるように、相互に利用できるような、いわゆる協定を結ぶかどうかはそれぞれの市町村との関係になりますけども、そういった広域利用を進めていきたいなというところで、今現在3市ぐらいを訪問して、先方の館長さんとお話して、前向きな回答いただいたところもございまして、これを今年度、あまり時間かけずに隣接の市町村だけやっていこうかということで、そちらを順次ですね、先方の館長さんと話し合いを進めているところです。これについては条例改正などが必要になりますので、来年例えば来年4月から施行することになりますと、それほど時間的な猶予もないものですから、早急に進めていきたいと考えております。これが1点。

あともう1点なんですけど、コロナ禍におきまして、例えば明日から8月6日から19日まで茨城県独自の緊急事態宣言ということがございまして、これに対する中央図書館、そして4交流センター図書室の対応につきまして、ご報告さ

させていただきます。今現在行っているサービスのうち、縮小するものと完全に中止してしまうものと2種類ございます。縮小するものにつきましては、1階の窓際の閲覧席、こちらは現在、午前午後の入替え制ということで座席券でやらせていただいているんですが、基本館内の滞在時間を1時間程度に短縮して、短時間をご利用いただくということと呼びかけていく中で、座席の利用時間が3時間半とか4時間におよんでしまうのはいかなものかと思っております。昨日、本庁の方でコロナ会議もありまして、そういったご指摘もありましたので、その利用時間は滞在を1時間と言っておきながら、閲覧席の方は当面2時間でご退席くださいということで、やらせていただこうかと思っております。明日から。もう一つ、カウンターの奥にはレファレンスコーナー、地域資料とか置いてある、あそこにも閲覧席があるんですが、あちらも同じような形の運用をさせていただきますかというふうに考えております。

完全に中止してしまうサービスは、やはりかなり滞在時間を短くするということがまず基本にありますので、インターネット閲覧端末、こちらにつきましては、例えば図書館でなくてもご自宅でも使えるものですので、そちらの利用は全面的に中止、また、視聴覚ブース、ビデオとかDVDとかですね、ご視聴いただくブースがあるんですが、そちらも一本のDVD見ると1時間半とか2時間かかってしまいますので、こちらも利用の方を中止させていただきます。

あとこれは大変心苦しいんですが、この夏休み時期にあって、連日2階の集会室を学習室として開放しておりますが、あそこは狭い空間になりますので、そこに座席数を半減して使っているんですが、やはりそちらの部屋をかなり、狭いというところもありますので、次回の学習室につきましては、こちらも利用中止という形で考えております。

また、8月いっぱい、おはなし会などですね、人が集まるイベントも中止。さらに、期間中8月19日まではボランティア活動の方もですね、活動の内容によってはやっぱりちょっと部屋の中で密になってしまうような場面もございますので、一律ボランティア活動の方も、ちょっとご遠慮いただくという形の措置を

とろうかと考えております。

最後に、4交流センター図書室、今の中央図書館の対応に加えまして、閲覧席につきましては全面的に利用を中止するということになりました。これにつきましては、つくば市の方で、今県のステージが3から4に上がりましたので、4に上がった時点で、交流センターは原則全て閉館するというのがございました。簡単に言ってしまうと、一歩たりとも図書館、施設の中に入れないという措置だったんですが、今回そこを少し見直しをしまして、交流センターの部屋貸しは、従来通り、部屋貸しはしないと、完全に閉鎖ということですが、それ以外のサービス、窓口のサービスなどは継続していきましようということになりまして、そのうちの一つ、4交流センターに限らず各交流センターに図書室がありますので、図書室は本が自由に取れる環境を保ち、貸し出しもできるようにします。ただ、滞在時間長くなってしまふといけないので、イスとかはすべて撤去するというのが、担当課は文化芸術課なんですけど、そちらの方針がございましたので、4交流センター図書室につきましても、イス等、座席とか閲覧席とかそういったところのご利用も大変申し訳ないんですが、いただけないという形の措置をとらせていただきます。この期間につきましては、まん延防止が8月31日までということも聞いてますので、もしかすると長くなってしまふ可能性もございますが、その時の状況に合わせてですね、この対応もまた中止のサービスが増えてしまふ可能性はあるんですが、臨機応変に対応していきたいと思っておりますので、どうぞご理解ご理解いただければと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。以上です。

事務局：会長、今日は議事進行の方ありがとうございました。委員の皆様におかれましても、長時間にわたり貴重なご審議を誠にありがとうございました。今日は本当にいつもお伺いできないような、貴重なご意見をたくさんいただきまして本当にありがとうございました。私たち職員も、今日いただいたご意見の中でできるところから、徐々に対応していければと思っておりますので今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。以上をもちまして、令和3年度第1回協議会を

閉会いたします。今日はどうもありがとうございました。

ありがとうございました。

<閉会>

## 令和3年度（2021年度）中央図書館重点事業

### 1 安全・安心な図書館サービスの提供

新型コロナウイルス感染症対策を強化し、利用者の安全を確保し、安心して利用していただけるようサービス体制を構築します。

イベントの実施に当たっては、感染リスクの少ないイベントを企画し、また、既存イベントについても様々な工夫を凝らして行っていきます。

### 2 つくば市域における図書館間の連携強化

「つくば市域図書館連携に関する協定」に基づき、筑波大学附属図書館との連携事業を開始します。令和3年度は、筑波大学附属図書館との独自の相互貸借を開始し、利用者の利便性の向上を図ります。

### 3 自動車図書館サービスの拡大

自動車図書館サービスを3台体制で行うため、令和3年度中に新規車両の配備を完了します。また、サービスステーションについては、令和4年度からの増設に向け既存ステーションの見直しを行うとともに、ニーズ調査や先進事例調査などを通じて新たな利用の拡大を図ります。さらに、自動車図書館を活用したイベントや従来の考え方にとらわれない活用方法などについての検討を開始します。

### 4 中央図書館の施設改修計画の検討

図書館懇話会提言書で示された、公園のように自由な図書館「ふれあいライブラリーパーク」の理念を実現する中央図書館の施設改修についての検討を開始します。令和3年度は、先進事例調査、市民意見の聴取及び改修計画案策定に着手します。

### 5 次期図書館情報システムの検討

令和4年度に導入を予定している次期図書館情報システムについての検討作業に着手します。次期システムについては、電子図書館や読書通帳、スマホアプリなどの導入の可能性やWeb機能の充実などの検討を行います。

## 令和3年度事業計画（事業・業務予定表）

つくば市立中央図書館

月	業 務 予 定			
	管理係	サービス係	その他	
4月	・アルス協議会	・前年度利用統計集計業務 ・資料費配分決定 ・選書、発注、受入れ（通年）	・団体貸出、相互貸借、図書返却事業（通年） ・出前講座（通年） ・館内見学、職場体験受入れ（通年） ・不用図書の選定、梱包（通年）	・ホームページ掲載（随時） ・広報6月号締切り
5月	・アルス協議会	・新聞廃棄（廃棄年度3・4月分）	・インターネット予約による遠隔地貸出サービス（ぶっくびん）開始（搬送便週2回） ・小学校等新入生新規カード作成 ・ライブラリーピクニック（15・16日）…延期	・広報7月号締切り
6月	・アルス協議会		・特別整理期間（8～11日） ・中央図書館蔵書点検（8～11日） ・筑波大学附属図書館との独自の相互貸借開始	・広報8月号締切り
7月	・アルス協議会	・新聞廃棄（廃棄年度5・6月分）	・図書館を使った調べ学習講座 ・ジュニア図書館員（～8月）…中止	・広報9月号締切り
8月	・アルス協議会 ・第1回図書館協議会（5日） ・「つくば市の図書館概要」発行	・「本が泣いています」展示	・インターンシップ受入れ ・中学生職場体験受入れ ・本のふくぶくろ（7・8日）	・広報10月号締切り
9月	・アルス協議会	・新聞廃棄（廃棄年度7・8月分）	・自動車図書館後期日程通知（小学校・義務教育学校・保育所・児童館） ・公共施設向け不要図書リサイクル事業	・広報11月号締切り
10月	・アルス協議会	・「こどもヨモッカ」第16号発行、小学校配布	・学校訪問ブックトーク（～12月） ・科学フェスティバル出展…中止	・広報12月号締切り
11月	・アルス協議会	・新聞廃棄（廃棄年度9・10月分）	・The World week@中央図書館	・広報1月号締切り
12月	・アルス協議会	・次年度購入雑誌検討（～3月） ・「(内容未定)」展示	・次年度インターンシップ受入れ決定 ・ぬいぐるみたちのおとまり会	・広報2月号締切り
1月	・アルス協議会 ・次年度会計年度任用職員募集	・新聞廃棄（廃棄年度11・12月分）		・広報3月号締切り
2月	・アルス協議会 ・第2回図書館協議会 ・次年度会計年度任用職員選考	・雑誌配架場所変更 ・「ヨモッカ」第17号発行、区会回覧（1日） ・次年度雑誌スポンサー募集	・次年度自動車図書館巡回日程通知広報 ・特別整理期間（8～10日） ・4交流センター図書室蔵書点検実施（8～10日） ・公共施設向け不要図書リサイクル事業	・広報4月号締切り
3月	・アルス協議会	・目標指標アンケート実施 ・新聞廃棄（廃棄年度1・2月分）	・ファーストブック講座募集・実施	・広報5月号締切り

【展示テーマ】 ・4～6月：宇宙へ… ・7～9月：スポーツ！ ・10～12月：新しい働き方と身近な経済学 ・1～3月：ザ・候補作

【図書館おはなし会】 ・おはなしぶんぶん（赤ちゃん向け） 毎月水曜日又は金曜日（8月は除く）1～2回 10:30～10:50 11:00～11:20  
1回目多数の場合、2回目を行うこともある ※時間変更予定

## 【ボランティア活動】

- ① 地域資料ボランティア（毎週水曜日）
- ② 修理ボランティア（毎週火・水曜日）
- ③ 音訳ボランティア（月間3回）
- ④ 点訳ボランティア（毎月第3木曜日）
- ⑤ 国際化サービスボランティア（随時）
- ⑥ 配架ボランティア（随時）
- ⑦ おはなしボランティア
  - ・おはなし会（毎週土曜日 15:00～ 第5土曜日がない月は日曜日）
  - ・グループスイミー公演 6月26日（土）10:30～11:00 11:30～12:00
  - ・パネルシアターかくれんぼ公演 7月10日（土）10:30～11:10 11:30～12:10
- ⑧ 児童サービスボランティア 4/14・7/14・9/8・12/1・1/12・3/9 水曜日（こどもコーナーの配架は随時）
- ⑨ 地域文化ボランティア
  - ・おとなのためのブックトーク（第3土曜日 10:00～）
  - ・古典ブックトーク（第1土曜日 10:00～ 4・5月）
  - ・本好きのためのゆるっとトークルーム（第1土曜日 10:00～ 6月～）
- ⑩ 図書館サポーターボランティア（随時）

## 令和3年度中央図書館蔵書点検報告書

### 1 実施概要

目的：中央図書館及び自動車図書館に所蔵している全資料について点検を行い、資料の実際の所蔵状態を確認する。

実施期間：令和3年6月8日（火）～令和3年6月11日（金）

点検対象：中央図書館 書架・書庫 全資料（視聴覚資料も含む）

自動車図書館 自動車図書館車内・自動車図書館書庫 全資料

点検者：中央図書館職員・会計年度任用職員（※別紙1参照）

点検機器：ハンディターミナル 26台

[内訳] 中央図書館用 19台、自動車図書館用 3台、

各交流センター図書室用 4台

### 2 作業内容

6月8日：中央図書館 書架・書庫点検

自動車図書館 車内・書庫点検

6月9日：中央図書館 書庫・書架（視聴覚含む）点検

6月10日：エラーリスト資料・不明候補資料の検索

6月11日：開館準備

※ブックポストの返却処理は毎日、朝(8:30)と夕方(点検場所移動時のハンディターミナルのデータ抽出の時間帯など)に実施。

### 3 蔵書点検結果

不明資料点数：令和元年7月1日から令和3年6月30日までの間に不明となった資料の総数（※別紙2参照）

741点（所蔵冊数：315,475点）不明率：0.23%

[内訳] 中央図書館資料 635点（所蔵冊数：273,549点）不明率：0.23%

自動車図書館資料 106点（所蔵冊数：41,926点）不明率：0.25%

不明資料点数は、データの抽出上、図書館から無くなってしまった資料に加え、貸出処理が漏れたまま貸し出されている資料も不明資料として算出される。また、意図的に持ち去られた資料が後日返却される場合もある。そのような資料が返却されると不明の状態が解除され、不明資料の件数として減少するため、不明資料点数は蔵書点検時から日数が経過すると徐々に減少していく。

そのため、蔵書点検時に長期で休館となるため特別貸出期間の対応をとっており、通常より貸出期間が長く設定されている。特別貸出期間で設定された返却日が過ぎ、特別貸出期間中に貸出処理が漏れてしまったものも含めおおむね返却されたと予想される6月末日時点で集計をとっている。

### 4 令和元年度（前回実施時）の点検結果との比較

令和2年度の蔵書点検は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から休館対応もあったため、未実施となっている。そのため、今回は令和元年度に実施した点検結果との比較、検討を行うこととする。（※別紙2参照）

#### ① 不明資料数の増加について

不明資料点数を図1に示す。不明資料点数は741点であり、令和元年時の点検結果564点より177点上回る結果となった。通常、蔵書点検は毎年度行っていたが、昨年度が未実施だったため今回の蔵書点検は2年分の不明資料点数となる。そのため、前回実施時よりも増加したことが考えられる。

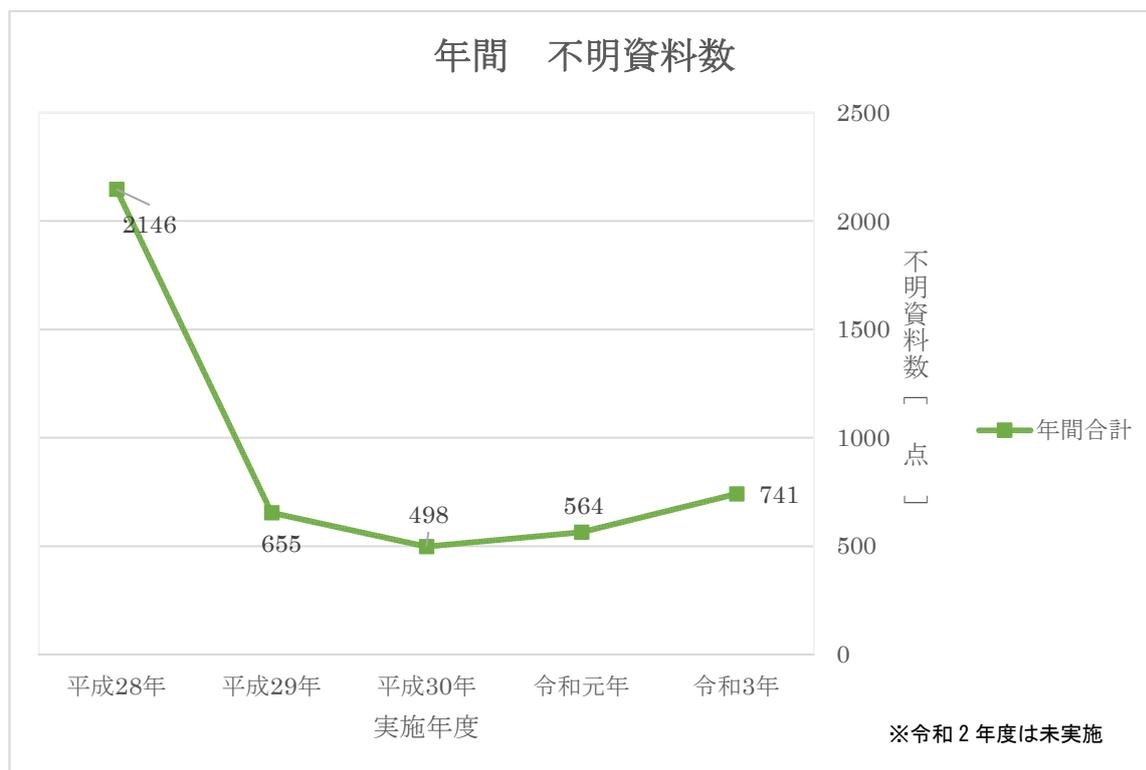


図 1 年間不明資料数の比較

今回も含め、蔵書点検の対象期間が年度によって異なるため、単純に不明資料数の比較をすることができない。そのため、各年度の蔵書点検の結果を比較するため、以下の蔵書点検対象期間に合わせて月平均の不明資料数に換算して比較を行った。（※別紙3参照）

- ・平成28年度蔵書点検：平成27年7月から平成28年6月（12か月間）が対象
- ・平成29年度蔵書点検：平成28年7月から平成29年9月（15か月間）が対象
- ・平成30年度蔵書点検：平成29年10月から平成30年6月（9か月間）が対象
- ・令和元年度蔵書点検：平成30年7月から令和元年6月（12か月間）が対象
- ・令和3年度蔵書点検：令和元年7月から令和3年6月（24か月間）が対象

月平均の不明資料数を図2に示す。月平均の不明資料点数は31点であり、令和元年時の点検結果47点より16点下回る結果となった。令和2年度に新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響に休館の対応をとっていた時期も今回の蔵書点検対象期間に含まれるためであると考えられる。

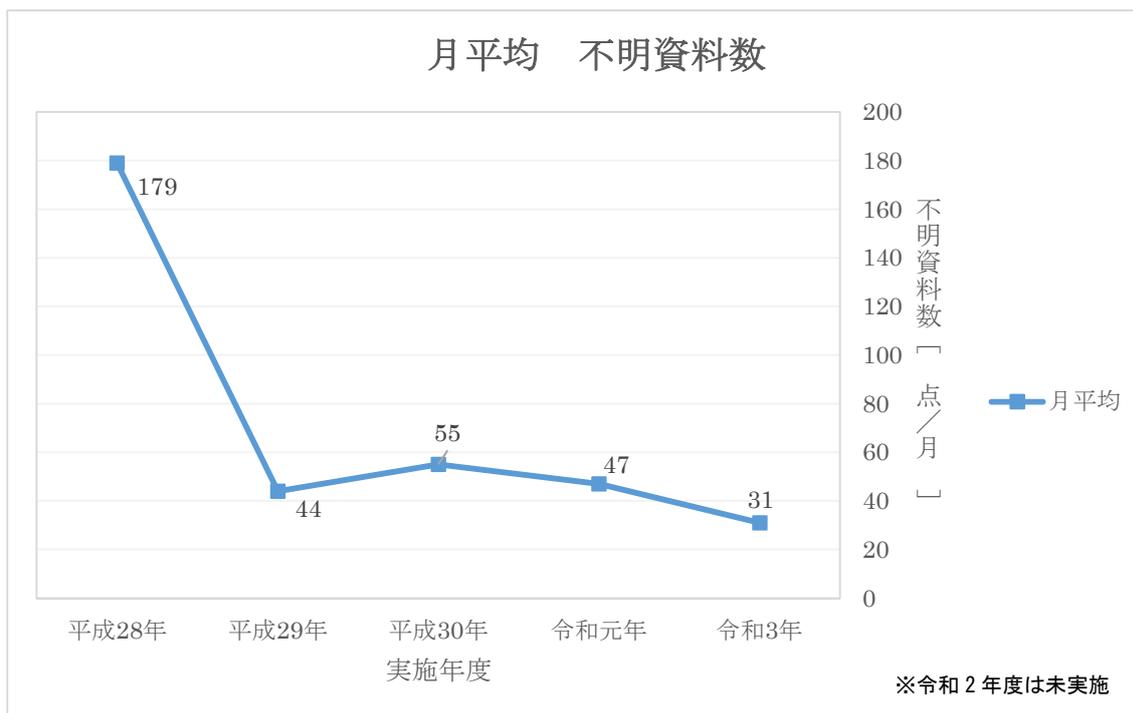


図 2 年間不明資料数（月平均）の比較

② 文庫の不明資料点数の増加について

別紙 2 より、今回文庫の不明資料点数の不明率が令和元年時より 1.12% 増加している。別紙 3 より、実際の不明資料点数は 212 点であり、令和元年度の点検結果の 32 点より 180 点上回る結果となった。

2 年分の不明資料点数だったことや、文庫自体の所蔵総数が増加しているため、以前からも課題となっている利用者による持ち去りが要因になっていると考える。実際に、不明資料になった文庫の大半（212 点中 208 点）が開架資料であった。

③ 自動車図書館の不明資料点数の増加について

別紙 2 より、今回自動車図書館の不明資料点数の不明率が令和元年時より 0.18% 増加している。別紙 3 より、実際の不明資料点数は 106 点であり、令和元年度の点検結果の 28 点より 78 点上回る結果となった。

近年、自動車図書館車内・書庫を含めて自動車図書館の資料の増加により本の保管場所が逼迫しており、棚に本が横積み保管されていたり、別コン

テナに保管されていたりする場合がある。また、システムのデータ上と所在が異なってしまっている資料も数多く見受けられていた（例：システム上の所在は書庫になっているが、実際には1号車に積載されている 等）。保管場所の確保や所在が明確になっていない資料が増えてきていることが今回の不明資料点数の増加の要因になっていると考える。

## 5 不明本の対策について

全国の公立図書館において、不明資料を解消することは共通の課題となっている。当館においてもこれまでの蔵書点検結果から一般資料の不明本も開架の本が多かったことを踏まえて、こうした不明資料の多くは利用者による持ち去りによるものと考えられる。

こうした現状を踏まえ、当館では、持ち去りが多いと思われるジャンル、シリーズ等の資料を書庫で保管したり、人気の高い図書を職員の目に付きやすいカウンターの前に展示したり、人気雑誌の最新号をカウンター内で保管するなどの対策をとっている。また、利用者へのモラルやマナー向上の契機となることを期待して、蔵書点検の結果を中央図書館のホームページに掲載している。

持ち去りによる不明資料に対してより根本的な対策案としてはICタグの設置等があげられるが、現状のシステムの設定や設置にかかるコスト等を考えると現時点では難しい。しかしながら、今後の検討課題としていく必要はある。また、引き続き利用者に対してポスターなどの呼びかけを行い、注意喚起していく。

自動車図書館車内・書庫に関しても、適宜資料の選別を行っていき、リサイクルなどを活用し保管場所の確保や所在管理の徹底をしていく必要がある。

月 日	時 間	作 業 内 容	職 員 動 員 数
6月8日	8:30～9:30	日曜日までに返却された資料の配架 点検確認表・BP返却保管場所の確保	25名
	9:30～10:00	蔵書点検の説明、蔵書点検機器の操作説明	25名
	10:00～14:30	自動車図書館車内 蔵書点検	5名
	10:00～15:30	自動車図書館書庫 蔵書点検	4名 + 5名(BM車内から合流)
	10:00～16:30	中央書庫 蔵書点検	10名 (絵本側:5名 雑誌側:5名)
	10:00～16:30	中央書架 蔵書点検	6名 (相互担当3名はAMのみ) + 9名(BM書庫から合流)
	15:30～16:00	ブックポスト返却処理	9名 (BM書庫組)
	10:00～17:00	システム処理	1名
6月9日	8:30～9:00	ブックポスト返却処理	25名
	9:00～12:00	中央書庫 蔵書点検	10名 (絵本側:5名 雑誌側:5名)
	9:00～12:00	視聴覚棚 蔵書点検	3名
	9:00～16:30	中央書架 蔵書点検	12名 (相互担当3名はAMのみ) + 10名(中央書庫から合流) 3名(視聴覚から合流)
	16:30～17:00	ブックポスト返却処理	5名
	8:30～17:00	システム処理	1名
6月10日	8:30～9:00	ブックポスト返却処理	14名
	9:00～11:00	自動車図書館書庫内・車庫・中央書架・書庫 エラー本走査	14名
	11:00～14:00	自動車図書館書庫内・車庫・中央書架・書庫 不明資料本走査	14名
	14:00～17:00	ブックポスト返却処理・配架	5名
	8:30～17:00	システム処理	1名
6月11日	8:30～17:00	開館準備	—

## 蔵書点検結果

令和3年7月1日現在

## 1 不明資料点数

741点(所蔵総数:315,475点) 不明率:0.23%

## 【内訳】

・中央図書館資料:635点(所蔵総数:273,549点) 不明率:0.23%

・自動車図書館資料:106点(所蔵総数:41,926点) 不明率:0.25%

## 2 分類別不明率

## (1)中央図書館

資料区分	点検対象 (A)	不明資料点数 (B)	不明率 (B/A)%	前回点検時 との比較	令和 元年度
一般図書	136,943	278	0.20	▲ 0.00	0.20
文庫	16,046	212	1.32	▲ 1.12	0.20
ヤング (コミック、文庫含む)	6,717	19	0.28	0.29	0.57
参考図書	5,765	16	0.28	▲ 0.00	0.28
地域資料	4,873	3	0.06	0.09	0.15
市政資料	1,726	0	0.00	0.13	0.13
教科書	419	0	0.00	0.83	0.83
児童図書	39,372	57	0.14	0.02	0.16
紙芝居	1,784	0	0.00	0.05	0.05
絵本	24,607	8	0.03	0.03	0.06
外国語一般	7,447	15	0.20	▲ 0.01	0.19
外国語児童	1,480	1	0.07	0.08	0.15
外国語絵本	1,676	6	0.36	0.15	0.51
視聴覚資料	13,623	1	0.01	0.00	0.01
雑誌	8,283	19	0.23	0.37	0.60
児童雑誌	2,788	0	0.00	0.12	0.12
合計	273,549	635	0.23	▲ 0.03	0.20

## (2)自動車図書館

資料区分	点検対象 (A)	不明資料点数 (B)	不明率 (B/A)%	前回点検時 との比較	令和 元年度
一般図書	14,340	29	0.20	▲ 0.15	0.05
児童図書	27,586	77	0.28	▲ 0.20	0.08
合計	41,926	106	0.25	▲ 0.18	0.07

## (3)雑誌について

盗難、切抜きが多発する一部の最新号は、書架に置かず中央カウンターで管理している。  
 カウンター保管：6種(総雑誌タイトル:214種)

蔵書点検結果 年度別比較表

資料区分		令和3年6月			令和2年 ※未実施			令和元年6月			平成30年6月			平成29年9月			平成28年6月		
		点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)	点検対象 点数	不明資料 点数	不明率 (%)
中央 図書館	一般図書	136,943	278	0.20	0	0	0.00	137,981	272	0.20	138,379	257	0.19	137,546	268	0.19	139,565	1,777	1.27
	文庫	16,046	212	1.32	0	0	0.00	15,708	32	0.20	15,195	48	0.32	14,530	65	0.45	14,109	74	0.52
	ヤング (コミック・文庫)	6,717	19	0.28	0	0	0.00	8,699	50	0.57	8,552	24	0.28	8,673	23	0.27	9,719	35	0.36
	参考図書	5,765	16	0.28	0	0	0.00	5,772	16	0.28	5,820	2	0.03	5,772	8	0.14	5,736	4	0.07
	地域・市政資料 ※1	6,599	3	0.05	0	0	0.00	6,296	9	0.14	6,139	1	0.02	5,975	6	0.10	5,768	0	0.00
	教科書	419	0	0.00	0	0	0.00	361	3	0.83	362	0	0.00	362	0	0.00	362	0	0.00
	児童図書 ※2	65,763	65	0.10	0	0	0.00	63,578	75	0.12	63,043	26	0.04	62,047	76	0.12	61,982	64	0.10
	外国語一般	7,447	15	0.20	0	0	0.00	7,486	14	0.19	7,350	4	0.05	7,492	10	0.13	7,469	27	0.36
	外国語児童 ※3	3,156	7	0.22	0	0	0.00	2,892	10	0.35	2,682	0	0.00	2,530	1	0.04	2,652	5	0.19
	視聴覚資料	13,623	1	0.01	0	0	0.00	13,448	2	0.01	13,247	6	0.05	13,235	1	0.01	12,825	2	0.02
	雑誌 ※4	11,071	19	0.17	0	0	0.00	10,949	53	0.48	10,870	41	0.38	12,917	62	0.48	12,123	43	0.35
合計	273,549	635	0.23	0	0	0.00	273,170	536	0.20	271,639	409	0.15	271,079	520	0.19	272,310	2,031	0.75	
自動車 図書館	一般図書	14,340	29	0.20	0	0	0.00	13,543	7	0.05	13,807	14	0.10	13,462	72	0.53	13,793	13	0.09
	児童図書	27,586	77	0.28	0	0	0.00	26,347	21	0.08	27,075	75	0.28	26,411	63	0.24	27,558	102	0.37
	合計	41,926	106	0.25	0	0	0.00	39,890	28	0.07	40,882	89	0.22	39,873	135	0.34	41,351	115	0.28
全資料合計		315,475	741	0.23	0	0	0.00	313,060	564	0.18	312,521	498	0.16	310,952	655	0.21	313,661	2,146	0.68
月平均 不明資料点数			31			-		47			55			44			179		

※1 地域・市政資料:地域資料と市政資料を合わせて算出した数値

※2 児童図書:児童図書と紙芝居と絵本を合わせて算出した数値

※3 外国語児童:外国語児童と外国語絵本を合わせて算出した数値

※4 雑誌:雑誌と児童雑誌を合わせて算出した数値

# 令和2年度指標に対する実績評価

資料4

指標の目標年度 2020年度

評価期間 2018年度～2020年度

## 1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標（4項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
1-1	所蔵資料点数	474,702点	476,371点	481,717点	490,000点	482,244点	98.42%	利用者の要望や地域の実情に留意しつつ計画的に多様な所蔵資料の整備を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	司書資格を有する職員で構成する図書選定委員会を毎週開催し、市民からのリクエストも含めた図書購入について検討、良質な図書の収集に努めている。中央図書館の所蔵スペースでは、これ以上所蔵資料点数を増やすことが困難であるため、4交流センターへの所蔵変更を含めて資料の充実を図りたい。							
1-2	個人貸出点数(視聴覚資料含む)	1,302,032点	1,404,376点	1,428,568点	1,450,000点	1,236,562点	85.28%	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	貸出点数は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館や開館時間の短縮などにより減少した。引き続き感染症予防対策を行い、読書推進や情報発信などに努め、サービスの維持向上を図りたい。							
1-3	視聴覚資料貸出点数	69,311点	72,522点	69,993点	85,000点	52,113点	61.31%	視聴覚資料は1点当たりの購入が高額となるため、資料の厳選に努めながら計画的に整備し、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	視聴覚資料の貸出は、インターネット等の普及のためか減少傾向である。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館や開館時間の短縮などによりさらに減少した。1点当たりの購入金額が高価になることから、利用状況などを踏まえながら資料の厳選に努め、資料の充実と有効活用を図りたい。							
1-4	市民一人当たりの貸出点(冊)数	5.6点	6.0点	5.9点	6.0点	5.1点	84.33%	中央図書館と4図書室の連携を図るとともに、自動車図書館を活用し、市民一人当たりの貸出点数の増を図り、市内全域における図書館サービスの充実を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館や開館時間の短縮などにより減少した。引き続き感染症予防対策を行い、安全で安心な図書館環境整備を行うとともに、サービスステーションや蔵書管理の維持向上を行い、利用増に努めたい。							

## 2 市全体へのサービスに関する指標（10項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
2-1	新規登録者数	5,939人	6,624人	5,750人	6,500人	5,190人	79.85%	転入者や図書館未利用者等に対するピーアールに努め、登録者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
評価	新一年生に対して小学校を通じて図書館利用カードを発行するなどして登録者数の増を図ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、前年度より減少した。図書館利用についての情報発信を積極的に行い、登録者並びに図書館利用者の増を図りたい。							
2-2	図書館利用カード利用者数	30,579人	31,600人	30,821人	33,500人	25,964人	77.50%	利用しやすい図書館運営に努め、より多くの市民に図書館資料の提供を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、前年度より減少した。利用しやすい図書館運営に努め、また図書館利用につながるイベントなどを実施し、多くの市民の図書館利用の促進を図りたい。							
2-3	来館者数	514,588人	571,642人	559,798人	580,000人	393,375人	67.82%	利用しやすい図書館運営に努め、来館者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館や開館時間の短縮などにより減少した。イベントの開催や貸出利用者の増により、来館者増を図りたい。							
2-4	年間開館日数	280日	290日	289日	293日	266日	90.78%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用の促進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館により減少した。館内整理日や祝日開館の振替休館の見直しなどにより、開館日数増を図りたい。							
2-5	年間開館時間	2,446時間	2,731時間	2,718時間	2,760時間	2,423時間	87.79%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用促進と利便性の向上を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館や開館時間の短縮などにより減少した。引き続き開館日数を増やすことを検討していきたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
2-6	返却窓口への返却冊数	111,526冊	130,644冊	137,388冊	130,000冊	116,371冊	89.52%	ブックポスト等を設置することで利用者の利便性の向上に努め、市民の利用の促進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館や開館時間の短縮などにより減少した。今後も利用の増加が見込まれるため、サービスステーションの位置や配送頻度について検討を続けたい。							
2-7	予約件数	106,252件	125,589件	131,781件	120,000件	131,036件	109.20%	図書館窓口のほか図書館ホームページからのインターネット予約の充実を図るとともに、4図書室等を活用した迅速な予約本の貸出サービスに努め、市民の利用の促進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者自身ができるだけ図書館への来館を控えたり滞在時間を短くする中、予約件数は来館者数や貸出点数などと比較して影響は小さかった。今後も市民サービスの維持向上を図りたい。							
2-8	図書館ホームページへのアクセス件数(簡易検索の検索件数)	369,210件	362,418件	363,192件	390,000件	371,691件	95.31%	図書館ホームページの内容充実と分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
評価	OPACのトップページで蔵書検索をした件数であり、詳細検索などは含まない。予約件数と同様に新型コロナウイルス感染症拡大の影響は受けず、検索数はむしろ増加した。引き続き件数増を図り、図書館利用の促進を図りたい。							
2-9	図書館情報紙の発行回数	4回	4回	5回	6回	7回	116.67%	図書館情報紙「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」など、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
評価	図書館情報紙「ヨモッカ」及び「こどもヨモッカ」を年2回ずつ発行したほか、所蔵資料の紹介紙「としよかんの本」を2回発行し、目標を達成した。引き続き市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、図書館利用の促進を図っていききたい。							
2-10	ボランティア等によるおはなし会等開催回数	84回	89回	71回	100回	23回	23.00%	定期的におはなし会等を開催することで、本に関する関心を高め、読書推進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、おはなし会を中止としたことから、大幅に回数が減った。コロナ対策を踏まえた上で、イベントの運営について検討していききたい。							

### 3 高齢者、障害を持った方及び外国の方へのサービスに関する指標 (5項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,478冊	2,582冊	2,680冊	2,700冊	2,735冊	101.30%	大活字本の計画的な蔵書に努め、高齢の方、障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
評価	計画的に購入を行い所蔵数を増やし、目標を達成することができた。読書バリアフリー法が制定され、また高齢者の利用も増えているため、今後も計画的な蔵書構築に努めたい。							
3-2	大活字本の貸出冊数	1,874冊	2,369冊	2,773冊	2,300冊	1,960冊	85.22%	資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やピーアールに努め、高齢の方や障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大活字本についても貸出冊数は減少した。蔵書の質を高め、貸出冊数の増加を図りたい。							
3-3	外国語資料の所蔵点数	10,213冊	10,543冊	10,829冊	11,000冊	11,046冊	100.42%	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	計画的に購入を行い所蔵数を増やし、目標を達成することができた。外国人居住者数は今後も増加見込みであるため、引き続き外国語資料の購入予算増や、積極的な寄贈資料の受入れにより、所蔵点数を増やしていきたい。							
3-4	外国語資料の貸出冊数	7,190冊	10,466冊	10,895冊	8,500冊	10,672冊	125.55%	外国語資料コーナーの配架や外国語による掲示等の充実を努め、外国語資料の貸出増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	所蔵外国語資料の充実を進めたためか、外国語資料の貸出点数については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が小さい結果となった。今後も外国語資料を紹介するイベントを行うなど、維持向上を図りたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
3-5	点字資料の所蔵点数	214点	224点	228点	230点	237点	103.04%	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、障害を持った方への図書館サービスの充実を目指す。
評価	点訳ボランティアによる点字資料の作成を行い、目標を達成することができた。引き続き、点訳ボランティアによる点字資料の作成を継続的に支援するとともに計画的に点字資料を購入することで、サービスの充実を図りたい。							

#### 4 地域支援サービスに関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
4-1	自動車図書館利用人数	11,016人	13,279人	12,033人	14,000人	12,712人	90.80%	自動車図書館のステーションの見直しや蔵書の充実を図り、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症拡大により図書館への来館を控えた反面、自動車図書館の利用者は増加したが目標には達しなかった。市域が広いつくば市において自動車図書館は重要な役割を担っており、ステーションの見直しや情報発信で更なる拡充を図りたい。							
4-2	自動車図書館貸出冊数	44,860冊	50,226冊	46,887冊	55,000冊	44,415冊	80.75%	自動車図書館資料の充実に努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	自動車図書館の利用者が増加した反面、貸出冊数は減少した。利用者層を反映させた図書の購入、積載図書の選書を行うなど資料の充実を図り、自動車図書館での貸出増加を図りたい。							
4-3	相互貸借貸出冊数	1,339冊	1,198冊	1,460冊	1,500冊	575冊	38.33%	利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供することで、図書館サービスの充実を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館等に加え、相手方図書館の休館などもあり、大幅に減少した。希望の資料にアクセスできるよう制度周知を図ると共に、潜在的ニーズも掘り起こせるよう情報提供をしていきたい。							

#### 5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
5-1	レファレンス受付件数	1,630件	1,808件	1,608件	1,800件	1,389件	77.17%	レファレンス能力の向上とレファレンスサービスのピーアールに努め、利用者の情報や知識の獲得、調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり大きく減少し、目標には達しなかった。引き続きサービスの周知を図るとともに、研修への参加や職場内研修の時間を確保し、職員のレファレンス能力の向上を図り、図書館サービスの充実に努めたい。							
5-2	ボランティア登録者数	132人	142人	159人	160人	150人	93.75%	より多くの方にボランティア活動に参加していただけるよう、多様なボランティア活動の機会や場所を提供を図る。また、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
評価	平日活動のグループが多いため、就業している方はなかなか参加できないという課題がある。新たなボランティア活動を依頼するとともに、活動日の見直しを図りたい。また、配架ボランティアは、登録者が集中し年度途中で募集を締め切った。できるだけ多くの人が活動できるような工夫を考えたい。							
5-3	ボランティア活動者数	1,447人	1,544人	1,533人	2,200人	1,006人	45.73%	多様なボランティア活動の機会や場所を提供することで、市民のボランティア活動を支援するとともに、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う活動停止や見送りなどにより、活動者数は大きく減少した。感染防止対策や現状下での活動方法を検討していきたい。							

#### 6 学校図書館等支援に関する指標（6項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
6-1	団体貸出利用回数	120回	201回	248回	150回	103回	68.67%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等の団体貸出利用団体の増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、団体貸出利用回数は減少し目標に達しなかった。団体貸出の周知と共に、団体貸出が利用しやすい環境を整えたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
6-2	団体貸出図書冊数	9,704冊	12,392冊	10,601冊	15,000冊	6,912冊	46.08%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等への団体貸出しの利用増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、団体貸出の貸出冊数は減少し目標に達しなかった。魅力ある図書を揃えると共に、選書、貸出、返却のしやすい環境作りを進めたい。							
6-3	社会科見学等の図書館見学受入回数	6回	11回	6回	10回	0回	0.00%	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施を見送った。学校等と協議を行い、実施が可能な場合は、スケジュール調整を行い、積極的に受け入れをすることで読書推進を図りたい。							
6-4	職場体験学習受入人数	30人	23人	25人	40人	0人	0.00%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
評価	中学2年生(義務教育学校8年生)を対象に図書館の業務を体験してもらう事業。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施を見送った。学校等と協議を行い、実施が可能な場合は、スケジュール調整を行い、積極的に受け入れをすることで読書推進を図りたい。図書館の利用者数が増える夏休み期間に受け入れることが多く、人員配置が課題である。							
6-5	ジュニア図書館員受入人数	87人	51人	47人	75人	0人	0.00%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。
評価	5年生、6年生を対象に図書館の業務を体験してもらう事業。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施を見送った。職場体験学習受入れと同様に、職員の人員配置が課題となる。							
6-6	学校図書館司書教諭補助員等の研修参加人数	89人	86人	180人	170人	0人	0.00%	学校図書館との連携を強化し、司書教諭や司書教諭補助員の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。
評価	年度初めに実施される司書教諭・司書教諭補助員等の全体研修会の参加人数。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施を見送った。オンラインによる研修の実施など、実施の方法を検討していきたい。							

#### 7 市民満足度に関する指標（1項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
7-1	利用満足度調査の満足度	83%	79%	84%	80%以上	85%	106.85%	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。
評価	年度末の3月に図書館内で利用者に対して実施した満足度調査の結果。「満足」と「やや満足」と回答した方の合計割合は目標を達成することができた。人口増に対する施設の限界を感じるが、コロナ対策も含め改善できることを見つけ、向上に努めたい。							

# つくば市立図書館運営上の指標と数値目標(案)

資料5

指標の目標年度 令和5年度

評価期間 令和3年度～令和5年度

## 1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標 (4項目)

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和2年度実績		
1-1	所蔵資料点数	482,244点	490,000点	利用者の要望や地域の実情に留意しつつ計画的に多様な所蔵資料の整備を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館含む。)及びオンラインで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荃崎の4交流センター図書室(以下、「4図書室」という。)で所蔵する資料(視聴覚資料・雑誌を含む。)の点数			
1-2	個人貸出冊点数	1,236,562点	1,450,000点	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館含む。)及び4図書室での個人への貸出冊点数(団体貸出を除く。)			
1-3	視聴覚資料貸出点数	52,113点	85,000点	視聴覚資料は1点当たりの購入が高額となるため、資料の厳選に努めながら計画的に整備し、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	CD・DVD・VHSビデオ等の視聴覚資料の貸出件数			
1-4	市民一人当たりの貸出点(冊)数	5.1点	6.0点	中央図書館と4図書室の連携を図るとともに、自動車図書館を活用し、市民一人当たりの貸出点数の増を図り、市内全域における図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	市民一人当たりに対する中央図書館(自動車図書館含む。)及び4図書室で貸出した資料の点数。(視聴覚資料の貸出、団体貸出及び相互貸借借受貸出等利用者に貸出した全ての点数を9/1現在の常住人口で除して算出する。)			

## 2 市全体へのサービスに関する指標 (10項目)

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和2年度実績		
2-1	新規登録者数	5,190人	6,500人	転入者や図書館未利用者等に対するピーアールに努め、登録者数の増を図ることで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	新たに図書館利用カードを作成した人数			
2-2	図書館利用カード利用者数	25,964人	33,500人	利用しやすい図書館運営に努め、より多くの市民に図書館資料の提供を図ることで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	1年間に図書館利用カードを利用して資料を借りた人数(一人の人が複数回利用した場合は一人と計算。団体貸出除く)			
2-3	来館者数	393,375人	580,000人	利用しやすい図書館運営に努め、来館者数の増を図ることで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館に来館した延人数			
2-4	年間開館日数	266日	293日	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館日数			
2-5	年間開館時間	2,423時間	2,760時間	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用促進と利便性の向上を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館時間			
2-6	返却窓口への返却冊数	116,371冊	130,000冊	ブックポストなどを設置し返却ポイントを増やすことで利用者の利便性の向上に努め、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	4図書室、並木・広岡・大穂・豊里、島名交流センター及び市役所のブックポストに返却されて回収した図書資料の冊数			

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和2年度実績		
2-7	予約件数	131,036件	150,000件	図書館窓口のほか図書館ホームページからのインターネット予約の充実を図るとともに、4図書室等を活用した迅速な予約本の貸出サービスに努め、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館、4図書室、自動車図書館及びホームページからの予約受付件数			
2-8	図書館ホームページへのアクセス件数	371,691件	390,000件	図書館ホームページの内容充実と分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と関心を高めることで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	図書館ホームページへのアクセス件数			
2-9	図書館情報紙の発行回数	7回	8回	図書館情報紙「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」など、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	市民向けの図書館情報紙の発行回数			
2-10	ボランティア等によるおはなし会等開催回数	23回	100回	定期的におはなし会等を開催することで、本に関する関心を高め、読書推進を目指す。
指標の説明	図書館ボランティア・図書館職員が実施したおはなし会・ブックトーク・パネルシアター等の開催回数			

### 3 高齢者、障害を持った方及び外国の方へのサービスに関する指標（5項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和2年度実績		
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,735冊	3,000冊	大活字本の計画的な蔵書管理に努め、高齢の方、障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の所蔵冊数			
3-2	大活字本の貸出冊数	1,960冊	2,300冊	資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やピーアールに努め、高齢の方や障害を持った方への図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の貸出冊数			
3-3	外国語資料の所蔵点数	11,046冊	12,000冊	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	英語、中国語、韓国語をはじめ、中央図書館で所蔵する児童書及び一般書の外国語資料数			
3-4	外国語資料の貸出冊数	10,672冊	12,000冊	外国語資料コーナーの配架や外国語による掲示等の充実にも努め、外国語資料の貸出増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	外国語資料の年間貸出冊数(児童書と一般書の合計)			

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和2年度実績		
3-5	点字資料の所蔵点数	237点	250点	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、障害を持った方への図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館のボランティアが作成した点字資料と購入した点字資料の所蔵点数			

#### 4 地域支援サービスに関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和2年度実績		
4-1	自動車図書館利用人数	12,712人	14,000人	自動車図書館のステーションの見直しや蔵書の充実を図り、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(2台)の年間貸出人数			
4-2	自動車図書館貸出冊数	44,415冊	55,000冊	自動車図書館資料の充実に努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(2台)での年間貸出冊数			
4-3	相互貸借貸出冊数	575冊	1,500冊	利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供することで、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館が所蔵していない資料で、利用者の希望を受けて他市等の図書館から借受けをして貸出しを行った資料冊数			

#### 5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和2年度実績		
5-1	レファレンス受付件数	1,389件	1,800件	レファレンス能力の向上とレファレンスサービスのピーアールに努め、利用者の情報や知識の獲得、調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館カウンター、電話、メール等でのレファレンス受付件数			
5-2	ボランティア登録者数	150人	160人	より多くの方にボランティア活動に参加していただけるよう、多様なボランティア活動の機会や場所を提供する。また、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティアに登録した人数(一人で複数のボランティアに登録している場合は一人で算出)			
5-3	ボランティア活動者数	1,006人	2,200人	多様なボランティア活動の機会や場所を提供することで、市民のボランティア活動を支援するとともに、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティア活動に参加した年間延人数			

#### 6 学校図書館等支援に関する指標（6項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和2年度実績		
6-1	団体貸出利用回数	103回	200回	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等の団体貸出利用団体の増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	団体貸出を利用した団体の延利用回数			

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和2年度実績		
6-2	団体貸出図書冊数	6,912冊	15,000冊	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等への団体貸出しの利用増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・児童クラブ・福祉施設等の団体に対しての図書貸出冊数(1回につき、1団体300冊まで3か月間貸出可)			
6-3	社会科見学等の図書館見学受入回数	0回	10回	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・義務教育学校・特別支援学校等による図書館見学の受入回数			
6-4	職場体験学習受入人数	0人	40人	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	8年生(中学2年生)を対象とした職場体験の場として、中央図書館で図書館業務の体験学習を受け入れた生徒の人数			
6-5	ジュニア図書館員受入人数	0人	75人	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。
指標の説明	4年生から6年生を対象にした図書館の業務体験事業に参加した児童数			
6-6	学校図書館司書教諭補助員等の研修参加人数	0人	170人	学校図書館との連携を強化し、司書教諭や司書教諭補助員の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	学校図書館司書教諭補助員及び司書教諭等を対象に実施される研修の延参加人数			

#### 7 市民満足度に関する指標 (1項目)

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和2年度実績		
7-1	利用満足度調査の満足度	85%	80%以上	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。
指標の説明	年度末に、中央図書館内で利用者に対して図書館サービスについて満足しているかどうかの調査を実施する。			

## 令和 2 年度つくば市立中央図書館 利用者満足度調査報告書

### 1 実施について

#### (1) 調査の目的

中央図書館における利用の実態や満足度を把握し、今後の図書館運営に生かすため、利用者満足度調査を実施した。

#### (2) 調査対象者

つくば市立中央図書館利用者

#### (3) 調査期間

令和 3 年（2021 年）3 月 3 日（水）～3 月 24 日（水）

※ 8 日（月）、12 日（金）、15（月）、22（月）を除く 18 日間

※当初は 17 日（水）まで 2 週間の予定だったが、回答数が極端に少なかったため、調査期間を 1 週間延長した。

#### (4) 調査方法

調査期間中、中央図書館内正面入り口、中央カウンター及び視聴覚カウンターの 3 か所に調査用紙と回収箱を設置。また、土曜日と日曜日は 2 階学習室の利用者にも調査を依頼し、任意で回答への協力を得た。

#### (5) 有効回答数

124

### 2 調査結果概説

今年度の調査でも昨年度に引き続き回答者数が大きく減少したため、急遽調査期間を 1 週間延長するとともに、2 階学習室の利用者にも回答への協力を依頼し、昨年度と同程度の有効回答数を得た。未だ新型コロナウイルスの影響による外出自粛及び図書館の一部利用制限は続いており、来館者数の減少（昨年度 3 月比）や滞在時間短縮の呼びかけ等が回答者数の減少に影響を与えていると思われる。

これまでの調査から、近年当館では、図書館の中で本や雑誌を読んだり勉強や調べ物をしたりするなど滞在を目的とする利用者の数が減少してきており、館内での滞在時間も短くなってきている。この傾向は今年度の調査でも見られた。特に問 2 で尋ねた滞在時間については、ここ数年は「30 分～1 時間」と回答した人が最も多かったが、今回の調査で「10 分～30 分」と回答した人の割合が最も大きくなった。今回学習室の利用者も対象とし、問 1 で「勉強や調べ物をする」と回答した割合が例年よりも増えたことを踏まえると、滞在時間の短縮傾向は問 2 の結果よりも顕著であるといえる。新型コロナウイルスの感染拡大も、未だこの傾向に拍車をかけていると考えられる。

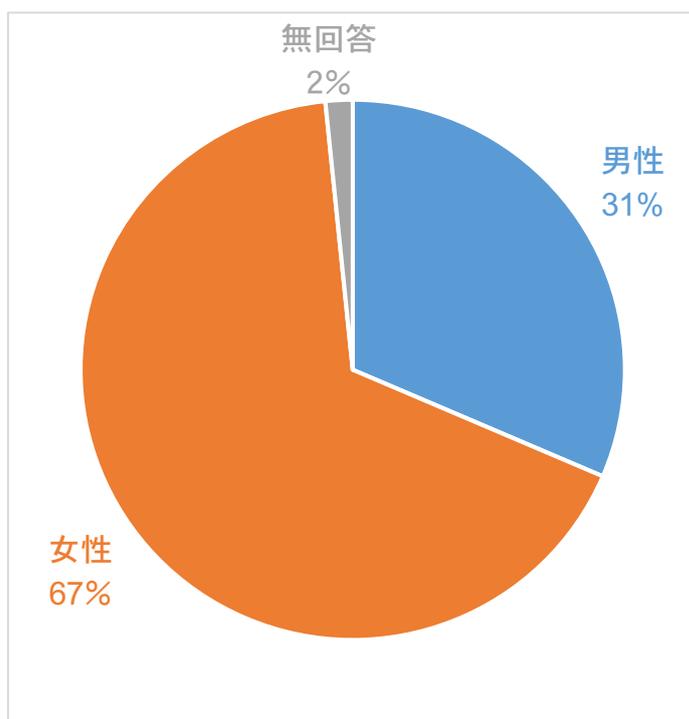
図書館サービスの満足度について尋ねた問5では、ほとんどの項目で「満足」「やや満足」を合わせた回答が8割を占めているが、「所蔵資料の数や種類」「館内の過ごしやすさ」「図書館のホームページ」の項目で「やや不満」「不満」の回答が比較的多かった。これらの不満はこれまでの調査でも見られたものであり、解決するには現在の施設やシステムの状況では限界もあるため、中長期的な計画も必要である。なお、コロナ禍の今回、「滅菌や除菌のできる機械を置いてほしい」という意見も複数見られた。

今回の調査結果をふまえ、今後もサービス向上のため利用者目線で図書館運営を行っていきたい。また、本調査では自由記入欄を設けていないが、回答欄外に意見や要望を記入する回答者が多く見られたため、意見や要望などを自由に記入できる箇所の設定も検討していきたい。

### 3 調査結果

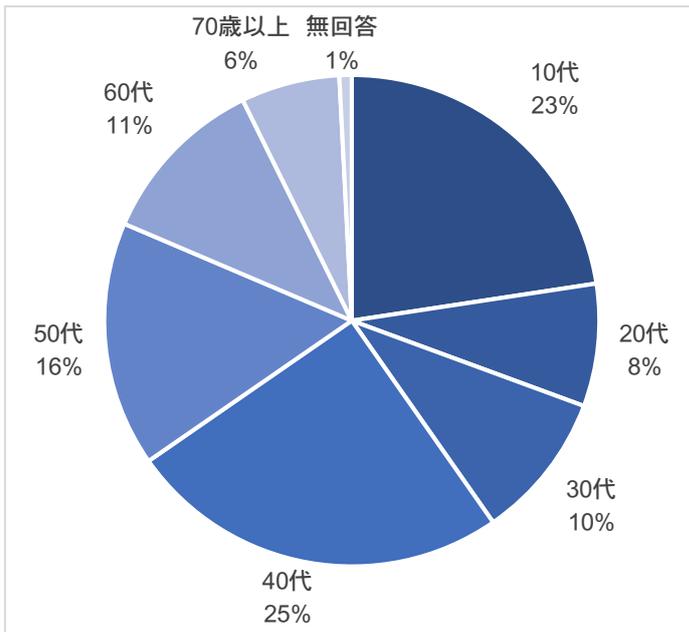
#### (1)回答者の属性

ア・イ 性別・年齢



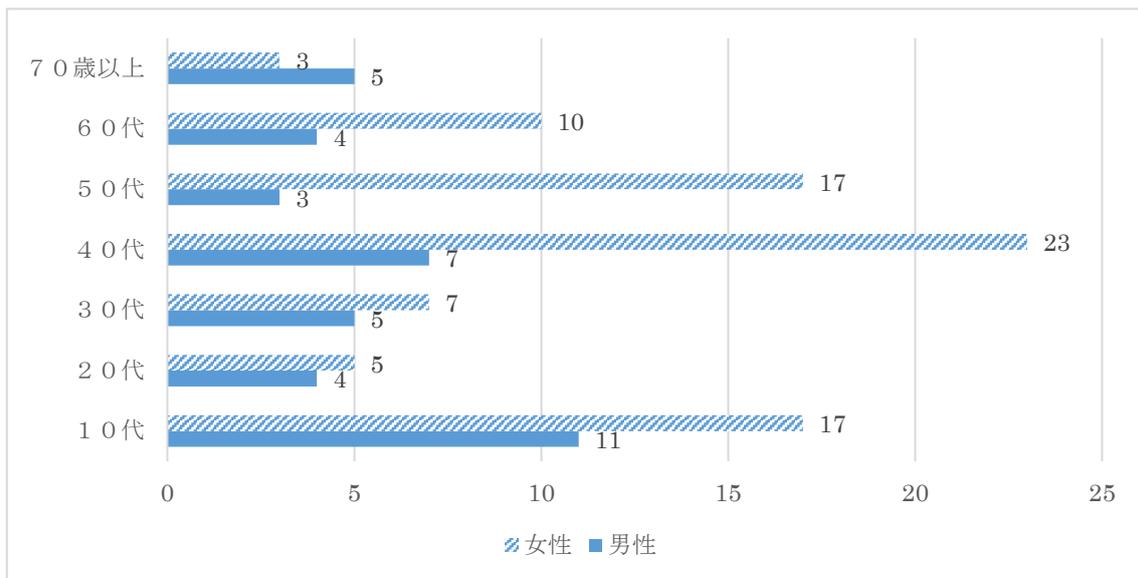
(人)

男性	39
女性	83
無回答	2
合計	124



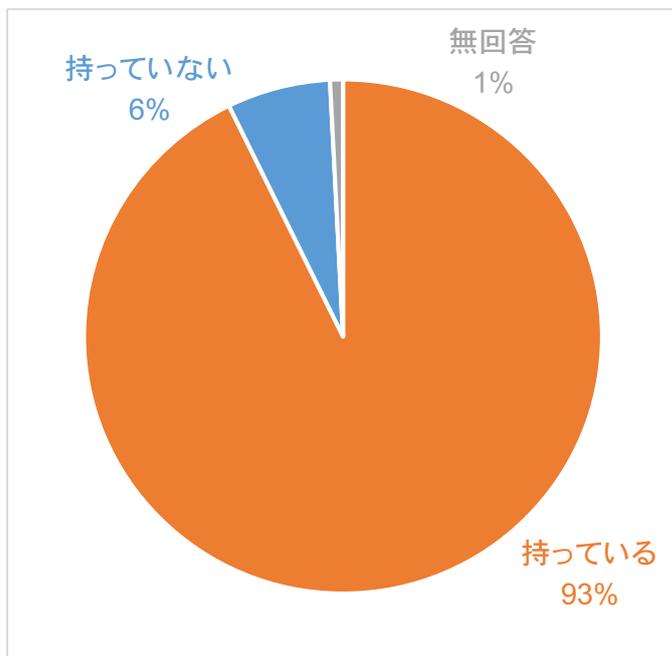
(人)

10代	28
20代	10
30代	12
40代	31
50代	20
60代	14
70歳以上	8
無回答	1
<b>合計</b>	<b>124</b>



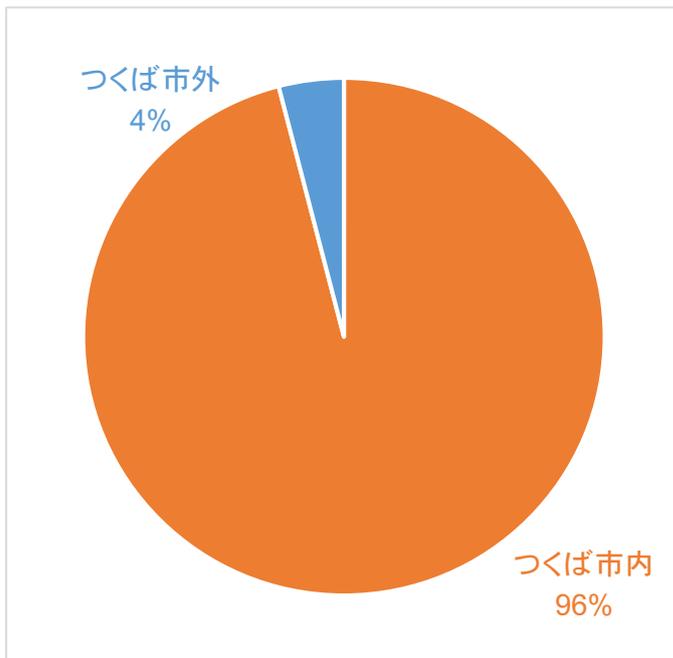
性別・年齢それぞれの割合は、例年とほとんど変化のない結果となった。性別と年齢を合わせた集計を見てみると、前回と比べて、20代・30代・70歳以上は男女の差が縮まったが、50代・60代では女性の割合が増えた。特に60代では男女の割合が逆転した。

ウ 利用カード登録の有無



(人)	
持っている	115
持っていない	8
無回答	1
<b>合計</b>	<b>124</b>

エ 居住地



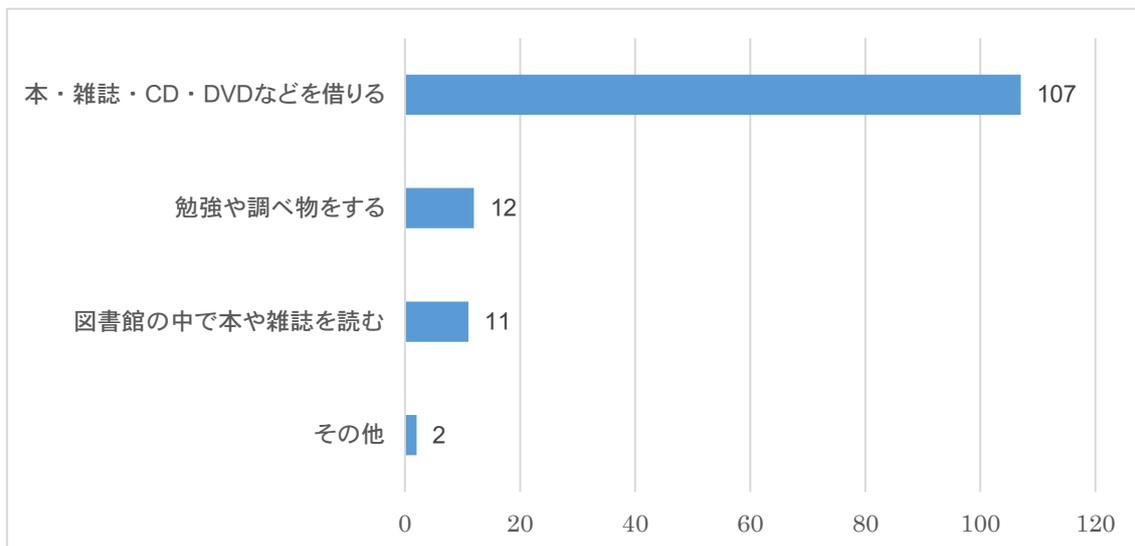
(人)	
つくば市内	129
つくば市外	5
<b>合計</b>	<b>124</b>

つくば市外利用者内訳 (人)	
土浦市	1
つくばみらい市	1
常総市	1
無回答	2
<b>合計</b>	<b>5</b>

利用カード登録の有無及び居住地について、それぞれ利用カードを持っている人とつくば市内在住の人が約9割を占めた。

## (2) 質問事項

問1 今日図書館に来た目的の中で一番近いものを選んでください（複数選択可）

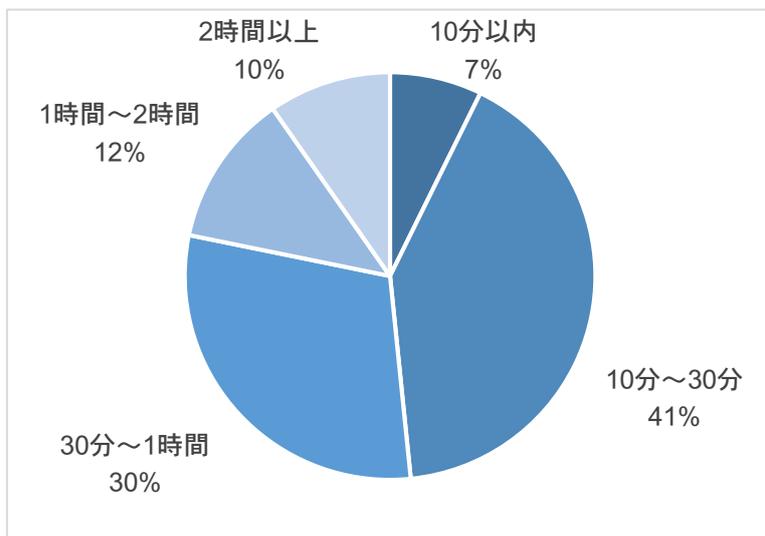


※「その他」回答：マンガ

前回までの調査では、「本や雑誌を借りる」と「CDやDVDを借りる」で選択肢を分けていたが、図書館に来る主目的である資料の貸出しとしてまとめ、一つの選択肢とした。

「本・雑誌・CD・DVDなどを借りる」目的で来館する人が多い一方で、「図書館の中で本や雑誌を読む」「勉強や調べ物をする」など滞在を目的とする利用者は少なかった。また、「勉強や調べ物をする」と回答した利用者が例年よりも多かったのは、今回の調査では2階の学習室の利用者にも調査への協力を依頼したためである。

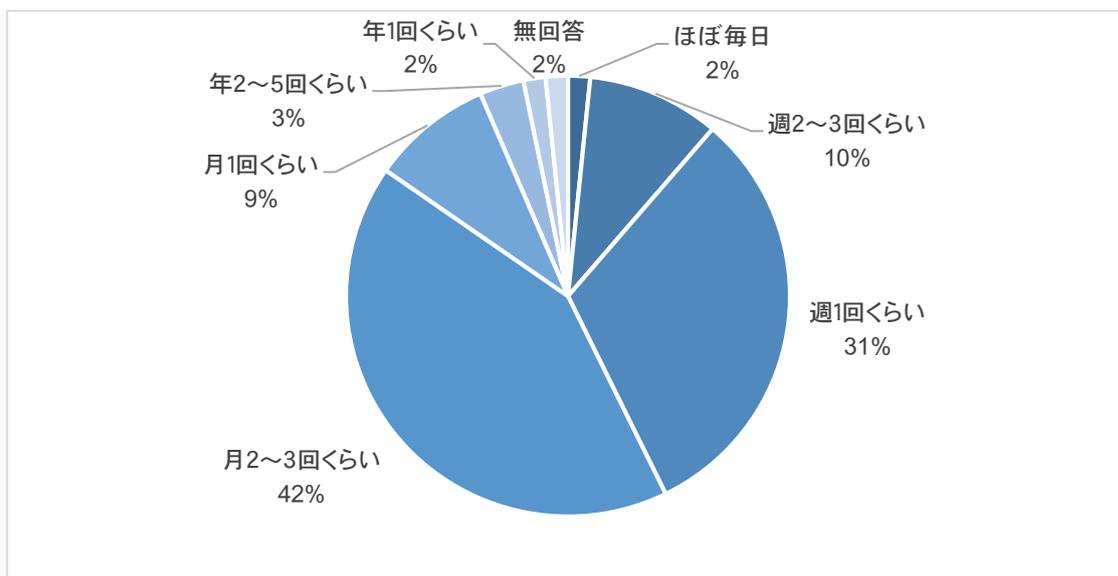
問2 あなたが図書館にいた時間（あるいは予定の時間）は次のどれですか（1つのみ）



H29年度から滞在時間は年々短くなる傾向にあり、今回の調査では、ついに「30分～1時間」よりも「10分～30分」と回答した人の割合が多くなった。

また、前回の調査に引き続き、新型コロナウイルスの流行も、滞在時間の短縮化に影響を与えていると考えられる。

問3 あなたは、どれくらいの頻度でつくば市の図書館・図書室・アルス号を利用しますか（1つのみ）

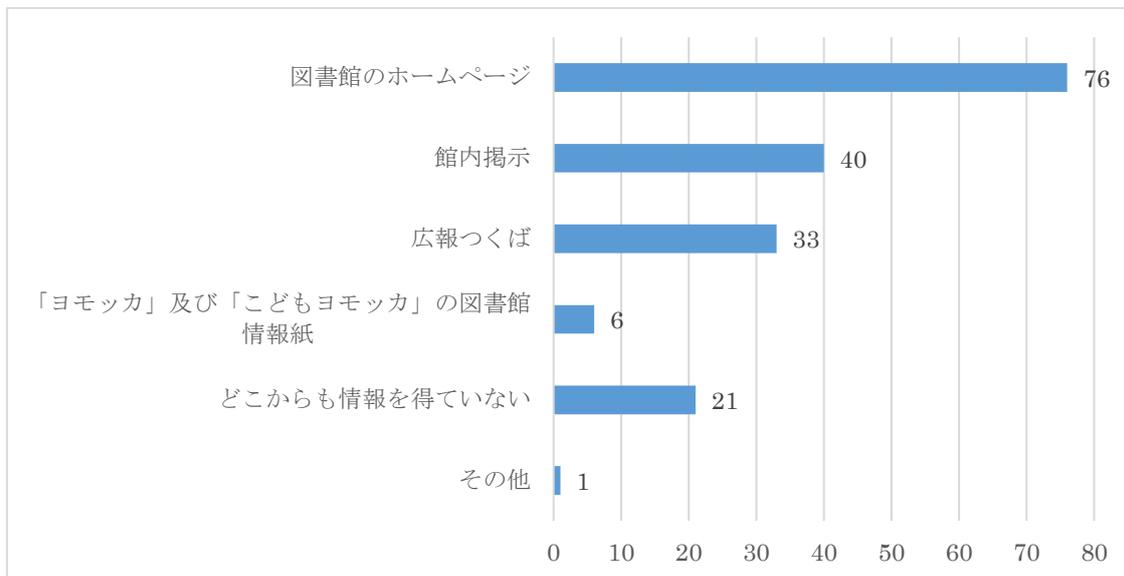


(人)

「月に2～3回くらい」が42%と最も多く、次いで「週1回くらい」が31%となった。貸出期間の2週間に合わせて来館すると月2～3回になるので、それ以上の頻度で訪れている利用者を定期利用者であると考え、その割合は85%である。令和元年度と比べると週2～3回以上の利用者の割合がやや減少したが、大きな変化はない。

ほぼ毎日	2
週2～3回くらい	12
週1回くらい	39
月2～3回くらい	52
月1回くらい	11
年2～5回くらい	4
年1回くらい	2
無回答	2
<b>合計</b>	<b>124</b>

#### 問4 中央図書館に関する情報を主に何から得ていますか（複数回答可）

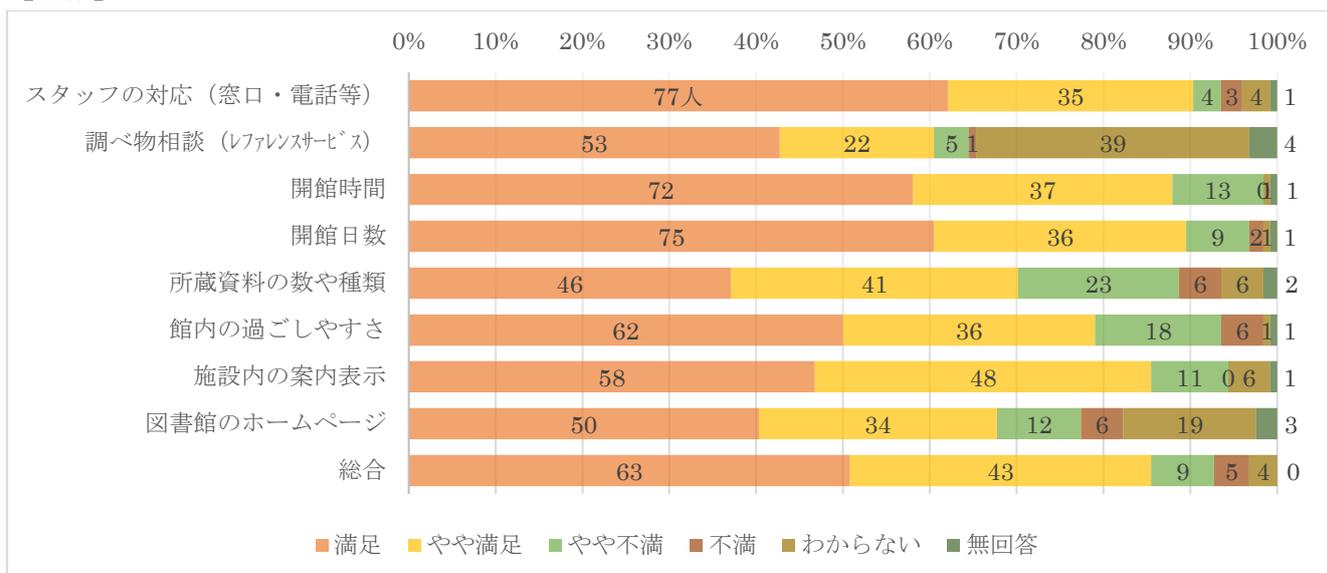


※「その他」内訳：新聞広告等

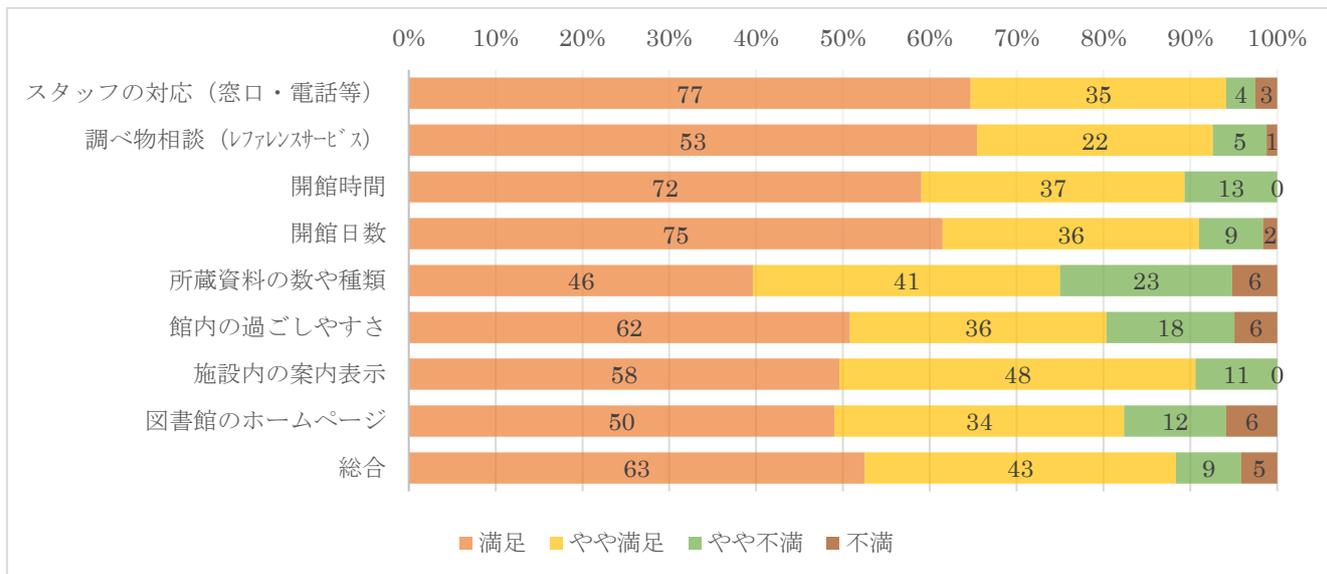
情報収集源の割合は例年とほとんど変わらず、依然としてホームページで情報を得ている利用者が最も多く、どこからも情報を得ていない利用者も一定数存在する。

#### 問5 図書館サービスについてうかがいます

【全体】



## 【「わからない」及び無回答を除く】



### ○スタッフの対応（窓口・電話等）

昨年に引き続き、「満足」と「やや満足」を合わせた割合が90%を超えており、接遇は高水準を保っているが、スタッフが「挨拶ができない」「愛想が悪い」といった意見もある。

### ○調べ物相談（レファレンスサービス）

レファレンスサービスを必要としない利用者も多いため、他の項目に比べて「わからない」の割合が大きく、令和元年度よりも増加した。利用した人の中では「満足」「やや満足」の回答が合わせて90%を超えており、「満足」の回答が増加した。

### ○開館時間

平成30年4月1日に土日の閉館時間が19時に延長されてから、「満足」「やや満足」を合わせた割合は90%近くを維持しており、「満足」の回答も前回から増加した。

### ○開館日数

「満足」と「やや満足」の合計は90%近いが、「休館日が多い」という意見も見られる。

### ○所蔵資料の数や種類

他の項目と比べて「やや不満」「不満」の占める割合が大きく、「満足」の割合も半分以下と低い。個別のコメントでも、所蔵資料の数や種類が少ないといった意見が寄せられている。

○館内の過ごしやすさ

「満足」と「やや満足」を合わせた割合は例年とほぼ変わらず、約80%となっている。「館内が寒い」「来館者のおしゃべりの声大きい」といった意見があった。

○施設内の案内表示

昨年に引き続き「満足」と「やや満足」を合わせた割合は約90%となっている。案内表示については利用者にとって分かりやすい表示ができていると考えられる。

○図書館のホームページ

「わからない」の割合が最も大きく、「やや不満」「不満」の占める割合も3番目に多い。「子どももWebサービスを使えるようにしてほしい」「マイ本棚管理を分かりやすくしてほしい」といった意見があった。

利用者満足度調査に御協力いただき、ありがとうございました。  
この度の結果を活かし、図書館サービスの改善に努めてまいります。

つくば市立中央図書館

令和3年度  
(2021年度)

# つくば市の図書館概要



つくば市立中央図書館

# 目 次

ページ

1	つくば市の概要	1
2	施設概要	1
3	運営方針	2
4	組織・事務分掌	3
5	図書館サービス体制	4
6	図書館サービス	4
7	小中学校・義務教育学校への支援事業	7
8	自動車図書館	8
9	4交流センター図書室との連携	8
10	筑波大学附属図書館との連携	9
11	令和2年度（2020年度）の主な図書館事業	10
12	沿革	12
13	年間統計	19
14	ボランティア活動状況	23
15	所蔵雑誌一覧	24
16	所蔵新聞一覧	29
17	雑誌スポンサー制度	30

## 1 つくば市の概要

つくば市は、茨城県の南西部に位置し、東京から北東に約 50 km、面積は 283.72 km<sup>2</sup>で、県内 4 番目の広さです。

万葉集で多く詠まれた名峰「筑波山」をはじめとする豊かな自然と、研究・教育機関の集積「筑波研究学園都市」を有する、自然と科学が調和したまちです。

筑波研究学園都市では、国と民間合わせて約 150 の研究機関が立地し、約 19,000 人の研究従事者が日々、最先端の研究開発を行っています。また、筑波大学においても、恵まれた環境の下、様々な分野の研究が行われており、つくば市とも各分野で連携しています。

つくば市には、研究従事者や留学生など多くの外国人が居住し、その数は 138 か国、約 9,900 人に及び、つくば市全体の人口の約 4.1%に当たります。(全国平均は 2.0%)

平成 17 年(2005 年)のつくばエクスプレス開業以降、沿線地区を中心に人口は増加傾向にあり、青少年人口が多いことも特徴です。(全国平均 12.1%に対してつくば市 16.7%)

つくば市は、平成 30 年(2018 年)2月に国連の持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)の考え方を取り入れた「持続可能都市ビジョン」を公表しました。同年 3 月には市議会で、「つくば市政に SDGs(持続可能な開発目標)の理念を反映するための取組を求める決議」が可決。また、本市が国から県内唯一の「SDGs 未来都市」に選定されたことから、持続可能なまちづくりのための取組を全国に先駆けて推進しています。

SDGs の基本理念である「誰一人取り残さない」という包摂の精神は、つくば市の持続可能なまちづくりとも一致するものであり、SDGs を重要なキーワードとしながら、市民、議会、行政などが一丸となって具体的な取り組みを進めています。

[つくば市人口(常住人口) : 245,505 人 (令和 3 年(2021 年)5 月 1 日現在) ]

## 2 施設概要

「つくば市立中央図書館」(以下、中央図書館)は中央公園に面し、茨城県近代美術館つくば分館との複合施設「つくば文化会館アルス」として建設され、平成 2 年(1990 年)6 月に開館しました。アルス(ARS)は、ラテン語で「芸術・学芸・美術」を意味します。館内には、ピアノ備え付けの多目的ホール「アルスホール」もあり、コンサートや講演会などに利用されています。

つくば文化会館アルス (図書館、美術館、ホール)	
所在地	茨城県つくば市吾妻 2 丁目 8 番地
施設面積	市管理部分 : 2,695 m <sup>2</sup> (1 F : 1,714 m <sup>2</sup> 2 F : 912 m <sup>2</sup> その他 : 69 m <sup>2</sup> )
	県管理部分 : 2,068 m <sup>2</sup> (1 F : 1,574 m <sup>2</sup> 2 F : 494 m <sup>2</sup> )
	県市共用部分 : 1,414 m <sup>2</sup> (1 F : 645 m <sup>2</sup> 2 F : 358 m <sup>2</sup> その他 : 411 m <sup>2</sup> )

施設概要 (市管理部分)	1 F 開架書架室、保存書庫、自動車図書館車庫 ほか 2 F アルスホール、集会室、会議室、事務室 ほか
-----------------	---

<b>つくば市立中央図書館</b>	
利用時間	午前9時30分～午後7時（特別開館日は午後5時まで）
休館日	月曜日(国民の祝日と重なった場合は火曜日)、祝日（一部の祝日は特別開館）、年末年始、特別整理期間(6月・2月)

<b>アルスホール（つくば市視聴覚センター）</b>	
利用時間	午前9時～午後10時（月曜祝日は午後5時まで）
定員	100名
休館日	月曜日(国民の祝日と重なった場合は火曜日)、年末年始
設備品	グランドピアノ、マイク、スクリーン、調光装置、専用控室 ほか
その他	利用申込みは、6か月前の同日から利用日の前日まで 予約状況は、ホームページから確認可能

### 3 運営方針

中央図書館では、市民の生涯学習を支援するとともに、教育・文化などに関する情報や資源を受発信する「知」の拠点として、市民が利用しやすい図書館を整備し、充実を図っていくものとします。

#### 「令和3年度（2021年度）中央図書館重点事業」

##### （1）安全・安心な図書館サービスの提供

新型コロナウイルス感染症対策を強化し、利用者の安全を確保し、安心して利用していただけるようサービス体制を構築します。

イベントの実施に当たっては、感染リスクの少ないイベントを企画し、また、既存イベントについても様々な工夫を凝らして行っていきます。

##### （2）つくば市域における図書館間の連携強化

「つくば市域図書館連携協定」に基づき、筑波大学附属図書館との連携事業を開始します。令和3年度は、筑波大学附属図書館との独自の相互貸借を開始し、利用者の利便性の向上を図ります。

### (3) 自動車図書館サービスの拡大

自動車図書館サービスを3台体制で行うため、令和3年度中に新規車両の配備を完了します。また、サービスステーションについては、令和4年度からの増設に向け既存ステーションの見直しを行うとともに、ニーズ調査や先進事例調査などを通じて新たな利用の拡大を図ります。さらに、自動車図書館を活用したイベントや従来の考え方にとらわれない活用方法などについての検討を開始します。

### (4) 中央図書館の施設改修計画の検討

図書館懇話会提言書で示された、公園のように自由な図書館「ふれあいライブラリーパーク」の理念を実現する中央図書館の施設改修についての検討を開始します。令和3年度は、先進事例調査、市民意見の聴取及び改修計画案策定に着手します。

### (5) 次期図書館情報システムの検討

令和4年度に導入を予定している次期図書館情報システムについての検討作業に着手します。次期システムについては、電子図書館や読書通帳、スマホアプリなどの導入の可能性やWeb機能の充実などの検討を行います。

## 4 組織・事務分掌

### (1) 組織

- ① 館長 — 副館長
- └ 管理係
  - └ サービス係

- ② 職員数 27 名（うち司書資格 19 名）

〔内訳〕 正職員：15 名、図書館専門員（会計年度任用職員）12 名

そのほか、カウンター補助、事務補助、配送など会計年度任用職員 39 名

〔令和3年（2021年）4月1日現在〕

### (2) 事務分掌

- ① 管理係

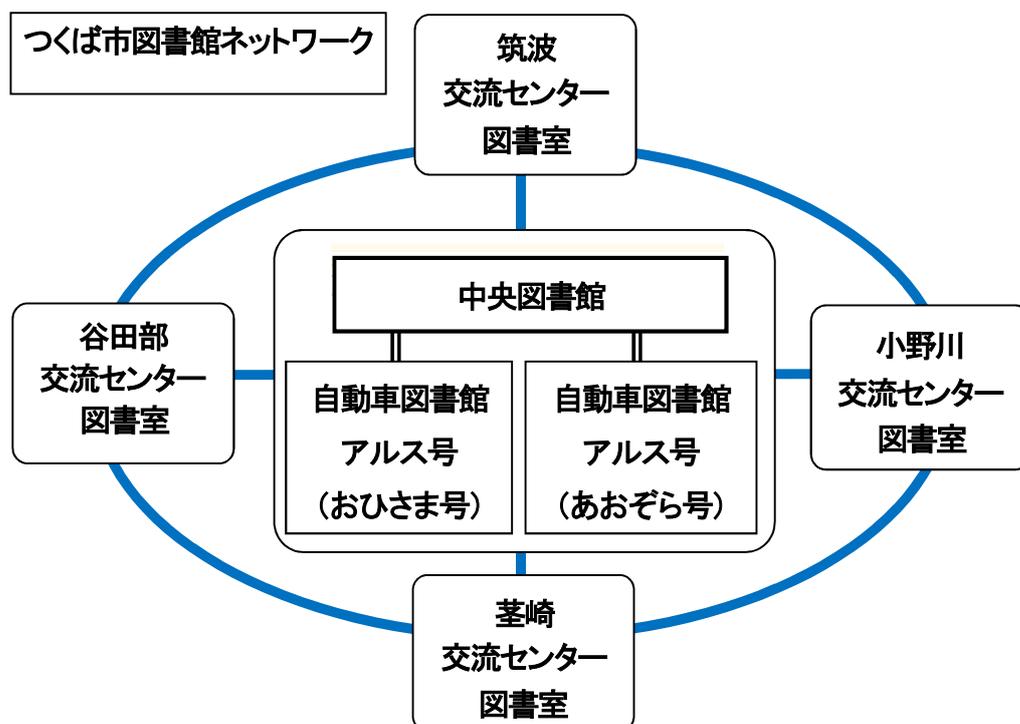
予算管理、施設管理、資料収集・廃棄、ボランティア、図書館情報システム、広報広聴、図書館協議会、アルスホール ほか

- ② サービス係

館内利用、団体貸出、相互貸借、館内展示、自主事業の企画・運営、自動車図書館、学校図書館支援、書架管理、延滞資料処理 ほか

## 5 図書館サービス体制

つくば市の図書館サービス体制は、中央図書館を中心に自動車図書館及び次に示したオンラインシステムで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荃崎の各交流センター図書室(以下、4交流センター図書室)で構成され、貸出・返却・予約などのサービスを一体的に受けることができます。また、これらのサービスは、図書館情報システムにより一元的に管理されています。



このほか市庁舎(コミュニティ棟)、大穂・豊里・並木・広岡の各交流センターにも返却することができます。

## 6 図書館サービス

### (1) 貸出

#### ① 個人貸出

つくば市に在住、在勤、在学している個人に利用カードを交付し、図書の貸出を行います。

個人の図書館利用カードの登録・交付は、つくば市在住の方は氏名、住所の確認できるもの、在勤・在学の方はそのほかに勤務先・通学先のわかるものを提示の上、「貸出登録申込書」の提出により登録ができます。

#### ② 団体貸出

つくば市内で活動する団体や施設が行う読書活動を推進するために図書館資料を長期間貸出するサービスです。登録の際に必要な書類や手続方法については御相談ください。

### ③ 貸出条件

貸出区分	資料区分	期間	冊数・点数
個人貸出	図書資料	2週間以内	10冊以内
	視聴覚資料	1週間以内	3点以内
団体貸出	図書資料（閉架で所蔵する、雑誌及び地域資料を除く資料）	3月以内	300冊以内（うち紙芝居、外国語資料は50冊まで）
	図書資料（開架で所蔵する、雑誌及び地域資料を除く資料）	2週間以内	20冊

### (2) 返却

中央図書館、自動車図書館及び4交流センター図書室で図書館資料の返却ができます。

なお、視聴覚資料や紙芝居は破損の恐れが高いため、職員へ直接手渡しで返却し、資料本体の確認を受けてください。

そのほか、次の施設でも各施設の開館時間中であれば返却ができます。（紙芝居など一部資料を除く）

- ア つくば市庁舎ブックポスト（コミュニティ棟1F）
- イ 大穂交流センターブックポスト
- ウ 豊里交流センターブックポスト
- エ 並木交流センターブックポスト
- オ 広岡交流センター窓口



### (3) 図書資料の予約・リクエスト

#### ① 予約・リクエストとは

御希望の図書資料が貸出中の場合は、貸出の予約をすることができます。また、その資料が中央図書館で所蔵していない場合は、リクエストすると購入について検討します。御希望にお応えできない場合もありますが、その場合、茨城県内の他市町村図書館などからの取寄せ（原則無料）や、茨城県外の図書館からの取寄せ（有料。諸条件あり）をすることができます。

#### ② 申込方法

申込みは、「予約・リクエスト・相互貸借申込書」に記入し、直接提出又は、Webから申し込むことができます(予約の場合は、あらかじめパスワードの設定が必要です。図書館・図書室で利用カードを提示の上手続きしてください)。なお、貸出の予約に限り、館内にある利用者端末からも申し込むことができます。

御用意ができましたら、電話又はE-mailで御連絡いたします。予約・リクエストは、申込みができる冊数に上限があります。

### ③ 在架図書を取寄せ

中央図書館所蔵で貸出中ではない図書（在架図書）については、4交流センター図書室で受け取ることができます。予約はWeb サービスから、取り寄せには日数を要しますので御了承ください。

## （４）Web サービス

- ① 資料の予約、リクエスト、レファレンス（相談）、利用状況（貸出中の資料、返却日、予約状況）の確認、メールアドレスの登録・変更及びパスワード変更などができます。
- ② リンク先として、図書館、出版情報、他官公庁の情報などを掲載しています。
- ③ 「マイ本棚」機能で、貸出履歴の管理などができます。

## （５）視聴覚サービス

映像（DVD・VHS）や音声（CD・カセットテープ）による視聴覚資料は、館内で視聴できるよう提供しています。著作権者の許諾を得られたものは館外貸出を行っています。

## （６）多文化サービス

- ① 英語、中国語、韓国語を中心に、外国語雑誌13誌及び外国語新聞5紙（1紙は子供用）を収集し、備えています。（詳細はP24の「所蔵雑誌・新聞一覧」を参照）
- ② 館内カウンターには、英語、中国語、韓国語及びポルトガル語の利用案内を設置しています。

## （７）送付貸出しサービス

図書館の利用が困難な方や不便な方などの自宅へ図書を送付するサービスです。貸出及び返却に係る費用は利用者の負担となります。

## （８）乳幼児、児童、高齢者及び図書館利用に支障のある方へのサービス

- ① こどもコーナーに、子供の成長に応じた資料を備えています。
- ② こどもコーナーに、大活字の本、LLブックを備えています。  
※「LL」とは、スウェーデン語で「やさしく読める」という意味の略語であり、知的障害のある方など、一般的な情報提供では理解が難しい方にとっても読みやすく作られている本のことを「LLブック」といいます。
- ③ 大活字本コーナーに、大きな活字の本を備えています。
- ④ 小説などの録音資料（CD・カセットテープ）を備えています。
- ⑤ 点訳ボランティアが作成した点字絵本を備えています。
- ⑥ 音訳ボランティアが作成した「声の常陽リビングとミニ情報」の希望者への配布、「広報つくば」音声版の提供、対面朗読などを行っています。

## (9) 複写サービス

著作権法第31条の規定により、図書館が所蔵する資料の一部を一人につき1部コピーすることができます。

○カラーコピー：1枚50円 ○白黒コピー：1枚10円（サイズは最大A3まで）

## (10) オンラインデータサービス

中央図書館内の専用端末を使うことにより、以下のデータベースサービスを利用することができます。

- ① 朝日新聞データベース「聞蔵Ⅱ テキスト版」
- ② 茨城新聞データベース
- ③ 官報情報検索サービス
- ④ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

※利用条件等がそれぞれ異なりますので詳しくは図書館ホームページを参照してください。

## 7 小中学校・義務教育学校への支援事業

中央図書館では、児童及び生徒の読書環境の充実を推進するために、市立小中学校及び義務教育学校に対して各種の支援事業を行っています。

- ① ジュニア図書館員、職場体験学習、社会科見学などの受入れ
- ② 学校図書館、学級文庫に対する団体貸出
- ③ 学校訪問ブックトーク事業
- ④ 司書教諭補助員の研修
- ⑤ 小学校・義務教育学校への自動車図書館巡回



学校訪問ブックトーク

## 8 自動車図書館

自動車図書館では、図書の貸出・返却のほか、利用登録の受付、貸出の予約などのサービスを行っています。

自動車図書館の日程表は、図書館ホームページなどで確認できます。

なお、図書資料の汚損等を防止するため、悪天候時には運行を中止する場合があります。

車両の詳細は次のとおりです。

- ① 名称 1号車「おひさま号」、2号車「あおぞら号」
- ② 積載冊数 1台当たり約3,500冊
- ③ 訪問先 48ステーション  
(小学校、保育所、児童館、老人ホーム、市役所など)
- ④ 運行日 火・水・木・金曜日及び隔週土曜日  
(日程表は毎年広報つくば4・10月号及び図書館ホームページに掲載)
- ⑤ 巡回周期 2週間に1度
- ⑥ 装備 車椅子用リフト付き



※ 令和4年度(2022年度)には、新たな車両を導入し、3台体制でより細やかなサービスを提供していきます。

## 9 4交流センター図書室との連携

つくば市内にある17の地域交流センターのうち、谷田部・筑波・小野川・荃崎の4交流センター図書室では、コンピュータネットワークにより中央図書館と一体的な図書館サービスを提供し、市民サービスの向上に努めています。

- ① 中央図書館及び自動車図書館で所蔵している資料も検索することができます。
- ② 4交流センター図書室、中央図書館及び自動車図書館の本を取り寄せて利用することができます。
- ③ 中央図書館の在架(本棚にありかつ貸出中ではない)図書資料をWebから予約して4交流センター図書室に取り寄せることができます。(視聴覚資料・コミックスなどは対象外)
- ④ 借りた資料は、上記の施設のどこでも返すことができます。また、図書資料は、市庁舎(コミュニティ棟)及び大徳・豊里・並木・広岡の各交流センターにも返却することができます。

## 10 筑波大学附属図書館との連携

つくば市域に所在する図書館の、それぞれの情報、資源及び活動成果等の交流を促進し、かつ、連携してその活用を図ることにより、相互の持続可能な発展と充実に資することを目的として、令和元年（2019年）9月に筑波大学附属図書館と連携協定を締結しました。

まずは筑波大学附属図書館との連携事業を進め、将来的には協定の範囲をつくば市域全体に広げていくことを目指します。

### 筑波大学附属図書館との連携事業

#### ① 「ライブラリーピクニック」実施

令和元年（2019年）11月2（土）・3日（日）、筑波大学学園祭に合わせ、筑波大学附属図書館駐車場にてライブラリーピクニックを開催。筑波大学図書館情報メディア系共催、つづきブックカフェ（横浜市）協力のもと、自動車図書館による図書の貸出、読み聞かせ、ジャズ演奏などを実施しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。

#### ② 2者間独自の相互貸借制度の運用を開始

令和3年（2021年）6月1日、つくば市域図書館連携に関する協定書第2条に基づき、筑波大学附属図書館とつくば市立中央図書館との間の独自の相互貸借制度の運用を開始しました。茨城県図書館情報ネットワーク物流搬送システムを利用して行っている相互貸借を両館が直接行うことにより、搬送に要する時間を短縮し、利用者への貸出期間をより長く確保することができるようになりました。

#### ③ 筑波大学附属図書館へのブックポストの設置

筑波大学附属中央図書館につくば市立中央図書館のブックポストを設置します。これにより、当館で貸出した本を筑波大学附属中央図書館でも返却できるようになります。令和3年度中に運用を開始する予定です。

## 11 令和2年度（2020年度）の主な図書館事業

年月	内容等
通年	「おはなし会」(毎週土曜日及び第5日曜日) 「古典ブックトーク」(毎月第1土曜日) 「おとなのためのブックトーク」(毎月第3土曜日) 「おはなしぶんぶん(乳幼児向けおはなし会)」。(原則月2回、第3金曜日・第4水曜日)
4月	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府・茨城県知事からの土日・夜間の外出自粛要請により、臨時休館(4・5日)及び午後5時までの時間短縮開館。(7日) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館。自動車図書館やブックポストを含めたすべてのサービスを休止。(8日～5月11日) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書館で開催するすべてのイベントを中止。(～5月)
5月	中央図書館で予約本の貸出を再開。開館時間は午後5時まで。(12日～) 資料の貸出、自動車図書館の運行を再開。開館時間は午後5時まで。(19日～)
6月	滞在型のサービスを除く図書館サービスを再開。開館時間は午後5時まで。(2日～) 新聞・雑誌の閲覧、インターネット閲覧端末・オンラインデータベースの利用、ソファ・椅子の利用を再開。開館時間は午後5時まで。(16日～) 「おはなしぶんぶん」を再開。(19日開催～)
7月	開館時間を午後7時までに戻し、閲覧席、視聴覚ブース、学習室の利用を再開。(1日～) 「古典ブックトーク」及び「おとなのためのブックトーク」を再開。
8月	
9月	
10月	公園通りの図書館通信「ヨモッカ」(第15号)発行。 学校訪問ブックトーク事業[小学校21校・中学校4校] (～2月) 「令和2年度第1回図書館協議会」(28日)
11月	児童向け図書館だより「こどもヨモッカ」(第14号)発行 「The World Week @中央図書館」開催。(4日～29日) 「おはなし会」を再開。(21日開催～)
12月	茨城県知事によりつくば市が感染拡大市町村に指定され(1月7日からは茨城県独自の緊急事態宣言発令)、不要不急の外出自粛要請が出されたため、図書館で開催するすべてのイベントを中止。(～2月)

- 
- 1月 新型コロナウイルスの感染拡大により茨城県独自の緊急事態宣言が発令されたため、中央図書館の滞在型サービス(インターネット閲覧端末・視聴覚ブース・リスニングデッキ・学習室の利用)を休止。(18日～2月23日)
- 
- 茨城県独自の緊急事態宣言発令による市内の全交流センター休館に伴い、4交流センター図書室は臨時休室(予約本の受取及びブックポストへの返却は可能)。(18日～2月7日)
- 
- 2月 公園通りの図書館通信「ヨモッカ」(第16号)発行
- 
- 児童向け図書館だより「こどもヨモッカ」(第15号)発行
- 
- 4交流センター図書室再開。(13日～)
- 
- 中央図書館で休止していた滞在型サービスを再開。(24日～)
- 
- 3月 「おはなし会」、「おはなしぶんぶん」、「古典ブックトーク」、「おとなのためのブックトーク」を再開。
- 
- 「令和2年度第2回図書館協議会」(9日)
- 
- 「ぬいぐるみたちのおとまり会」開催。(19日～21日)
- 

※事業等にはボランティアによる企画事業も含まれます。



The World Week @中央図書館



ぬいぐるみたちのおとまり会

## 12 沿革

年	月日	事項等
昭和62年 (1987年)	11月	・研究学園都市建設連絡協議会（研究学園都市を構成する6町村）、住宅都市整備公団つくば開発局及びその他による「筑波研究学園都市総合都市文化センター図書館基本計画」が策定される。
	11月30日	・筑波郡大穂町、豊里町、谷田部町及び新治郡桜村が合併し、つくば市が誕生すると同時に、教育委員会事務局に図書館準備室（2名）が発足する。
昭和63年 (1988年)	1月31日	・筑波郡筑波町がつくば市に加わり、つくば市全域への図書館サービス実施計画の検討を開始する。
平成元年 (1989年)	3月11日	・図書館を含む複合施設「筑波研究学園都市総合都市文化センター」が着工する。
	3月15日	・教育委員会による「これからの図書館サービスを求めて～つくば市の図書館サービス実施計画」が策定される。
	4月1日	・図書館準備室の職員が6名に増員され、本格的準備作業に入る。
平成2年 (1990年)	4月1日	・開館に向けて司書の採用、有資格者の異動により職員（8名）の確保を図り、14名体制となる。
	4月25日	・「筑波研究学園都市総合都市文化センター」竣工となる。
	6月8日	・図書館準備室にかわり、教育委員会に中央図書館を設置する。
	6月9日	・つくば文化会館アルス内に「つくば市立中央図書館」が開館する。
	6月16日	・おはなし会を開始する。
	7月18日	・自動車図書館つくばアルス1号、2号の運行及び巡回サービスを開始する。（ステーション35か所）
	9月30日	・つくば市立中央図書館概要を発行する。（以降毎年発行）
平成3年 (1991年)	4月1日	・稲敷郡茎崎町民への貸出サービス開始。図書館職員数19名体制となる。
	10月1日	・自動車図書館のステーション数を増加する。（ステーション50か所）
平成4年 (1992年)	1月31日	・小河内芳子氏の講演会を開催する。
	4月1日	・目の不自由な方への、郵送（無料）による録音テープの貸出しを開始する。
平成5年 (1993年)	2月	・谷田部公民館図書室とのオンライン化を図りサービスを開始する。
	4月1日	・図書館職員数25名体制となる。（公民館図書室への司書駐在開始）

	7月1日	・4月1日に開館した筑波公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスを開始する。
	10月17日	・図書館情報大学の実習生を受入れる。(以降毎年受入) ・社会福祉法人茨城県盲人協会から、障害者のための活動に対して感謝状を受ける。
平成6年 (1994年)	3月	・司書講習の実習生として全盲の学生を受入れる。
	3月25日	・一日図書館員(小学生)事業を開始する。(以降毎年実施)
	7月	・ボランティアの協力により録音図書を作成を始める。
	10月4日	・学校訪問ブックトークを開始する。(以降毎年実施)
平成7年 (1995年)	3月31日	・平成6年度の貸出冊数が県内公共図書館でトップになる。
	7月1日	・図書館情報システムを更新する。
平成8年 (1996年)	1月25日	・ボランティア朗読講座を開講する。
	4月	・除籍図書のリサイクル事業を開始する。(以降不定期開催)
	7月	・タッチパネル方式の利用者端末機を導入し、機能の充実を図る。 ・ご意見箱「皆さんの声」を設置する。
平成9年 (1997年)	11月28日	・講演会「図書館のススメ」竹内哲氏
	2月21日	・講演会「視覚障害者の読書と図書館」美月めぐみ氏
平成10年 (1998年)	4月1日	・図書館職員26名体制となる。(谷田部、筑波、小野川公民館図書室駐在司書含む。)
	5月	・4月1日に開館した小野川公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスを開始する。
平成11年 (1999年)	3月	・堀川理万子原画展を開催する。「リリィおばさんなげキッス」
	7月	・こども相談デスクを設置する。
	10月	・大島英太郎原画展を開催する。
平成12年 (2000年)	4月1日	・図書館職員27名体制となる。
	7月	・図書館情報システムを更新する。
	12月	・自動車図書館「アルス1号」を更新、おひさま号と命名する。
平成13年 (2001年)	4月1日	・図書館職員24名体制となる。
	12月	・自動車図書館「アルス2号」を更新、あおぞら号と命名する。
平成14年 (2002年)	4月1日	・図書館職員23名体制となる。
	11月1日	・稲敷郡茎崎町がつくば市に編入される。
平成15年 (2003年)	2月22日	・ファーストブック講座を開催する。(以降毎年実施)
	3月4日	・「つくば市立図書館の望ましい基準」策定に当たっての基本的な考え方を図書館協議会へ諮問する。

	4月20日	・英語のおはなし会を実施する。(県内初)
	6月1日	・利用カードのデザインを更新する。
	7月1日	・荃崎公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスを開始する。 ・図書郵送サービスを開始する。(県内初)
	7月	・学校図書館実務講座を開催する。(2日間) 2か年実施
平成16年 (2004年)	3月18日	・「つくば市立図書館の望ましい基準」策定に当たっての基本的な考え方について、図書館協議会から館長へ答申する。
	4月1日	・図書館協議会委員の公募を行う。
	4月23日	・子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受ける。
	10月	・「カラスとカケスの物語」原画展を開催する。
平成17年 (2005年)	3月22日	・年間総貸出冊数100万冊を超える。(県内初)
	4月1日	・図書館専門員設置規則を制定する。専門員7名採用 ・個人貸出しを5冊から10冊に変更する。
	7月1日	・図書館情報システムを更新する。
	8月24日	・つくばエクスプレスが開通する。
	10月	・全国図書館大会茨城大会に参加する。
	11月26日	・茨城県読書推進運動協議会長から活動功績が認められ表彰を受ける。
	12月	・芳川豊「おはなしトランプ」原画展を開催する。
平成18年 (2006年)	1月21日	・つくばエクスプレス開業記念、中央図書館開館15周年記念事業「土田義晴さんとともに」を開催する。
	4月15日	・地域文化ボランティア「おとなのためのブックトーク」を開始する。(以降毎月実施) ・一部の祝日を開館する。(年間6日)
	10月29日	・図書館ボランティアが茨城県教育長から図書館の振興発展に寄与した事が認められ感謝状を受ける。
平成19年 (2007年)	1月21日	・「藤田昌矢氏が語る絵本」講演会を開催する。
	4月1日	・一部の祝日を開館する。(年間5日)
	7月	・「つくば市立図書館における延滞資料の督促に関する事務処理要項」を改正する。
	11月30日	・図書館ボランティアが市長から振興発展の感謝状を受ける。
平成20年 (2008年)	4月1日	・谷田部、筑波、小野川、荃崎公民館図書室への司書駐在を廃止し、図書室業務全般が委託となる。 ・祝日(年間3日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。
平成21年 (2009年)	4月1日	・図書館職員17名、図書館専門員8名体制となる。 ・祝日(年間7日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。

	7月	・「つくば市立図書館の望ましい基準」（平成16年度策定）の基本的な考え方に関する答申について、内容の検証と評価を図書館協議会へ諮問する。
	10月	・科学フェスティバルに初出展する。
平成22年 (2010年)	3月	・年間総貸出冊数が140万冊を超える。(谷田部、筑波、小野川、荻崎公民館図書室分含む。)
	4月1日	・図書館職員16名、図書館専門員10名体制となる。 ・祝日(年間4日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。
	6月	・「つくば市立図書館の望ましい基準」（平成16年度策定）の基本的な考え方に関する諮問について、図書館協議会長から館長及び教育長へ答申される。
	10月	・開館20周年記念事業(おはなしフェスティバルなど)開催。
平成23年 (2011年)	3月11日	・東日本大震災の発生により施設や資料が破損し、地震発生時刻から臨時休館する。同月23日から時間短縮(木曜日を除き17時閉館)にて再開する。
	4月1日	・公民館が「交流センター」に名称変更となる。 ・祝日(年間4日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。
	7月1日	・閉館時間を試行する。(水・土・日17時、火・木・金19時)
	10月1日	・閉館時間が通常に戻る。(火～金19時、土・日17時) ・図書館情報システムを更新する。 ・中央図書館ホームページをリニューアルする。
	10月23日	・「おはなしフェスタ2011」を開催する。 ・科学フェスティバルに出展。(以降毎年出展)
平成24年 (2012年)	4月1日	・図書返却窓口の増設を試行する。(大穂・豊里・並木・広岡の各交流センター) ・祝日(年間6日)及び月末休館日(年間8日)を開館する。
	5月6日	・大規模竜巻が発生し、筑波交流センター図書室が休室する。(26日から再開)
	10月24日	・「おはなしフェスタ2012」を開催する。
平成25年 (2013年)	4月1日	・増設した図書返却窓口を継続設置する。(大穂・豊里・並木・広岡の各交流センター) ・祝日(年間6日)及び月末休館日(年間6日)を開館する。
	5月1日	・図書館職員15名、図書館専門員10名体制となる。
	7月	・新任司書教諭補助員研修(4日間)を実施する。以降毎年実施。

	8月1日	・公園通りの図書館通信「ヨモッカ」第1号を発行する。(以降年2回発行)
平成26年 (2014年)	1月	・「給食ブックトーク」を実施する。(市内4幼稚園)
	3月1日	・市庁舎にブックポストを設置する。
	4月1日	・祝日(年間5日)及び月末休館日(年間6日)を開館する。
	6月	・児童向け図書館だより「こどもヨモッカ」第1号を発行する。 (以降年2回発行)
	10月30日	・絵本作家ゴブリン博士小中大地さん作品展(～11/19)
平成27年 (2015年)	4月1日	・祝日(年間12日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。 ・4交流センター図書室の運営が中央図書館に移管される。 ・雑誌スポンサー制度を開始する。 ・あかちゃん向けおはなし会「おはなしぶんぶん」を開始する。 (以降、毎月実施)
	7月	・開館25周年記念事業(おはなしフェスティバルなど)を開催。
	10月18日	・絵本作家武田美穂氏講演会を開催する。
平成28年 (2016年)	4月	・祝日(年間9日)及び月末休館日(年間6日)を開館する。 ・図書館職員15名、再任用職員1名、図書館専門員10名体制となる。
平成29年 (2017年)	4月	・祝日(年間9日)及び月末休館日(年間6日)を開館する ・図書館職員13名、再任用職員2名、図書館専門員10名体制となる。
	9月	・図書館システムを更新(9/18～10/4休館)
	10月	・開館時間延長を試行(6日間)
	3月	・所蔵雑誌の保存期間を一部変更(外国語学習雑誌 永年→2年)
平成30年 (2018年)	1月	・荃崎交流センター図書室工事のため休室(1/10～2/3)
	4月	・祝日(年間13日)及び月末休館日(年間7日)を開館する。 ・図書館職員14名、再任用職員2名、図書館専門員10名体制となる。 ・中央図書館の開館時間を土曜日・日曜日も午後7時までに延長する(試行)。
	4月	・南2及び北2駐車場の無料サービスを2時間までに延長する。 ・WEB申込みに限り、4交流センター図書室への中央図書館在架図書取寄せを開始
	7月19日	・「つくば市図書館懇話会」を設置(年度内に計5回開催) ・「第1回 つくば市図書館懇話会」が開催される。

	9月3日	・「第2回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	10月20～ 21日	・「つくばFlower Market & Open Library」に自動車図書館で参加 〔中央公園〕
	11月11日	・「世界のゲームで遊ぼう」を開催する。
	11月24日	・公開シンポジウム「図書館の未来のかたち-つくば市の図書館のこれからを考える-」開催〔市役所本庁舎〕
	11月26日	・「第3回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	12月5日	・「第4回 つくば市図書館懇話会（市内視察）」が開催される。
平成31年 (2019年)	1月25日	・ぬいぐるみのおとまり会を開催する。
	1月29日	・「第5回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	3月21日	・「つくばVAN泊」に自動車図書館で参加する。
	4月	・図書館職員13名、再任用職員2名、図書館専門員10名体制となる ・祝日(年間16日)及び月末休館日(年間6日)を開館する。 ・つくば市役所コミュニティ棟1階オープンスペースへの図書の配置を行う。(365冊) ・自動車図書館の隔週土曜日運行を開始する。 ・自動車図書館の一部平日午前運行を開始する。
	4月26日	・「第6回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
令和元年	5月11～ 12日	・「ライブラリーピクニック」を開催する。〔つくば美術館屋外展示場〕
	7月30日	・「第7回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	8月	・市庁舎ブックポストをコミュニティ棟1階に移動する。
	8月29日	・「第8回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	9月	・中央図書館閉架書庫の電動集密書架を改修する。
	9月25日	・「つくば市域図書館連携に関する協定」締結式を挙げる。 ・「第1回つくば市域図書館連携協議会」を開催する。
	10月3日	・「第9回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	10月15日	・「第10回 つくば市図書館懇話会」が開催される。
	10月29日	・JICA 筑波の協力により「The World Week@中央図書館」を開催する。(11月3日まで)
	11月2日	・「ライブラリーピクニック」を開催する。〔筑波大学附属図書館〕
	11月3日	・「ブックカフェ」を開催する。〔BiVi つくば前〕
令和2年 (2020年)	2月28日	・新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のため、図書館で開催するイベントの中止を決定。
	3月	・つくば文化会館アルスのエレベーターを改修する。
	3月23日	・つくば市図書館懇話会から教育長へ提言書が提出される。

	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館職員13名、再任用職員2名、図書館専門員11名体制となる。</li> <li>・祝日(年間12日)及び月末休館日(年間5日)を開館とする。</li> </ul>
	4月4～5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大により政府・茨城県知事から土日・夜間の外出自粛要請が発表されたため、中央図書館及び4交流センター図書室を臨時休館とする。(7日は中央図書館のみ午後5時まで開館。)</li> </ul>
	4月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大により首都圏に緊急事態宣言が発令されたため、中央図書館及び4交流センター図書室を臨時休館とし、自動車図書館やブックポスト、Webサービスも含めたすべての図書館サービスを休止。5月12日以降、段階的に再開。</li> </ul>
	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館及びアルスホールの照明をLED化する。</li> </ul>
	10月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料や座席の除菌のため「UV-C紫外線照射自動巡回ロボット」を試験的に導入する。</li> </ul>
令和3年 (2021年)	1月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスにおいて、国立国会図書館デジタルコレクションの複写サービスを開始する。</li> </ul>
	1月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県独自の緊急事態宣言発令による市内の全交流センター休館に伴い、4交流センター図書室を2月7日まで臨時休室とする(予約本の受取及びブックポストへの返却は可能)。中央図書館は滞在型サービスを休止して開館。</li> </ul>
	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「つくば文化会館アルス長寿命化計画」を策定する。</li> <li>・中央図書館閉架書庫の電動集密書架を改修する。</li> </ul>
	4月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館職員12名、再任用職員3名、図書館専門員12名体制となる。</li> </ul>
	5月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県立図書館が提供する「インターネットによる遠隔地貸出サービス(ぶっくびん)」に参加する。</li> </ul>
	6月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「つくば市域図書館連携に関する協定書」に基づき、筑波大学附属図書館との直接の相互貸借を開始する。</li> </ul>



紫外線照射自動巡回ロボットによる除菌



館内照明のLED化

### 13 年間統計

		令和2年度(2020年度)	平成31 令和元年度(2019年度)	
開館状況	1	開館日数	266 日	289 日
	2	開館時間	2,423 時間	2,717 時間
登録等	3	常住人口 (R3.4.1現在)	244,268 人	238,014 人
	4	入館者数 (一日当たりの入館者数)	393,376 人 (1,479 人)	559,798 人 (1,937 人)
	5	登録者数	42,437 人	44,168 人
	6	うち市外居住者数	1,251 人	1,462 人
蔵書	7	図書資料冊数	291,324 冊	292,208 冊
	8	うち開架図書数	159,197 冊	160,326 冊
	9	うち自動車図書館	43,148 冊	41,704 冊
	10	視聴覚資料数 (CD・DVD・ビデオ等)	13,621 点	13,704 点
	11	雑誌数	10,611 冊(213 種)	10,558 冊 (213 種)
	12	新聞数	31 紙	31 紙
団体	13	団体登録	129 団体	121 団体
	14	団体利用	102 団体	248 団体
	15	団体貸出冊数	6,911 冊	10,601 冊
個人貸出	16	貸出者数 (うち児童数)	203,788 人(47,016 人)	243,138 人 (53,346 人)
	17	一日当たり貸出者数	766.1 人	841.3 人
	18	貸出総数	890,285 冊(点)	1,020,807 冊(点)
	19	利用者一人当たりの貸出数	4.37 冊(点)	4.20 冊(点)
	20	視聴覚機器利用者数	394 人	2,301 人
受入	21	年間資料購入総額 (2年度決算額)	36,105 千円	36,102 千円
	22	内訳 ①図書資料	29,638 千円	29,523 千円
	23	②視聴覚資料	3,362 千円	3,476 千円
	24	③雑誌	2,166 千円	2,152 千円
	25	④新聞	939 千円	951 千円
	26	受入資料総数 (雑誌を除く)	17,526 冊(点)	18,502 冊(点)
	27	内訳 ①購入図書	16,770 冊	17,489 冊
	28	②購入視聴覚	449 点	410 点
	29	③寄贈他	667 冊(点)	603 冊(点)
除籍	30	年間除籍資料数(雑誌を除いた除籍数)	20,393(17,691) 点	14,956 (12,202) 点

#### 注釈

1. 蔵書とは、図書資料、視聴覚資料 (CD・DVD等)、雑誌及び新聞などを指す。
2. 貸出者数及び貸出資料総数には、自動車図書館の利用者も含む。
3. 4各交流センター図書室のデータは含まない。

① 月別統計（中央のみ）

	開館日数	入館者数	貸出人数 (団体含む)	貸出冊数 (団体含む)	予約・リクエスト 件数	視聴覚 機器利用 人数
4月	4	5,553	2,646	11,753	1,906	11
5月	18	10,868	5,496	27,208	29	0
6月	25	25,307	15,398	70,803	12,016	0
7月	26	34,626	17,673	78,932	11,222	68
8月	26	43,952	20,129	89,061	11,676	108
9月	25	39,634	18,693	83,460	11,040	83
10月	27	41,982	19,123	82,917	12,099	75
11月	24	42,475	18,682	81,757	11,268	69
12月	23	36,063	18,150	81,095	10,983	81
1月	24	39,743	18,983	85,724	12,630	37
2月	19	32,346	17,022	76,481	11,166	18
3月	25	40,827	19,184	83,591	11,868	67
合計	266	393,376	191,179	852,782	117,903	617
日平均		1,479	719	3,206	443	2
月平均	22	32,781	15,932	71,065	9,825	51

② 有効登録人数

年 齢	登録人数	比率 (%)
0～6	1,725	4.1
7～12	8,681	20.5
児童小計	10,406	24.6
13～15	1,903	4.5
16～18	1,148	2.7
19～22	2,179	5.2
23～29	2,571	6.1
30～39	6,037	14.3
40～49	7,935	18.8
50～59	4,352	10.3
60～	5,758	13.6
一般小計	31,883	75.4
個人計	42,289	100
団体等計	148	
総計	42,437	

③ 貸出人数

年 齢	中 央	自動車	谷田部	筑 波	小野川	荃 崎	郵 送	合 計	比率 (%)
0～6	11,202	3,284	2,001	668	1,549	396	0	19,100	6.7
7～12	25,314	7,216	3,938	1,573	2,533	1,769	0	42,343	14.9
児童小計	36,516	10,500	5,939	2,241	4,082	2,165	0	61,443	21.7
13～15	5,141	24	480	297	445	195	0	6,582	2.3
16～18	2,641	3	206	132	111	61	0	3,154	1.1
19～22	5,758	22	214	279	116	92	0	6,481	2.3
23～29	5,651	40	544	100	340	69	0	6,744	2.4
30～39	25,337	579	5,351	1,235	2,403	1,478	0	36,383	12.8
40～49	47,731	624	6,927	2,276	4,649	2,486	0	64,693	22.8
50～59	26,332	252	3,172	1,764	4,507	1,627	1	37,655	13.3
60～	35,503	668	5,067	2,862	5,543	10,911	1	60,555	21.3
一般小計	154,094	2,212	21,961	8,945	18,114	16,919	2	222,247	78.3
相互貸借								0	0.0
個人計	190,610	12,712	27,900	11,186	22,196	19,084	2	283,690	100
団体計								0	
総 計	190,610	12,712	27,900	11,186	22,196	19,084	2	283,690	
比率 (%)	67.2	4.5	9.8	3.9	7.8	6.7	0.0	100	

④ 蔵書冊数と受入冊数

資料区分	中 央	自動車	谷田部	筑 波	小野川	荃 崎	合 計
一般図書	165,304	15,246	33,049	17,337	17,413	36,796	285,145
ヤング	6,722	0	0	0	0	0	6,722
児童図書	65,393	27,902	14,776	15,186	13,656	14,780	151,693
外国語一般	7,625	0	0	0	0	0	7,625
外国語児童	3,132	0	180	12	38	59	3,421
視聴覚資料	13,621	0	0	7	0	0	13,628
雑 誌	10,611	0	708	1,278	632	781	14,010
全資料合計	272,408	43,148	48,713	33,820	31,739	52,416	482,244
比率 (%)	56.5	8.9	10.1	7.0	6.6	10.9	100

資料区分	中 央	自動車	谷田部	筑 波	小野川	荃 崎	合 計
受入冊数合計	16,981	3,390	1,711	1,455	1,570	1,655	26,762

※一般図書＝一般図書＋文庫＋参考図書＋郷土資料＋市政資料＋教科書の合計

※児童図書＝児童図書＋絵本＋紙芝居の合計

⑤ 資料区分別貸出冊数（館別）

資料区分	中央	自動車	谷田部	筑波	小野川	荃崎	郵送	合計	比率(%)
一般図書	302,206	6,504	45,930	21,053	32,096	37,189	4	444,982	35.8
文庫	52,590	25	4,665	1,850	5,721	9,133	0	73,984	5.9
ヤング	48,989	0	125	43	71	50	0	49,278	4.0
外国語一般	2,647	0	13	2	9	6	0	2,677	0.2
参考図書	20	0	2	0	8	0	0	30	0.0
地域資料	1,292	20	211	156	100	118	0	1,897	0.2
市政資料	100	0	1	6	1	2	0	110	0.0
教科書	156	0	6	0	0	0	0	162	0.0
児童図書	195,696	26,277	31,538	13,081	24,343	15,664	0	306,599	24.7
絵本	158,507	11,309	37,257	10,996	26,622	10,255	0	254,946	20.5
紙芝居	5,928	277	1,376	345	507	165	0	8,598	0.7
外国語児童	7,861	0	54	9	64	7	0	7,995	0.6
視聴覚資料	52,113	0	1	0	0	0	0	52,114	4.2
雑誌	24,672	3	4,663	2,803	4,200	3,761	0	40,102	3.2
分類不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	852,777	44,415	125,842	50,344	93,742	76,350	4	1,243,474	100
比率(%)	68.6	3.6	10.1	4.0	7.5	6.1	0.0	100	
開館日数	266	179	246	248	247	248			
一日平均	3,206	248	512	203	380	308			
うち団体貸出	6,911	0	0	0	0	0	0	6,911	

⑥ 貸出冊数（全館）

分類	冊数	比率(%)
0 総記	11,600	0.9
1 哲学	27,380	2.2
2 歴史	58,493	4.7
3 社会	54,199	4.4
4 自然	89,772	7.2
5 技術	84,951	6.8
6 産業	21,681	1.7
7 芸術	65,831	5.3
8 言語	11,042	0.9
9 文学	85,053	6.8
N 小説	296,921	23.9
W 大活字本	2,479	0.2
T 市政資料	110	0.0
PC コンピュータ	3,280	0.3
TB 教科書	162	0.0
E 絵本	259,303	20.9
C 紙芝居	8,598	0.7
M コミック	69,649	5.6
S 進路情報	327	0.0
TE 点字	431	0.0
Z 雑誌	40,095	3.2
A 録音資料	20,789	1.7
V 映像資料	31,325	2.5
X その他	3	0.0
合計	1,243,474	100

⑦ 蔵書冊数（全館）

分類	冊数	比率(%)
0 総記	9,929	2.1
1 哲学	11,843	2.5
2 歴史	36,787	7.6
3 社会	35,090	7.3
4 自然	32,456	6.7
5 技術	28,384	5.9
6 産業	12,052	2.5
7 芸術	34,256	7.1
8 言語	7,463	1.5
9 文学	71,618	14.9
N 小説	94,861	19.7
W 大活字本	2,735	0.6
T 市政資料	2,935	0.6
PC コンピュータ	736	0.2
TB 教科書	419	0.1
E 絵本	60,554	12.6
C 紙芝居	3,634	0.8
M コミック	8,170	1.7
S 進路情報	353	0.1
TE 点字	237	0.0
Z 雑誌	14,004	2.9
A 録音資料	8,025	1.7
V 映像資料	5,603	1.2
X その他	100	0.0
合計	482,244	100

⑧ 予約リクエスト受付件数

中央	自動車	谷田部	筑波	小野川	荃崎	郵送	合計
117,903	277	4,310	1,630	2,575	4,341	0	131,036

リクエスト内訳（中央分）

窓口	ネット	自動車	合計
2,069	3,817	43	5,929

窓口のうち、図書室から中央へ購入依頼分

谷田部	筑波	小野川	荃崎
201	52	110	175

⑨ 相互貸借

年 度	借受冊数	貸出冊数	合 計
平成28年度	1,410	950	2,360
平成29年度	1,339	709	2,048
平成30年度	1,198	656	1,854
令和元年度	1,464	662	2,126
令和2年度	1,349	532	1,881

⑩ その他利用

年 度	視聴覚機器 利用人数	複 写 受付件数	朗読テープ(H30～ CD) 郵送本数	調査相談 件 数	新聞情報室 利用件数	WebOPAC 検索件数
平成28年度	2,736	1,617	130	1,794	77	1,308,032
平成29年度	2,371	1,278	241	1,630	62	1,139,836
平成30年度	2,678	1,220	247	1,808	23	1,235,690
令和元年度	2,301	1,045	222	1,608	28	1,351,947
令和2年度	617	710	256	1,389	25	1,560,611

⑩ (続き)

年 度	駐車券 発行数	図書館 入館者数	アルスホール 利用件数
平成28年度	54,127	548,777	294
平成29年度	57,259	514,588	313
平成30年度	57,215	571,642	254
令和元年度	74,789	559,798	276
令和2年度	56,479	393,376	183

⑪ 経費 (中央館のみ)

年 度	A. 市の一般会計 予算 (千円)	B. 図書館の 総予算 (千円)	$B/A$ $\times 100$	C. 資料費 (千円)	$C/B$ $\times 100$	図書費
平成28年度	81,614,000	340,363	0.42	36,694	10.78	33,000
平成29年度	87,672,000	346,903	0.40	35,969	10.37	33,000
平成30年度	85,617,000	332,795	0.39	35,973	10.81	33,000
令和元年度	88,040,000	387,186	0.44	36,609	9.46	33,000
令和2年度	88,525,000	420,383	0.47	37,026	8.81	33,000

⑫ 館外ブックポスト返却冊数

	大穂	豊里	並木	広岡	市庁舎	合計
平成28年度	2,570	1,776	7,217	128	8,892	20,583
平成29年度	2,909	1,802	7,695	203	11,609	24,218
平成30年度	4,317	2,220	7,586	50	16,524	30,697
令和元年度	4,436	1,761	6,932	78	20,835	34,042
令和2年度	3,581	1,430	4,999	72	14,135	24,217

## 14 ボランティア活動状況

### 登録状況

令和2年度(2020年度)

項目	おはなし	児童サービス	修理	音訳	点訳	国際化サービス	配架	地域文化	地域資料	図書館サポーター
登録人数	51	16	31	22	16	7	43	9	12	34

### 活動状況

項目	おはなし		児童サービス		修理		音訳		点訳		国際化サービス		配架		地域文化		地域資料		図書館サポーター	
	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数
4月	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	1	3	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	9	39	3	13	1	9	0	0	11	20	2	4	5	16	0	0
8月	0	0	0	0	7	47	2	8	0	0	0	0	13	27	2	4	5	12	0	0
9月	0	0	1	2	9	60	3	13	1	7	0	0	16	33	2	4	4	15	0	0
10月	0	0	3	3	8	52	4	17	1	8	0	0	25	68	2	4	4	15	0	0
11月	1	3	6	10	6	43	3	11	1	10	0	0	17	47	2	5	4	13	0	0
12月	0	0	5	12	8	41	3	13	1	11	0	0	16	39	1	3	4	11	0	0
1月	0	0	4	5	7	23	3	11	0	0	0	0	15	30	0	0	4	11	0	0
2月	0	0	1	1	5	20	3	13	1	8	0	0	14	32	0	0	3	8	0	0
3月	4	8	3	6	10	57	4	17	1	10	0	0	21	57	2	4	5	20	0	0
計	5	11	23	39	71	386	28	116	7	63	0	0	150	357	13	28	39	124	0	0

### ボランティア活動実績

#### ◆おはなしボランティア

- ・ おはなし会 毎週土曜日 年間延べ聴衆数68人  
第1土曜 「荃崎おはなし会」 (令和2年度は活動なし)  
第2土曜 「おはなしの泉」  
第3土曜 「おはなしまつぷっくり」  
第4土曜 「おはなしの森」  
第5土曜(ない月は第4日曜) 「筑波大学ストーリーテリング研究会」

#### ◆児童サービスボランティア

- ・ 児童コーナーの配架及び書架整理
- ・ クリスマスプレゼント作成 (11・12月)

#### ◆修理ボランティア

- ・ 修理冊数 1,493冊

#### ◆音訳ボランティア

- ・ 声の常陽リビング及びミニ情報作成 希望者へ配布

#### ◆点訳ボランティア

- ・ 点訳絵本作成及び音訳ボランティア活動サポート

#### ◆地域文化ボランティア

- ・ 古典ブックトーク 毎月第1土曜日
- ・ おとなのためのブックトーク 毎月第3土曜日

#### ◆地域資料ボランティア

- ・ つくば市関連の新聞記事を集めた「つくばトピックニュース」の作成

## 15 所蔵雑誌一覧

★…新規購読誌 谷…谷田部 筑…筑波 小…小野川 茎…茎崎

一 般 ( 誌名 50 音順 )				交流センター 所蔵状況
	誌 名	刊行頻度	保存年限 ( 中央館 )	
<b>あ</b>				
1	I/O (アイオー)	月刊	2年	
2	AERA	週刊	1年	
3	アクアライフ	月刊	2年	
4	AXIS	隔月	2年	
5	明日の友	隔月	2年	
6	アニメージュ	月刊	2年	
7	安心	月刊	2年	
8	&プレミアム	月刊	2年	
9	一個人	季刊	2年	谷
10	一枚の繪	月刊	2年	
11	イラストレーション	季刊	2年	
12	English Journal	月刊	2年	
13	Wedge	月刊	2年	
14	うかたま	季刊	2年	
15	歌の手帖	月刊	2年	
16	美しいキモノ	季刊	2年	
17	栄養と料理	月刊	2年	
18	エコノミスト	週刊	2年	
19	SFマガジン	隔月	2年	
20	ESSE	月刊	2年	谷・筑・小・茎
21	★NHKガッテン!	季刊	2年	
22	NHKきょうの健康	月刊	2年	谷・筑・小・茎
23	NHKきょうの料理	月刊	2年	谷・筑・小・茎
24	NHK趣味の園芸	月刊	2年	谷・筑・小・茎
25	NHKすてきにハンドメイド	月刊	2年	谷・筑・小・茎
26	NHKみんなのうた	隔月	2年	
27	FQ JAPAN	季刊	2年	
28	MJ無線と実験	月刊	2年	
29	LDK ※中央館所蔵なし	月刊	2年	谷・筑・小(2年)
30	ELLE DÉCOR	年5	2年	
31	園芸ガイド	隔月	2年	
32	ENGINE	月刊	2年	
33	おかずのクッキング	隔月	2年	
34	★OCEANS	月刊	2年	
35	OZ magazine	月刊	2年	
36	Oggi	月刊	2年	
37	男の隠れ家	月刊	2年	
38	おとなの週末	月刊	2年	
39	おりがみ	月刊	2年	
40	オール讀物	月刊	2年	
41	オレンジページ	月2	2年	谷・筑・小
<b>か</b>				
42	カー&ドライバー	月刊	2年	
43	科学	月刊	2年	
44	岳人	月刊	2年	
45	かぞくのじかん	季刊	2年	谷・小
46	学校図書館	月刊	2年	
47	家庭画報 ※最新号カウンター内	月刊	2年	茎

48	からだにいいこと	隔月	2年	
49	ガルヴィ	月刊	2年	
50	キネマ旬報	月2	2年	
51	★CAPA(キャパ)	月刊	2年	
52	クーヨン	月刊	2年	
53	暮しの手帖	隔月	2年	谷・筑・小・茎
54	Clara	月刊	2年	
55	CREA Traveller	季刊	2年	
56	クロワッサン	月2	2年	筑・小・茎
57	群像	月刊	2年	
58	芸術新潮	月刊	永年	
59	月刊自家用車	月刊	2年	
60	現代詩手帖	月刊	2年	
61	現代農業	月刊	2年	
62	航空ファン	月刊	2年	
63	コットンタイム	隔月	2年	
64	こどもとしゃかん	季刊	2年	
65	子供の科学	月刊	2年	谷・小・茎
66	ゴルフダイジェスト	月刊	2年	
67	暮ワールド	月刊	2年	
<b>さ</b>				
68	Cycle Sports	月刊	2年	
69	サッカーマガジン	月刊	2年	
70	THE 21	月刊	2年	
71	サライ	月刊	2年	筑・茎
72	サンデー毎日	週刊	2年	
73	散歩の達人	月刊	2年	谷・茎
74	JTB時刻表	月刊	1年	
75	CNN English Express	月刊	2年	
76	CD journal	年10	2年	
77	Jazz Life	月刊	2年	
78	週刊ダイヤモンド	週刊	2年	
79	週刊東洋経済	週刊	2年	
80	週刊文春	週刊	2年	
81	週刊ベースボール	週刊	2年	
82	ジュニアエラ	月刊	2年	
83	将棋世界	月刊	2年	
84	小説新潮	月刊	2年	
85	常陽藝文(寄贈)	* 2 月刊	永年	
86	新建築 住宅特集	月刊	2年	
87	新潮	月刊	2年	
88	SWITCH	月刊	2年	
89	スイミング マガジン	月刊	2年	
90	数学セミナー	月刊	2年	
91	スクリーン	月刊	2年	
92	Stereo	月刊	2年	
93	STORY	月刊	2年	
94	すばる	月刊	2年	
95	住まいの設計	隔月	2年	
96	墨	隔月	2年	
97	相撲	月刊	2年	
98	正論	月刊	2年	
99	世界	月刊	2年	

100	装苑	月刊	2年	
101	ソトコト	隔月	2年	
<b>た</b>				
102	ダ・ヴィンチ	月刊	2年	筑
103	T a r z a n	月2	2年	
104	卓球王国	月刊	2年	
105	旅の手帖	月刊	2年	茎
106	たまごクラブ	月刊	2年	
107	短歌	月刊	2年	
108	d a n c y u	月刊	2年	小
109	中央公論	月刊	2年	
110	つり人	月刊	2年	
111	D i s n e y f a n	月刊	2年	
112	鉄道ファン	月刊	2年	
113	テニスマガジン	月刊	2年	
114	電子工作マガジン	季刊	2年	
115	天然生活	月刊	2年	谷・筑・小・茎
116	天文ガイド	月刊	2年	
117	ドゥーパ!	隔月	2年	
118	特選街	月刊	2年	
119	図書館雑誌(寄贈)	月刊	永年	
120	飛ぶ教室	季刊	2年	
<b>な</b>				
121	なごみ	月刊	2年	
122	N u m b e r	隔週	2年	
123	N i c o l a	月刊	2年	
124	日経w o m a n	月刊	2年	
125	日経サイエンス	月刊	2年	
126	日経トレンディ	月刊	2年	谷
127	日経パソコン	月2	2年	
128	日経ビジネス	週刊	2年	
129	日経PC21	月刊	2年	筑
130	日経マネー	月刊	2年	
131	N e w s w e e k (日本版)	週刊	2年	
132	N e w s がわかる	月刊	2年	
133	N e w t o n	月刊	2年	
134	ねこ	季刊	2年	
135	農業いばらき(寄贈)	* 2 月刊	2年	
136	ノジュール	月刊	2年	
137	N o n - n o	月刊	2年	
<b>は</b>				
138	俳句	月刊	2年	
139	ハウジング	隔月	2年	
140	B i r d e r	月刊	2年	
141	バスケットボール	月刊	2年	
142	母の友	月刊	2年	
143	バレーボール	月刊	2年	
144	ピアノ	月刊	2年	
145	P H P	月刊	2年	茎
146	P H P のびのび子育て	月刊	2年	谷・筑
147	美術手帖	月刊	永年	
148	美的	月刊	2年	
149	B e - p a l	月刊	2年	

150	ひよこクラブ	月刊	2年	
151	Forbes JAPAN	月刊	2年	
152	婦人画報	月刊	2年	
153	婦人公論	月2	2年	筑・小・茎
154	婦人之友	月刊	2年	小
155	武道(寄贈) * 1	月刊	2年	
156	BRUTUS	月2	2年	
157	プレジデント	月2	2年	
158	プレジデントFamily	季刊	2年	
159	フローリスト	月刊	2年	
160	文學界	月刊	2年	
161	文藝	季刊	2年	
162	文藝春秋 ※最新号カウンター内	月刊	2年	谷・筑・小・茎
163	Voice	月刊	2年	
164	法学教室	月刊	2年	
165	本の雑誌	月刊	2年	
<b>ま</b>				
166	Mac Fan	月刊	2年	
167	Mart	月刊	2年	
168	MAMOR (寄贈) * 1	月刊	2年	
169	Mr. PC	月刊	2年	
170	ミステリマガジン	隔月	2年	
171	ミセスのスタイルブック	季刊	2年	
172	milsil (寄贈)	隔月	2年	
173	MEN'S CLUB	月刊	2年	
174	MEN'S NON - NO	月刊	2年	
175	MORE	月刊	2年	
176	MOE	月刊	2年	
177	モーターサイクリスト	月刊	2年	
178	モダンリビング	隔月	2年	
179	モノマガジン	月2	2年	
<b>や</b>				
180	やさい畑	隔月	2年	筑
181	山と溪谷	月刊	2年	
182	ゆうゆう	月刊	2年	茎
<b>ら わ</b>				
183	RC (ラジコン) マガジン	月刊	2年	
184	ランナーズ	月刊	2年	
185	LEE	月刊	2年	谷
186	留学ジャーナル	季刊	2年	
187	レコード芸術	月刊	2年	
188	歴史街道	月刊	2年	
189	歴史群像	隔月	2年	
190	レタスクラブ ※中央館所蔵なし	月2		茎(2年)
191	ROKIN' ON JAPAN	月刊	2年	
192	Wan (わん)	隔月	2年	

\* 1 寄贈雑誌架(前年雑誌棚内) \* 2 地域資料コーナー

外国語 (誌名アルファベット順)				交流センター 所蔵状況
	誌名	刊行頻度	保存年限	
193	Better Homes and Gardens	月刊	2年	
194	ESQUIRE	月刊	2年	
195	Hir@gana times	月刊	2年	
196	marie claire	月刊	2年	
197	National Geographic	月刊	永年	
198	National Geographic KIDS	年10	2年	
199	Popular science	季刊	2年	
200	Reader's Digest (英語版)	月刊	2年	
201	TIME	週刊	2年	
202	亞洲週刊(中国語)	週刊	1年	
203	天下雜誌(中国語)	月2	2年	
204	★ Sélection Reader's Digest (フランス語)	年10	2年	
205	Домашний очаг (ロシア語)	月刊	2年	

児童 (誌名50音順)				交流センター 所蔵状況
	誌名	刊行頻度	保存年限	
206	かがくのとも	月刊	永年	筑
207	こどものとも	月刊	永年	谷・筑・莖
208	こどものとも 0・1・2	月刊	永年	谷・筑・小・莖
209	こどものとも 年少版	月刊	永年	
210	こどものとも 年中向き	月刊	永年	筑
211	この本読んで	季刊	永年	谷・筑・小・莖
212	宇宙(そら)のとびら	季刊	永年	
213	たくさんのふしぎ	月刊	永年	
214	ちいさなかがくのとも	月刊	永年	
215	テルミ:点字資料	隔月	永年	

子どもコーナーに配架

## 16 所蔵新聞一覧

	紙名	保存期間
<b>一般紙</b>		
1	朝日新聞	2年
2	産経新聞	1年
3	日本経済新聞	2年
4	毎日新聞	2年
5	読売新聞	2年
6	朝日新聞(夕刊)	2年
7	日本経済新聞(夕刊)	2年
8	毎日新聞(夕刊)	2年
9	読売新聞(夕刊)	2年
<b>スポーツ紙</b>		
10	スポーツ報知	1年
11	日刊スポーツ	1年
<b>専門紙</b>		
12	日刊工業新聞	1年
13	日経産業新聞	1年
14	日経MJ(日経流通新聞)	1年
<b>地方紙</b>		
15	茨城新聞	2年
16	東京新聞	2年
17	福島民報	1年
18	福島民友	1年

	紙名	保存期間
<b>政党機関紙</b>		
19	しんぶん赤旗	1年
20	公明新聞	1年
21	社会新報	1年
22	自由民主	1年
23	週刊新社会	1年
<b>学生・児童向け</b>		
24	朝日小学生新聞	1年
25	毎日小学生新聞	1年
26	The Japan Times Alpha	1年
27	常陽小学生新聞	2年
<b>外国語新聞</b>		
28	The Japan News	1年
29	The Japan Times / The New York Times	1年
30	人民日報(中国)	1年
31	東亜日報(韓国)	1年

### 4 交流センター図書室所蔵新聞

	紙名	保存期間
1	日本経済新聞	6ヶ月

## 17 雑誌スポンサー制度

つくば市立図書館では、雑誌資料提供の場を広告媒体として活用することにより、民間事業者等の情報発信の場を提供するとともに、図書館の財源を確保し、所蔵資料、施設、サービスのより一層の充実を図り、地域と連携し図書館からつくばの教育を応援することを目的として、雑誌スポンサー制度を実施しています。

令和3年(2021年)度は11件のスポンサー様が19誌の雑誌に広告を掲出しています。(4月1日現在)

スポンサーになっていただくと、

- ① 選択いただいた雑誌の最新号カバー及び棚蓋にスポンサー名及び広告を掲出します。
- ② 図書館ホームページや館内掲示等でスポンサー名を紹介します。
- ③ スポンサーがつくばの教育を応援してくださっていることをPRできるように、企業や店舗などに掲示物を提供します。

スポンサー料は雑誌1誌につき15,000円(年度途中からは月額1,250円として算出します)。支払い方法は、納入通知書での振込みとなり、支払いに必要な一切の経費はスポンサー負担になります。スポンサー認定期間は年度を単位として、決定の翌月から当該年度末までです(更新が可能です)。

詳しい雑誌リストや申込要件方法等については、図書館ホームページを御覧いただくか、中央図書館までお問合せください。

※掲出例

雑誌カバー



雑誌の棚蓋



---

## 令和3年度 つくば市の図書館概要

発行 令和3年(2021年)7月  
発行者 つくば市立中央図書館  
つくば市吾妻二丁目8番地  
TEL 029(856)4311  
FAX 029(856)6277

---

会 議 録

会議の名称		つくば市図書館協議会（第2回）		
開催日時		令和4年3月15日（火） 開会 10:00 閉会 12:00		
開催場所		つくば市立中央図書館2階集会室		
事務局（担当課）		教育局中央図書館		
出席者	委員	坏文雄、鷺田美加、齋藤てる、大澤彩子、石川正昭、柳下浩一朗、清水智子、平岡雅美、齋藤信一		
	その他			
	事務局	柴原館長、松浦副館長、玉木係長、川田係長、大塚主事		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
議題		令和3年度重点事業の経過報告について 電子図書館の導入について 新移動図書館車両について その他		
会議録署名人			確定年月日	令和 年 月 日
会 議 次 第	1	開会		
	2	議事		
	3	閉会		

<開会>

成立要件を確認し、つくば市図書館協議会が成立することを告げ、開会の宣言を行った。

<議事>

事務局：それでは議事に移ります。会議の議長は、つくば市図書館協議会運営規則第二条第3項の規定により、会長が務めることとなっております。これより先の進行は会長お願いいたします。よろしくお願いいたします。

会長：はい、おはようございます。今年度最後の会議となりました。よろしくお願ひします。皆さんも挙手をしていただいたら指名しますので、それから発言をしてください。

それから、今日新しい自動車図書館の車が来たというので、ぜひ見てくださいということです。11時40分頃には終わって、車を見学しましょう。そこで駐車場で解散ということにしたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。では、議事に入ります。

(1) 令和3年度事業の経過報告について

会長：まず、議事の1番、令和3年度事業の経過報告について、事務局の方よりお願ひいたします。

事務局：配付資料に基づき説明。

会長：はい、では今の説明に対して委員さんの方からご質問と意見等を述べてください。

委員：コロナ禍の大変な時期にいろいろご努力いただいて、皆さん素晴らしいと思ひます。1点、資料1のボランティア活動について、8項目にわたって幅広く色々やられていらっしゃるみたいですがけれども、今高齢化とか、私もやっているボランティア活動も高齢者が増えてですね、ボランティアの数そのものがもう少なくなってきた、運営がかなり齟齬をきたしている感じがしているのですが、そこはいかがでしょうか。充足していたり、色々問題がないのかどうか、その辺を教えていただけますか。

会長：はい、お願いします。

事務局：はい、ありがとうございます。当館のボランティアは10の分野で、約160名の方がご登録いただいている状況です。お手元の図書館概要の23ページの方に令和2年度の統計がございまして、その高齢化というかですね、そういったところで抱えているのは読み聞かせのですね、毎週土曜日のおはなし会をやっているんですけども、5つの団体の方、そのうち1つは筑波大学のストーリーテリング研究会なのですが、他の4団体についてはそれぞれ状況違うとは思いますが、全体的にやはり読み聞かせをやっていただける方が、高齢化しているというかちょっと年齢が上がっているというようなお話も伺っておりますので、特にうちの係長も、自身がおはなし会のボランティア団体に入っていたりもするので、少し補足をしていただければ。

事務局：おはなし会の中には高齢化が進んでいるところもあり、若い人にどんどん入っていただけないかということで、ちょっと募集というか、されてるようです。私が入っているおはなし会も、80歳以上のメンバーが5人ぐらいたんですけど、施設に入っちゃったりとかでどんどん減っているんですが、また40代ぐらいの方が新しく何人か入ったので、今のところだいぶ、何とかメンバーは確保できているんですが、他のおはなし会さんはやっぱり苦勞されてるっていうことを聞いてます。もしご興味ある方いらっしゃったら、おはなし会を見学していただいて、ここのグループに入りたいなと思ったらぜひお願いしたいなと思っています。よろしくお願いします。

会長：はい、よろしいですか。確かに今図書館だけじゃなくてすべてのサークル活動が高齢化でね、どんどんどんどん減っています。ご多分に漏れずこの図書館ボランティアも、ということなんでしょうね。はい、他にございますか。はい、お願いします。

委員：コロナ禍の中で、色々な取り組みをしていただいてありがたいなと思っております。いろいろなイベントの中で、定例化されたものがあるのですけれども、また今年、新規の、本の福袋の活動をされているのも、すごく積極的でいい

など思っています。何かちょっとエピソードがあったら伺いたいたいですけどありますか。

事務局：本の福袋について。

委員：はい。

事務局：そうですね、アンケートをいただいたんですけども、けっこう皆さん、かなりの確率でアンケートにお答えいただきまして、とにかく冊数はもうちょっと多い方がいいとか、いつも読めないような本、自分では選ばないような本が入っていたのが良かったとか、あと、ちょっとその対象には難しかったかなっていうようなご意見もあったんですけども、概ね好評で、職員たちもすごく喜んで、今度はぜひ一般の方向けもやりたいなことを言っております。

委員：ありがとうございます。

事務局：この企画はですね、もう2年ぐらい前からですね、担当の方が「館長こういうことやりたいんです」と温めていただいていた、当初は福袋なんでお正月の時期かなっていうこともあったんですけども、今回は子どもさん、小学生までということでやりました。ちょうどこの前、先週くらいかな、NHKで岡山県立図書館のことをやってまして、お正月の1月4日の新年最初の開館日に一気に60何組ですか、限定でやっていたけれど、何だうちの方が先にやっているんじゃないかと思ったんですけども。本当に各司書がですね、いろいろアイデアを考えて少し温めて、実現に持っていくというようなこと、いろいろ取り組んでいただいている状況でございます。

委員：ありがとうございました。

会長：はい、わかりました。他にありますか。

委員：はい。

会長：はい、お願いします。

委員：資料2で、貸出人数、貸出冊数、比較のグラフをありがとうございます。

1点質問ですが、9月ががくっと下がるんですね、どの図書館も。人数についても貸出冊数についても。これは例年の傾向からすると、コロナの影響を受けてい

るのかなという感じなのですが、どのように感じておられますか。

事務局：はい。

会長：はい、お願いします。

事務局：今年度の9月につきましては、8月の18日から9月23日まで臨時に休館になりましたので、そのところが統計に反映されてるかなと思います。

会長：はい、いいですか。

委員：はい。

会長：では、次の項目に行ってよろしいですか。

## (2) 電子図書館の導入について

会長：はい、事務局の方で電子図書館の導入について、何か見慣れない言葉が出てきましたが、ご説明いただきましょう。よろしくお願いします。

事務局：配付資料に基づき説明。

会長：はい、ちょっと見えないんだけど、ある法令に基づいてやるのか、あるいはつくば独自でやるのか、がまず一つ。それから、何かもっと分かりやすく言ってもらえないかと思う。難しいんだね、聞いているのがね。インターネットで本がこう出てくるのかな、どうなのかな。だからもう少しお願いします。

事務局：はい。実はこの話をした時にですね、ある方からは「電子図書館ってどこに建てるんですか」って言われたようなこともありまして、確かにその電子図書館ってもう一般的っていうか使っちゃってるので、それが果たして、本当に皆さん理解する、ぱっとできるのかっていうと、確かにおっしゃるとおりかと思えます。いわゆるインターネット上で、ウェブ上で見られる電子書籍を利用できる、そういうサービスを始めますということになります。従いまして、そのウェブ環境をまず揃えなくてははいけない。あと、タブレットであるとかパソコンを揃えなくちゃいけないという条件が前提条件でございますが、そういったものがあれば、図書館にその電子書籍を利用する、パスワード登録とかが必要になってくるんですけども、そういった形であれば、休館日とか、あるいはお客様が電車に乗りながらでもそれが利用できるという形になります。

図書館側として言うと、電子書籍を購入するわけではないんですね。著作権があって、電子書籍サービスを行っているベンダーってというか民間の会社がありまして、そこところこういうタイトルを使いたいというような契約をします。その契約の仕方もですね、大きく2種類ありまして、制限があるものと制限がないものがありまして、制限付きのものは、その使える期間を1年契約とするとか、あるいは50回貸出があったらもう終わりですよという制限があるものと、あと全くフリーで制限がないもの、というのがありまして、例えば今、費用をかけなくても、青空文庫という著作権フリーになった、切れたものなんかは、もうウェブ上にすごいいっぱいあるんですね。イメージとしてはWebOPACってインターネットから図書館の蔵書検索ができるんですけども、そのときに紙の書籍なのか、電子の書籍なのかって種類が、区別が出てきて、紙の書籍であれば借りられれば借りていただく、他の方が借りていけば予約をしていただく、電子書籍については、誰も利用していない状況であればすぐその場で貸出を受けるということが可能、というようなものになります。

会長：分かりました。電子図書ってありますもんね。今スマホなんかでも読めるけど、それを中央図書館を介してやるということで、それは中央図書館に来てやるのかそれとも自宅でもできるのか、その自宅でもできるってことですか。

事務局：もちろん自宅でも、はい。先ほど申し上げたように電車の中でも、それができると。

会長：パスワードがあればね。

事務局：はい。

会長：ああ、そういうこと。それは視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律を受けてるの。それとは別なの。

事務局：国の方としてはそういった方にも配慮したサービスをなるべく整備するようにということで、この電子書籍のいいところは、先ほどいくつかメリットも申し上げましたが、画面を拡大すれば、スマホの画面を拡大すれば文字が大きく見えるんですね。あとは読み上げ機能がありますので、その機能を使えば本当に

全盲の方でも、耳で聞くことができる。

会長：音声も出てくるの。

事務局：ええ、そういう機能もつけることができるというものになっております。

会長：分かりました。少し見えてきました。委員の方からどうぞ。

委員：はい。

会長：はい、お願いします。

委員：はい、委員長がおっしゃるようにちょっとよく分からないのですが、まず電子書籍そのものが、もう今世の中に出ていて、それを全部カバーするのがこの1,000万近くのお金でカバーできるのか、出ている割合の1割ぐらいしかカバーできないのか、その辺はどうなんですか。

事務局：はい、今はまだどこのベンダーさんと契約するかってのは決まっていはいない、契約はしていないんですけども、一番国内でシェアが一番大きいところで、確か9万点ぐらいもう電子書籍化されていると。ただ、年間の出版点数からいうと、10数万点たぶん出版しているので、まだまだ追いついていない。もちろん著作権を持つての方が、いや電子化はしませんということであれば権利がありますから、そちらに従うしかないんですけども。ですから、出版点数からすると、まだ割合的にはかなり低いかなと思います。その中で2,000タイトルということですので、全体の出版点数からすると数パーセントいくのか分からないぐらいのですね、低さにはなってしまいます。

委員：今後徐々に増えていく、世の中にも従って増えていくっていうことでしょうかね。

事務局：そうですね。

委員：はい、分かりました。

会長：よろしいですか。はい、お願いします。

委員：はい。見させていただいて、一つ一つ進んでいるなと思ったんですけど、これはもう予算化されているっていうことで、2,000タイトルっていうことも出

てくると、もうほぼ本の種類から、どういうものかっていうのはもう具現化されてると考えていいのか。例えばこの電子の制限タイプは、3,080,000円、無期限は4,400,000円。積み重ねてこの値段っていうのは出ているのか。それが2,000タイトルっていうことは、もう実際にイメージされて、この本だっていう感じで。

会長：はい、では事務局お願いします。

事務局：はい。資料の3のところですね、事業の概要の中の予算のところのお話だと思うんですけども、電子書籍の有期限タイプが308万円で計上しておりますのは、1,000タイトルで、有期限と制限なしと、やはり単価が違うんですね。もちろん制限なしの方が高いので、それぞれ1,000タイトルずつで想定はしておりますが、予算の金額でいうとこれだけ差がついてしまうということで。あと、どういったものを入れるかというのは、これから資料の研究をして参ります。例えば今決めてこれ入れましょうって決めたとしても、もう毎日のように新しい本が出版されているわけですので、やはりご利用いただけないことには、利用がなければ、いわゆる業者さんに返しちゃうかたちなので、紙の本は買えばつくば市の資産になりますけども、電子書籍はもうアクセスする権利がなくなっちゃうと、全く何も手出しのしようがないので、ですから、かなり慎重にそこは選ばないといけないかなと思っております。

委員：そこがすごく大事だと思ったんですね。

事務局：そうですね。紙の書籍については、これまでも資料選定委員会というのを毎週開催しておりますので、1冊ずつ何を買うかってのは全部その委員会で審議した上で決めております。同様にそういった資料選定委員会の方で、司書が集まってやる会議があるんですけども、そこでいろいろ研究しながら、近隣の県内でも17ぐらいでもうすでに導入してますので、そういったところの状況などもですね、いろいろ研究しながら決めていきたいなと思っております。

委員：よろしくお願いします。

会長：なるほど、紙の図書だと限られた冊数だから、今貸出があるけど、電子図

書の場合は、例えば一斉に1万人が読んだって構わないわけでしょ。可能なんですよね。

事務局：それは契約の仕方なんです。もうそれ2,000タイトルですから、いわゆる副本というのは、なかなか揃えにくいかなと思うんです。

会長：いずれにしても、今貸出中でごめんなさいということは、あんまりなくなるわね。

事務局：いえ、紙の書籍と同じです。誰かが読んでいる場合は、他の方はそこをアクセスすることができない。

会長：ああ、そうかそうか、ごめんなさい。はい、じゃあどうぞ。

委員：はい、ありがとうございます。ご説明ありがとうございます。電子書籍のシステムの導入については、市民の方からもいろいろお話をされていて圧倒的にニーズが高いと感じていたのと、私もだいぶ以前からご提案としてお話をさせていただいていたので、とても喜ばしいことだなと思っております。導入されたところからいろいろ課題もあると思うんですが、ますます皆さんが電子書籍に触れて色んなことを学んでいただく機会になるのかなと思います。

一方で、図書館に来なくても本が借りられる、本が読めるようになる、ということなので、足を運んでいただく図書館機能との住み分けというか、何のためにこのつくば市立中央図書館、あるいは、それぞれ図書館に来ていただくかということをもう一度考えて情報発信していく機会かなと感じています。一番その図書館に直接足を運ぶ理由として、3点あるかなと思っているのですが、一つは、やはり圧倒的にレファレンスサービス。直接人に本について地域情報について、お伺いできる機会があるというのは、図書館に足を運ぶからできることだと思うんです。私は今、某三井さんの商業施設で、月に1回イベントをさせていただいてるんですけど、そのイベントの時に読み聞かせをするんです。今日もちょうどこの委員会の前に本を借りに行ったんですけど、司書さんがいらして下さって、私が考えていた、その想定していた大型絵本でないものを提案して下さって、子どもの成長というところで、新学期だったらこれを読んだら親御さんもい

いんじゃない、ということをご提案してくださって、やっぱり自分の視点にないものをいただける、自分が知らない情報をいただけるというレファレンスサービスというのは、この図書館だから、この方がいらっしゃるからという、すごい強みだと思うので、そこをますます皆さんに、強化しながら情報発信していただきたいなと思いました。

それからあとは一覧性ですね。どうしても電子書籍もそうですが、ネットで情報を得るときは、ピンポイントで一本釣りというか、自分が欲しいものだけを見てしまうので、やはりその地域全体のことの見渡しというのがどんどん難しくなっていると感じます。今、今日は図書館に入ると、認知症の特集がされていて、おそらく20代30代のまだ認知症にご興味ない方も、あ、認知症ということが生活のどこかにいずれあるのかなっていうぐらい感じていただくだけでも、それは地域の繋がり的一本目になるのかな、と感じています。その図書館で自分の興味のないものをたくさん見られるという、先ほどの本の福袋もそうですが、そういう一覧性というところをますます情報発信していただきたいなと思います。

そしてもう一つは、やはりこのつくば市立の図書館にしかない蔵書という、貴重なものがたくさんおありだと思うんですけども、ここにしかないものの紹介ですとか、皆さんがそれに触れられるような機会の創出というのをますますしていただければなというふうに思います。ここにしかない、つくば市の図書館ならではのものと、皆さんに喜んでいただける電子書籍というサービスが両輪で進んでいくと図書館の存在というのも、大切に皆さんに認識していただけるのかなと思います。楽しみにしております。ありがとうございます。

会長：はい、実にいい提案ですね。電子図書の方、見守っていますから、最初から最高のことはできなくてもいい方向に行けるといいですね。

### (3) 新移動図書館車両について

会長：はい、では次に、移動図書館車両については、ここで説明してから現場に行きますか。

事務局：ご説明だけさせていただきます。

会長：そうですか、はい。

事務局：配付資料に基づき説明。

会長：はい、ありがとうございます。新しい自動車を見るのは最後として、まず、この日程表とこれ、委員さんから何かございましたらどうぞ。はい、お願いします。

委員：つくば市は人口減の中でも増えてる珍しい市ですよ。その中でやっぱりなかなか全域奉仕とか、新しい地域には図書館がないので、新しいこういうモバイルのものが、動くものが入って、全域奉仕により幅広く対応できるのは本当すばらしいことだと思います。ちょっと戻りますけど、さきほどの市の開館状況のところ、谷田部が前年比 100%を超えてるっていうのは、やっぱり新しい地域の方たちの利用あつてのことなのかなと少し思ったのですが、その確認をさきほどしそびれてしまいました。やはりその新しくできた地域になるべく、色々なルートを検討し直してくださっているようなので、新しく広がっている地域で、より図書館を身近に感じてくださる方が増えるといいなと思っています。

会長：はい。事務局何かありますか。

事務局：令和元年度と比べて谷田部と小野川が 100%を超えているということですね、おっしゃるとおり新しい住民の方、特にですね、みどりののエリアですね、あちらの人口増が結構急激なものですから、谷田部の交流センター図書室のご利用が多いというのは事実です。谷田部は蔵書も多いし、それなりの広さはあるんですが、ネックとなるのが駐車場かと思ひまして、敷地がちょっと狭いと。ただ道路を渡った市民ホール側の駐車場はそれなりのスペースあるんですけど、やはりどうしても国道 354 号を渡るというのは心理的にちょっと不便なのかなということで、実は推測ではあるんですけども、小野川にその分流れてるのかなという気がいたします。小野川交流センター図書室につきましては、小野川自体の敷地が結構ゆったりとして、駐車場も目の前にかなりの台数止められますので。そういったところもありまして、谷田部と小野川が年々増えているという状

況があるかと思えます。従いましてそのみどりの地区がですね、実は今年度も1か所みどりの地区にステーションを増やしたところもありますが、また今後ですね、後でご説明しようかと思ったんですけど、新しくできる学校の学校図書室開放なんていうことも計画しているところですので、新しいエリアについては、自動車図書館ですとか、その他の手段でですね、図書館サービスを届けられるということで考えてはいます。

あと車両を今年度、この後見ていただく車両なんですけども、実際1,200万ほどかかりました。ただいわゆる宝くじ助成、コミュニティ助成の方で1,000万円の補助をいただいたので、かなり市の方からの持ち出しは少なく整備できたということもあります。課題としましては、既存車両がもう20年、2台あるんですけど、20年超えてるんですね。年間の走行距離は5,000キロ程度なんですけども、すでに6.4トンぐらいの、もう積みっぱなしの車をもう20年使ってるというところで、おそらく計画的に新しいものを更新していくとかですね、あるいは買えるのであれば4台目とかですね、台数を増やすとか、そういった形で、計画的にやっていかなきゃいけないのかなということは、課題としては考えております。

会長：はい。谷田部の場合はプールの跡地がありますよね。保健センターでイベントがあるときはそこを使っているようですが、図書館もあそこ常時使えるように働きかけてくれませんかね。隣でしょ。

事務局：はい、すいません、お役所的な話をしてしまって申し訳ないのですが、図書館としてはあそこの協使えるってことで担当課の方から許可もらってるんですね。ただ、あそこやっぱり鍵の開け閉めをやらないといけないとかですね。若干現場の方の作業が増えてしまうというところで、谷田部交流センターとしての対応はまだなされていないようなんですけども、あそこを使うことは担当課の方の了解を得ていますので。

会長：うん、すぐね、隣なんだからね。確かに国道を越えるのは億劫なんだよね。危ないしね。

事務局：小さいお子さんの手を引いたり、ベビーカーだったりすると、ちょっとやはり抵抗があるんじゃないかと思います。

会長：はい、お願いします。

委員：はい、この、見させていただいて、この前市の方も土日の業務に関して、開けたんだけどあんまり利用がないからって土曜日をやめたりとかいうのがあって、ああ、なるほどな、と。やっぱり実態に合わせるって、とても大事だなと思ったんで、ちょっとこれだけ、私はちょっと見えなくて、平日の利用とこの土曜日の利用が何かあるのかとか、例えば平日1日、どこか少ないところを止めて日曜日にやるっていうのは、職員の勤務のこともあると思うんですけど、この曜日に関しての何か知見っていうのはありますか。すごくこれはこれからいいなと、1万人もいらっしゃるわけですから、もっと増えるような気がするんですよ。

事務局：昨年度から、この表の一番下のYコースにつくば市役所というのが土曜日に行っているんですけども、今まで火曜日から金曜日の4日間の運行だったんですけども、特に研究学園エリアに図書施設という公的施設が市役所以外ないというところで、図書館としてできるのは自動車図書館で何うことかなということで、これまで平日に行っていたんですけども、平日プラスで、土曜日にも研究学園地区のエリアの、まず市役所に行くというようなことをやりまして、今度また台数も増えたというところもありますので、当然あの、今お配りしたのは来年度の前期のものなんですけども、来年度実現するかどうか、いろいろ調整が必要になると思うんですけども、当然土曜日・日曜日、そしてまた以前やっていたライブラリーピクニックのようなイベントへの参加、特にですね、今R8といまして、周辺市街地振興、それぞれ8地区でいろいろ協議会が立ち上がってイベントをやってるところなので、そういったイベントに自動車図書館で参加して、図書館、図書、読書環境、そういったものをPRできるような活動もやっていきたいなと、それは同時並行でやっていきたいなとは考えています。

委員：ぜひお願いします。

会長：はい、他にございますか。最後 20 分ほど自動車の見学ね。その前に 5 分くらい事務局からお知らせみたいなの。それまで、もう終わってしまえば、フリートークみたいに何でも皆さんから言っていただいて、時間がきたらそこで打ち切って、事務局からのお知らせになって、自動車図書館の方へ行きます。

#### (4) その他

会長：今までの案件の中で、とりあえずなければ、フリートークに行っていいたすかね。はい、事務局の方、どこから来るかわかりませんが、いろいろ意見を言ってもらいましょうね。はい。じゃあどうぞ。

委員：いいですか、はい。いつも私が感心しているヨモッカとこどもヨモッカですけれども、こどもヨモッカは特に今、学習指導要領が変わって、やはり特にコロナもあって、ICTが、まあ、つくば市はICT先進的なところなんですけれども、みんな全国的にもICTを使ったのが教育っていう形になってるのですけれども、やはり調べるときに、さっきおっしゃったみたいに、ネットで調べるとピンポイントは調べられるし、最新のことは調べられるけれども、その周辺の方に目がいけないという、プラスとマイナスがあって、なので、そのこどもヨモッカはすごく分かりやすく良かったなあとと思っています。本当に小学校の低学年の子たちは、いや、子供たちにとするとやはり簡単な方がいいし、楽な方がいいし、面倒くさいことはしたくないのですけれども、でも、それとその裏にあるものが失われてしまうということを私はちょっと、危機感っていうと偉そうですけど、え、大丈夫かなこの子たちと思うところがあります。これ学校に配って下さっているのですよね。なので、つくば市のこれは素晴らしいと思っています。できれば本当、他の地域もこういうのがあるといいなと思って。どんどん先生方も若くなっていますが、先生方も何かっていうとその場でパパッと調べて、こうだよって言って終わっちゃってるのですけれども、でもやっぱりその周辺にある知識とかの習得がないというか、これについては英語の先生も辞書の遊び引きをしないと、語彙が増えないよっておっしゃっていて、なんかこういうことが関連しちゃうとこの子たちが大きくなったらどうなるのかなっていう不安がありました。

図書館に足を運ぶということもそうなのですが、欲しいものだけを勧めるんじゃないくて、広げるって意味で、さっき館長がおっしゃったライブラリーピクニックなんかも、本当に人と本の橋渡しで、図書館の役割かなというか、そのような気がしています。このようなコロナの中で新しいイベントを立ち上げてくださったりとか、あと今ここでやっている認知症の話とか、本だけじゃなくて、図書館と例えば市とか、図書館と大学とか、図書館と何とかっていう橋渡しを図書館がしてくださることが、ますますむしろこのICTが進んでいくと重要なのかなってこの1年間の活動を見ていて感じました。やっぱりなかなかつくばの司書さん優秀じゃん、と思ったので、ぜひ頑張っていたきたいと思います。

事務局：ありがとうございます。

会長：はい、お願いします。

委員：はい、非常にポイントつきたいご意見がありましたね。たくさん項目がありますけど、特に子供たちに特化してちょっと教えていただきたいのですが、教育の現場に対して図書館がいろんな形で関与されてて、働きかけられてて、こうシステムとしてというか、教育の現場のいわゆる図書館の方々と、図書館との連携というのは何か組織なり、連絡の方法なり、お互いに合意してある、中期・中長期計画立ててあるとかですね、何かそういう仕組みはあるんですか。

会長：はい、お願いします。

事務局：学校図書館の司書補助員さんとのですね、連携というところなんですけれども、毎年年度初めにですね、司書補助員さんの研修がありまして、その講師を当館の司書の方で務めさせていただいております。

また随時ですね、年間通して、いろいろご相談があれば、資料の提供をしたりとか、アドバイスをさせていただいたりとか、っていうこともさせていただいております。あと先ほど事業報告の中でありましたように、どっかで除籍になった、というのは大変申し訳ないんですけど、そういった資料をですね、学校図書館の方から取りに来ていただくって形にはなりますけども、回すという、有効活用していただくというような取り組みはさせていただいております。

会長：はい。

委員：はい。

会長：はい、お願いします。

委員：はい。電子書籍の導入ということで、今、小・中学校のつくば市はGIGA端末ということで、まだ1・2年生まではちょっと行き渡っていないんですが、将来的にはもう全児童生徒に行き渡るわけですが、これは児童生徒に対するその便宜っていうのは、何か付加されるんでしょうか。ただ2,000タイトルなんで、いろいろ制限はあると思うんですけど、その予定はどうなんですか。

会長：はい、お願いします。

事務局：私たちも、うちでその電子書籍を入れるにあたって、GIGAスクール構想のことは常に頭にありまして、その話は学び推進課の課長とも話をしておりまして、いずれ学校現場にっていうことも、そういう流れになるんじゃないかなという程度の話なんですけども、それはさせていただいております。先ほどそのベンダーのお話をさせていただきましたけども、企業の方でも、学校、先ほど2,000タイトルっていうのは会長おっしゃったように、誰かが借りていたら誰も借りられないっていう状況なんですけど、例えば、1クラス分ぐらいの人数の契約をして、例えば1冊の本に対して40人一気にアクセスもできるとかですね、そういうサービスを開始するような動きもあるようです。

あと、これは電流協と言いまして、電子出版流通協議会みたいな会がありまして、それは文科省の方に働きをかけてまして、学校現場で電子書籍をフリーに使えるようにそういった費用については、国が責任を持って賄ってほしいというような要望書も提出されているようです。ですのでこれから電子書籍については、かなりいろんな動きが出てくるかなとは聞いておりますが、大変申し訳ないのですが、今現在で学校の子どもたちに対する直接的なサービスっていうのは具体的にはまだされてないという状況でございます。

委員：ぜひ、導入を検討していただけると、非常に、蔵書が増えるということと同じになると思うので、よろしくお願いします。

事務局：特に今週は、また1年生から5年生がオンライン授業ということで、こういう状況になったときに、電子化っていうのは、学校現場で活用できると思います。

委員：はい、端末はありますから、それでアクセスできれば非常に有効活用できますよね。ただ、そのお金の問題になると思うんですけどね。

委員：はい。

会長：はい、お願いします。

委員：29ページに、ちょっと余談でいいかなと思ったら、29ページに地方紙のところを見たら、茨城、東京の他に、福島民報というのがあって、双葉町のたくさんの方がまだつくば市にいらっしゃる、200数十人ということで、双葉町の出張役場の機能もまだそこに残ってるっていうのをこの前新聞でちょこっと見て、3.11のことでね、何か別にね、図書館が何かすべきっていうことではないんだけど、このきっと福島のはそういう意図があって入れていただいたものじゃないかなと思って、何かそういう何ていうかな、やっぱりすごく、この前筑波大の先生がずっと体操で、長谷川教授なんですけど、退官でちょっといなくなるんですが、物ではない、その心がすごく嬉しいっていうその双葉町の方たちの住民の声がたくさん届いていて、何か図書館っていうことではないけれども、何かそういうのができたらいいなっていうのがあるんですよ。本としてもね。これはちょっと私の熱い思いだけですけれども。

事務局：新聞は確か、3.11の後ですね、つくばに一時期は500人を超える方がいらしたと思うんですね。役所の総務課に、福島の新聞が3紙ぐらいですね、ずっと置いてあって、見る方はどうぞっていう形でやっていたと思うんです。たぶん同時期に、図書館の方にも置くようになったんだと思うんですけども、直接的なアプローチがちょっとできないところがあるんですけども、もちろんお越しいただければ、できる限りのサービスはいたします。

委員：例えばこれ市でどっかでね、お願いしてもいいんだけど、やっぱり語り部の感じの、やはり伝えていくってことは、生の言葉がやっぱり一番すごく伝わる

と思うんですね。そういう方がいらっしやって、何か生かしていきたいなっていうのはすごく思いはあります。

事務局：はい、ありがとうございます。

会長：はい、この認知症の冊子ありますけども、今年度やった事業なんですよ。ちょっと説明していただけますか。

事務局：はい、では私から。お配りさせていただいたものですね、今年に入りまして1月から予定では3月31日まで筑波大学の学生さんとコラボしまして、展示を今、認知症に関わる場所の展示をやらせていただいております。

これを始めるきっかけとなりましたのは、担当教授が筑波大学の図書館情報専門学群の方ですね、呑海教授が持っているクラスになりまして、ご存知かと思いますが、図書館懇話会の座長も務めていただきました呑海先生の方で、また筑波大学の図書館とつくば市立図書館は連携協定を結んでいるという、そういったところもベースになりまして、展示をやっていただいております。

この資料の表面も、こういった絵もですね、東京オリンピックの開会式でピクトグラムがだいぶ話題になりましたが、学生が全部考えて、これ全部学生さんがやったということです。中身につきましては地域包括支援課なども関わって、これを仕上げた形になりますが、展示の方はもしお時間があればこの後でもご案内いたしますので、下をちょっと見ていただければと思いますが、この展示が終わった後にこれが使えなくなっちゃうからってことは決してなくてですね、ここの作品リスト11ページからあるんですけども、これはうちの司書もですね、これは筑波大の学生が実際にピックアップしてくれたんですね。これも該当するんだっていうのが、うちの司書自身も把握していなかったものもあったりして、これは今後のレファレンスにも生かせるねということで、非常に素晴らしいものを作っていたのかなと思っております。

また本に限らずDVDなんかも、認知症のところを取り上げたDVDなんかもありまして、実はアルスホールで上映をやろうかなと思っていたんですが、まん延防止等重点措置が延長されたということもありまして、やはりちょっと今の時

期、人を集めてホールでっていうのはやりにくい状況でございますので、大変残念なんですけども中止となってしまいましたが、いろいろ学生さんならではの視点であるとか、そういったところも生かしていただきながら、こういった展示の方をやらせていただいております。一つの成果物ができたというのは非常に大きいかと思います。

会長：なるほど。委員さん何か、この取り組みについてありますか。

事務局：それに関して、つくば市の取り組みを少しよろしいでしょうか。

会長：はい。

事務局：この展示に関しまして、先ほど委員さんの方からもお話ございましたが、認知症のコーナーに行ってみるっていうのは、やはり高齢者の方とかご家族の方とか抵抗があるようなんですけど、この認知症の展示をすることによって、ちょうど入口でもあるせいか、比較的拝見してますと若い方もご覧になっていました。若い方からやはり高齢者の方、いろんな方が見ていただけたので、展示をすることによってそのような効果が出たのではないかなと感じています。それにそこに書籍の方があったんですが、この展示が始まってすぐに書籍がほとんどなくなってしまってしまうぐらい貸出がなされた状況でもあります。

地域包括支援センターの方もこの展示に関わっておりましたので、以前から地域包括支援センターの方でも、どこかで高齢者の方とか、そういう相談を受けたりとか、そういう場所があるといいね、っていう話を担当課としておりまして、この展示をきっかけに、実は先ほどの資料1の事業計画の3月のところの、認知症啓発活動ということで、1日・2日ということを書いてありますが、3月1日・2日に約2時間ではございましたが、うちの方のエントランスを利用いたしまして、各地区の包括支援センターの職員が参りまして、そこで健康相談や、脳年齢測定と血圧測定をやっていただきました。その時の状況なんですけれども、120名ぐらいの方に、実はこのような地域包括支援センター、認知症とかその辺のご相談をするのは地域包括支援センターになりますよっていうような、このようなパンフレットを配っていただきながら120名ぐらいの方に2日間で配って

いただいたそうです。その中で脳年齢とか血圧を測定をされた方に対しては、このようなものをお配りしてくださったということなんですが、120名の方に配布いたしまして、実際に測定とかされた方が83名ということなんです。

委員：ええ、すごい。

事務局：脳年齢測定ってどんなものか、ちょっと私もわからなかったの、実は体験いたしました。そうしましたら、人間ドックの時に一度経験はしたんですが、1から時間内に、すいません時間をちょっと何分か忘れてしまったんですが、時間内に1からこの数字を追っていくんですね。パネルをタッチしていくんですけども、ただ、1を押すと、今度画面が変わるんです。神経衰弱のように、覚えていても今度2の場所がどっかに行ってしまうので、その都度見つけなければいけないんですが、そのような形で時間内にいくつまで数字を探せるかっていうようなものでした。それで大体何歳というようなものが出るようです。その体験をされた方は、このチラシの方は結構若い方にもお配りしたようですが、脳年齢を測定された方っていうのは、ほとんど高齢者の方っていうことでした。あとは保健師が来ておりましたので、そこでいろんな相談を受けたっていうことですね。相談内容に関しましては、やはり自分の健康に関することとか、そういうことが多くて、お1人お1人、やはりある程度の時間がかかるというか、いろいろご説明というか、させていただいて対応したということです。以上になります。

会長：中央図書館と筑波大のコラボというか連携というかね、これからも何か、毎年何かずっと続くといいですね。

事務局：そうですね。筑波大学は国立大学の中では日本で最大の図書館に関する研究してると思うので、その大学が歩いて5分、10分のところにあるというのはつくば市しかないと思いますので、そこはもうしっかりと私たちも離さないように、色々と知見を頂戴できればと思っております。

会長：冊子なんか見てもさすがだよ。やり方がね。特色の一つとして継続されてますね。

委員：はい。

会長：はい、お願いします。

委員：今のお話、とても興味深く伺いまして、私もこの展示などもすごく興味深く拝見いたしました。それで、ここで血压測定、脳内年齢の検査みたいなものがあつたということで、先ほど体操との関係で図書と繋げてという感じの話が、ご意見あつたかと思うんですが、出前体操教室みたいなものがこの頃、カスミとかいろんな、B i v iとかいろんなところで、健康増進課の方でやってくださってますけれども、そちらとの連携で出前体操教室を色んな交流センターとか、図書館、そこは何でしたっけ、アルスホールがあつたと思うんですが、企画していただくと、その来たついでに、それに参加したついでに、それこそ脳内年齢とか血压測定とかしていただいて、展示がその時にあるかないかわかりませんが、もしよろしければ展示も少し揃えていただくと、今回参加できなかった市民の方にも普及ができるかなと思うので、すごく今良い企画をしてくださったなと思いますので、引き続き多くの方に体験していただくとよろしいかと思っておりますので、このような形で健康増進課とも連携し合つて続けていただけるとありがたいです。

ついでに話しちゃつたので、こういった図書館がすごく充実するなど、つくば市の。すごく感謝しております、私世田谷区で子供時代育ちましたけれども、自動車図書館の図書が本当に楽しみだったので、交通量がやはり都内の方が激しいですので、やはりあちこち、図書館までは子供の足ではなかなかすぐに行けませんので、すごく自動車図書館に感謝して子供時代を過ごしましたが、つくばでもやはり国道一つ越えるだけでも大変なんだなと、こんな広い土地でもやはり同じなんだなと思うので、都内の私と同じような生活ができているんじゃないかなと思って、すごく期待感を持っています。ありがとうございます。

図書館が充実しているというところで、一つキーワードがユニバーサル図書館、今ユニバーサル住宅とかいろいろ、何かこう言葉として広がっていますけれども、もうつくば市の図書館、交流センターの図書館も含めて、ユニバーサル図書館的な形にすでになつてゐるんじゃないかなと。子供時代は自動車図書館で育ち

ましたが、大人になって子育てはつくばですずっとやってましたけれども、事実上ユニバーサル図書館になっている図書館がたくさんあるつくばで子育てできたから、すごく充実した子育てができたかなと思いますので、そのあたりよくよく考えてみると、もうつくば市の図書館はいろんな意味でユニバーサルな図書館になっているので、この間の先ほど夏休みに開催した本の福袋のイベントの話があったと思うんですが、もう世界に先駆けて、日本でも先駆けていろんなこと取り組んでいる図書館があるつくば市だと思いますので、もっと色んな企画をやっていただきたいと思います。電子図書館も含めて、よろしくお願いします。

事務局：ありがとうございます。

会長：委員さん、野田でも公民館長さんやってるの。

委員：はい、やっておりました。過去形です。

会長：野田の学校に長く勤められていて、野田の方の図書館と色々比べて何か、言えることありますか。

委員：そうですね。図書館が少ないということ、野田の方ですね。ただ、司書の皆さんとかやっぱり職員の方、とっても熱心でよく勉強されてる方が多いんですけども、学校の中におりましたので、実際、図書館にそれほど行ったかって言われると、野田の図書館には行ってないんですが、団体貸出を利用しておりました、それは大変ありがたかったです。選書して、学校の方で取りに行くんですけども、用意しておいて下さる。それから、ある小学校にいる時には、読書ファイターズといって、月に1回PTAの方が一緒にやってくださって、選書は全部司書の方をお願いをして、司書の方が選書してくださったものをケースに入れて用意しておいてくださる。それを学校から、すぐ近くに、コミュニティセンターの中に分館があったので、そこに取りに行き、いただいて、また返して次の月のをいただいてくるっていうふうな、団体貸出で、そのやっぱり選書をきちっと、こう良いものを学年に応じてしていただいて、そういったことはPTA活動の方と連携してやってたっていうね。そういったような利用の仕方の連携はいろいろとできておりましたけれども、ただ、もうやっぱりつくば市と環境とかね、

元々の風土が違うので、単純に比較とかはできないなとは思いますが、つくば市はやっぱり素晴らしいですね。読書教育はかなり力を入れてましたけれども、学校のボランティアさんなんかもすごく熱心な方がたくさんいて、学校もやっておりましたけれども、市の図書館としての運営とか企画とかですね、本当に素晴らしいと思っております。

会長：委員さん、県の図書館評議員なさっているんですね。今、県の方の図書館関係の流れとか、あるいは県全体から見たつくばの図書館の予算や決定とか、いろいろもし、突然で申し訳ないんですが、言えることがありましたら言ってみただければ。

委員：はい、ありがとうございます。茨城県はやはり電子書籍化の流れについてもう何年間も検討を進めながら、あと県立図書館の中にカフェを、大々的にカフェを設置して、大きくリニューアルを、しばらく休館をしまして、オープンしてしばらくたったところです。カフェの中で図書館の蔵書を読めるような、もう一体化している中で、音を立てたりおしゃべりしながら図書館にいられるという、今まで図書館に、どうしても足を運ぶのに、静かにしていないといけないので行きづらいというような方が出入りされるような環境づくりというのはされて、新しい取り組みだなというふうに感じています。なので、その図書館自体が新しい取り組みを始められているところと、県全体から拝見すると、今、土浦市立図書館について非常にフィーチャーされる機会が多いと思うんですね。大きな予算をかけてのリニューアルということで、つくば市にいらっしゃる方々からも、土浦のように、本当は全部こう、全館リニューアルしてたくさん本を入れて欲しいのに、という声をよくお聞きするのですが、冷静にデータを拝見すると、つくば市の利用率というところでは、もう圧倒的に本当に他と格差というか、もう差をつけて圧倒的な存在感を放ってしまっていて、どれだけその施設の老朽化ですとか、蔵書の少なさということも理由にできないかというのを、つくば市の動きというのを見てると感じられるなど感じています。それだけやはり、どの業界もそうですけど、一番大事なものは人で、人がどれだけ活躍ができるかっていうところなの

かなというのを、つくば市の図書館のご活動、ご活躍というのを拝見していて、いつも誇りに思っていますし、県の図書館協議会の中でも、つくば市ですよ、って言われるたびに、はい、ってちょっと誇らしげな感じで申し上げているような感じです。

会長：なるほど。ありがとうございます。

委員：少しよろしいですか。他の委員さんがおっしゃったことと少し重なるところもあるかもしれないんですけども、今回資料を送っていただいた中でこのヨモッカの17号ですね、これとっても素晴らしくて、今までも素晴らしいんですけども、何かすごく格調高いような気がしますよね。中が充実していて、とても良いものをやっぱり作っていらっしゃるな、と改めて感じました。名作は書庫に眠るというのは、書庫に眠る名作ではなくて、動詞になっているというところまで、このタイトルの付け方なんかもすごく洒落ているなというふうに感じています。それから皆さんもおっしゃったようにこの認知症関係の展示ですが、私もこちら上がって来る前に下入って、ちょっと久しぶりだったんですが、申し訳ないんですけども、入って見せていただいて、すごくすっきりしているし、1階の雑誌のコーナーとかリニューアルしたのかしらと思うぐらい、とってもすっきりと全部書架に雑誌類も収まっていてカバーも綺麗だし、清潔感がいっぱい、何か入った時の印象が以前以上にね、きっと職員の方がいろいろ手入れされたり、皆さんでやってらっしゃるんだなっていうことを感じさせるようなレイアウトとかになってましてね。それも感心いたしました。この認知症についてもやっぱりその時流を捉えてね、非常に役に立つものを、つくばならではの知的な資源、筑波大学との連携っていうね、こういったものを利用して進めてらっしゃる。コロナ禍の中でも、やっぱりできることを、次々とかう企画して、実現されているっていう姿勢にね、本当に感服しております。長くなりますのでこれからはぜひ皆様に頑張っていただいてというふうに思っております。

事務局：ありがとうございます。

会長：では、委員さん一言。

委員：ありがとうございます。いつも振っていただいて申し訳ないです。はい、いろんな、最初私もこの谷田部が多いのはどうしてかなと思ったんです。何かすごい何かアイデア出して、何かすごい楽しいことやってるのかなと思って、そこらへんをちょっと伺いたいなと思ったところだったんですけど。学校は、先ほどもお話あったように、図書室に行くといろんな本があって、いろんなことが調べられる、というのがやっぱり子供たちに一番いいことだと思うんですけど。いろんなご意見を先ほど伺って、私、図書室とか雰囲気がとっても私は好きなんです。実は何年か前に、雨の日だったんですね。6年生の子たちが1クラスどーんと全部入って、図書室で読書してたんです。雨の音も聞こえて、ページをめくる音も聞こえるんです、そのときに。ああ図書室って何かこんな雰囲気がいいよな、って自分の中ではとってもうれしくて、それが。子供たちがそうやって読書に親しんでいるというか、そういう雰囲気があって。まあね、図書室は静かにしなくちゃならないってさっきお話があったけども、でもやっぱり今はね、居心地のいい空間というか、そういうところで図書室、特にこういった公共の図書館とかっていうのは、役目を期待されているのかなあとか。癒やしの場っていうんですか、サロンっていうんですかね。分かんないですけど、そういうことなのかなあなんて考えて聞いてました。

ただ、学校の段階では、やっぱり図書室に行ったら、静かに本を読んで、人に迷惑をかけないようにまずやって、まずそういうのを身につけて、それから自分のいろんなそういうのを見つけていけるといいねっていうようなお話とかは、子どもたちにもやっぱりしていく必要があるかなあと思ったりとか。電子書籍もとってもいいことで、便利なんですけど、あんまりこう見続けると目にやっぱりよくないんだよとか。やっぱり本をめくる、ページをめくるっていうこと自体がやっぱりもう大事なことだとかね、こう言われていることなんかもあると思うので、そんなことなんかも、いろんなことを子供たちに伝えていくことが大事かなというふうに思って、今お話を伺っておりました。図書室で一緒にね、子どもたちと一緒に、やがてはコーヒーなんか飲みながら、お茶なんか飲みながらね、子

どもたちと過ごせたらいいなあなんて思ったところです。これからのつくば市の図書館に本当に期待しておりますので、いろんな可能性があるんだなと思いましたので、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

会長：ありがとうございました。それでは事務局の方から最後に連絡事項、お知らせ等ありましたらそれを聞きまして、そのあと自動車だけでいいのかな、図書館の方は見なくてもいいかな。

事務局：少し展示も含めてですね、ご案内させていただければ。

会長：展示も含めてね。じゃあ最後の事務局の方からのお知らせをお願いします。

事務局：すいません、先ほど認知症の展示がございまして、地域包括支援センターの方とのコラボをしていますが、前にもお知らせしたかもしれませんが3月23日の2時から3時に、アルスホールの方で認知症サポーター養成講座を行います。コロナ禍ですので、通常ですと3時間以上かかるものなのですが、この日は1時間に短縮いたしまして、講座の方を行うということになっております。一応お電話で、地域包括支援課の方に申し込みということにはなりますが、もしご興味があって受講されるというようなご希望の委員さんがございましたら、お話いただければと思います。こちらからお伝えしたいと思います。職員も実は全員認知症サポーター、ほぼ全員ですね、認知症サポーター研修を受講しまして、このような「ロバ隊長」のついたものをいただいています。これをつけて業務にあたってはおります。今度ただこれが今違うものになってしまったので、このブレスレットではないかもしれませんが、そのようなものをつけて対応しております。よろしく願いいたします。

事務局：お知らせなんですけども、先ほど電子図書館のところのご説明で申し上げましたように、今年の10月に図書館情報システムの入れ替えを予定しております。従いまして9月の末ぐらいからですね、後半、半月程度になるかと思うんですが、臨時に休館をするという予定になっております。いつからいつというのがまだ今の段階では決定しておりませんので、そういったところ教育委員会にも

語りながら、お知らせをしていきたいなと思っております。

あと、新しい学校が令和5年度に3校、そして令和6年度に2校ということで、建設されます。令和5年の4月につきましては、研究学園小中学校、今、山新の近くにクレーンが立ち上がってると思うんですけども、あちらに建設がもう始まっております。あと、万博記念公園駅の近くにですね、香取台というところに小学校を建設、こちらも工事は始まっております。あと令和6年につきましては、みどりの、まだ名称はすべて仮称なんですけど、みどりの地区にですね、常磐高速の南側になってしまうので、ほぼつくばみらい市に隣接したところになるんですけども、そちらにみどりの南ということで小中学校を建設予定しております。そのうち研究学園とみどりの南の小学校の方の学校図書室をですね、子供さんたちが登校していない土曜日・日曜日・祝日等に地域に開放するというところで、その予定でいろいろ準備を進めているところです。万博公園の近くの香取台につきましては、学校敷地内にコミュニティ棟といましていわゆる学童保育をする施設を建設いたします。そちらの1階の受付の部分で、蔵書がないんですけども、中央図書館等で予約した本の受け取りができるように整備したいと考えております。もちろん返却もできるようにブックポストを置いたりとかですね、そういった形でのサービス、本来であればきちんとした分館とかを作るべきなんだろうけど、なかなかその土地の確保から始まりますので、今のところ条件が整っていないというところで、できる範囲内のサービスをやらせていただくという予定になっております。今ブックポストの話が出ましたが、今年度も1ヶ所ですね、島名交流センターの方を増やしております。それもあわせてご報告させていただきます。

あと、最後にこちらの中央図書館の改修についてなんですけど、五十嵐市長の今2期目なんですけど、2期目の立候補のときに、市長公約事業を100いくつか出しているんですけども、そのうちのひとつで、中央図書館の改修ということが公約事業になっております。どのように進めていくかというロードマップについても、すべてホームページの方で公表しております。令和4年度につきましては、改

修の方向性を検討していくということで、あわせて市民意見等の聴取ということで、伺うこともやっております。市民意見につきましては、今現在中央図書館として毎年やっている利用者満足度調査の中で、自由記述欄の中に施設についての課題であるとかそういったところを聞く項目を設けておまして、まだ3、40件ぐらいかなと思うんですけども、まだこれからもっともっとご意見集めたいと思うんですけども、やはりうちの図書館がワンフロアなので、子供コーナーと大人のコーナーと閲覧席と、どうしてもこう声が響いてしまったりとかちょっとざわざわしてるねなんていうご意見もあったりとかですね、あとは駐車場がないというのと、全体的に手狭であると、というようなご意見をいただいているところなので、そういったご意見も踏まえながらですね、どういう方向性で改修の方に着手するかということもこれから令和4年度については具体的に入っていくということがございますので、この場でご報告をさせていただければと思います。

事務局からの報告は以上なんですけど、最後にですね、一昨年度からですね、2年間の任期で皆様方には大変お忙しいところお時間を作っていただきまして、図書館協議会の方にご参加いただき、また、貴重なご意見をたくさん頂戴いたしました。本当にありがとうございます。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。任期の方につきましては令和4年の今年の6月いっぱいとなってるかと思っておりますので、ただ、おそらく皆さん、今の任期の今の委員さんでお集まりいただくのは本日が最後となるかと思っておりますので、引き続き中央図書館はじめ、つくば市の図書館サービスについて、ご意見等を頂戴できればなと思っております。またご指導ご鞭撻いただければと思いますので、引き続き温かい目で見守っていただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。まずもって長期間いろいろお世話になりました。ありがとうございました。以上です。

会長：はい、それでは当初の説明どおり、図書館も見ながら、自動車も。流れ解散になりますから全部手荷物持ってね、終わりにしたいと思っております。今日はありがとうございました。

全員：ありがとうございました。

<閉会>

## 令和 3 年度事業経過

計画していたがコロナにより中止した企画を、取り消し線で表示しています。

つくば市立中央図書館

月	事業経過			
	管理係	サービス係	その他	
4月	・アルス協議会	・前年度利用統計集計業務 ・資料費配分決定 ・選書、発注、受入れ（通年）	・団体貸出、相互貸借、図書返却事業（通年） ・出前講座（通年） ・館内見学、職場体験受入れ（通年） ・不用図書の選定、梱包（通年）	・ホームページ掲載（随時） ・広報 6 月号締切り
5月	・アルス協議会	・新聞廃棄（廃棄年度 3・4 月分）	・インターネット予約による遠隔地貸出サービス（ぶっくびん）開始（搬送便週 2 回） ・小学校等新入生新規カード作成 <del>・ライブラリーピクニック（15・16 日）</del>	・広報 7 月号締切り
6月	・アルス協議会		・特別整理期間（8～11 日） ・中央図書館蔵書点検（8～11 日） ・筑波大学附属図書館との独自の相互貸借開始	・広報 8 月号締切り
7月	・アルス協議会 ・「つくば市の図書館概要」発行	・新聞廃棄（廃棄年度 5・6 月分）	<del>・図書館を使った調べ学習講座</del> <del>・ジュニア図書館員（～8 月）</del>	・広報 9 月号締切り
8月	・アルス協議会 ・第 1 回図書館協議会（5 日）	・「本が泣いています」展示	<del>・インターンシップ受入れ</del> <del>・中学生職場体験受入れ</del> ・本のふくぶくろ（7・8 日）	・広報 10 月号締切り
臨時休館（休館日数：30 日） （8 月 18 日～9 月 23 日）				
9月	・アルス協議会	・新聞廃棄（廃棄年度 7・8 月分）	・自動車図書館後期日程通知（小学校・義務教育学校・保育所・児童館） <del>・公共施設向け不要図書リサイクル事業</del>	・広報 11 月号締切り
10月	・アルス協議会	・「こどもヨモッカ」第 16 号発行、小学校配布	・学校訪問ブックトーク（～12 月） <del>・科学フェスティバル出展</del>	・広報 12 月号締切り
11月	・アルス協議会	・新聞廃棄（廃棄年度 9・10 月分）	・The World week@中央図書館	・広報 1 月号締切り
12月	・アルス協議会	・次年度購入雑誌検討（～3 月）	・次年度インターンシップ受入れ決定 ・ぬいぐるみたちのおとまり会	・広報 2 月号締切り ・電気工事による図書館システム停止のため臨時休館（28 日）
1月	・アルス協議会	・新聞廃棄（廃棄年度 11・12 月分）	・筑波大学情報学群知識情報・図書館学類展示「認知症とはじめまして、そしてよろしく」（～3 月）	・広報 3 月号締切り
2月	・アルス協議会 ・次年度会計年度任用職員募集	・雑誌配架場所変更 ・「ヨモッカ」第 17 号発行、区会回覧（1 日） ・次年度雑誌スポンサー募集	・次年度自動車図書館巡回日程通知広報 ・特別整理期間（8～10 日） ・4 交流センター図書室蔵書点検実施（8～10 日） ・公共施設向け不要図書リサイクル事業	・広報 4 月号締切り
3月	・アルス協議会 ・次年度会計年度任用職員選考 ・第 2 回図書館協議会（15 日）	・目標指標アンケート実施 ・新聞廃棄（廃棄年度 1・2 月分）	・認知症啓発活動（1・2 日） ・ファーストブック講座募集・実施	・広報 5 月号締切り

## 【開館日数】

令和 3 年度開館日数（見込み）260 日（開館予定日数：291 日）

## 【展示テーマ】

・4～6 月：宇宙へ… ・7～9 月：スポーツ！ ・10～12 月：食！ ・12 月：名著初版本復刻珠玉選  
・1 月：科学道 ・1～3 月：ザ・候補作

## 【図書館おはなし会】

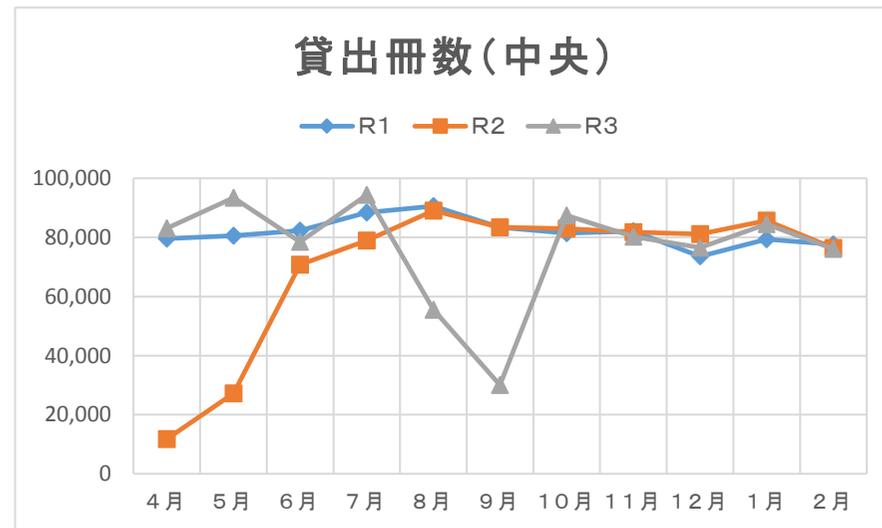
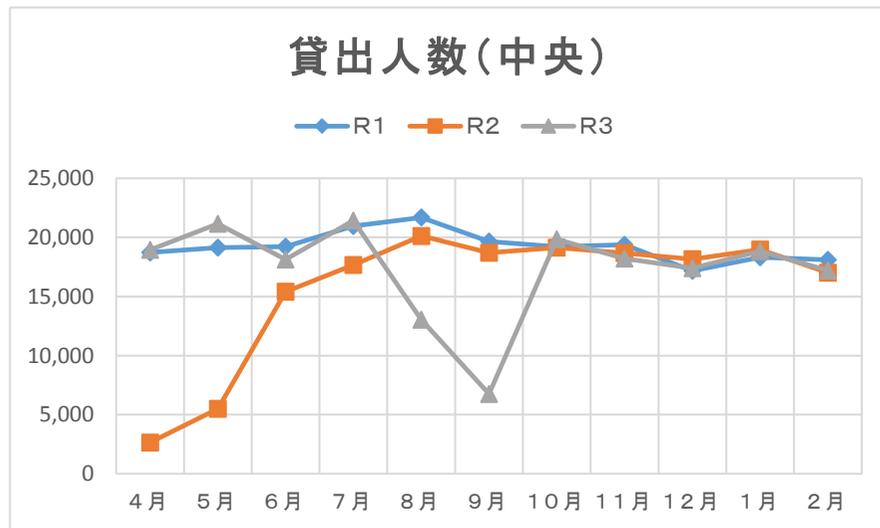
・おはなしぶんぶん（赤ちゃん向け）毎月水曜日又は金曜日（8 月は除く）1～2 回 10:30～10:50 11:00～11:20  
1 回目多数の場合、2 回目を行うこともある ※まん延防止重点措置等期間中は中止

## 【ボランティア活動】

- ① 地域資料ボランティア（毎週水曜日）
- ② 修理ボランティア（毎週火・水曜日）
- ③ 音訳ボランティア（月間 3 回）
- ④ 点訳ボランティア（毎月第 3 木曜日）
- ⑤ 配架ボランティア（随時）
- ⑥ おはなしボランティア ※まん延防止重点措置等期間中は中止
  - ・おはなし会（毎週土曜日 15:00～ 第 5 土曜日がない月は日曜日）
  - ・グループスイミー公演 6 月 26 日（土）10:30～11:00 11:30～12:00
  - ・パネルシアターかくれんぼ公演 7 月 10 日（土）10:30～11:10 11:30～12:10
- ⑦ 児童サービスボランティア 4/14・7/14・9/8・12/1・1/12・3/9 水曜日（こどもコーナーの配架は随時）
- ⑧ 地域文化ボランティア
  - ・おとなのためのブックトーク（第 3 土曜日 10:00～）
  - ・古典ブックトーク（第 1 土曜日 10:00～ 4・5 月）
  - ・本好きのためのゆるっとトークルーム（第 1 土曜日 10:00～ 6 月～）

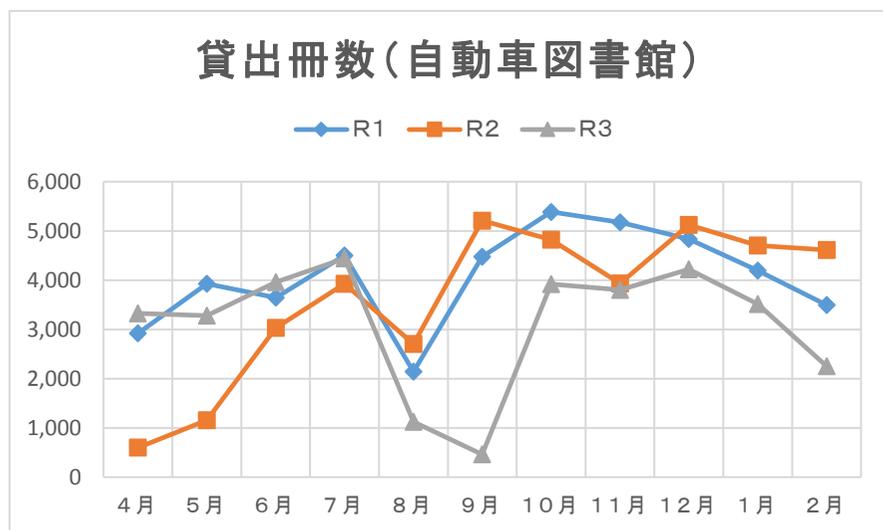
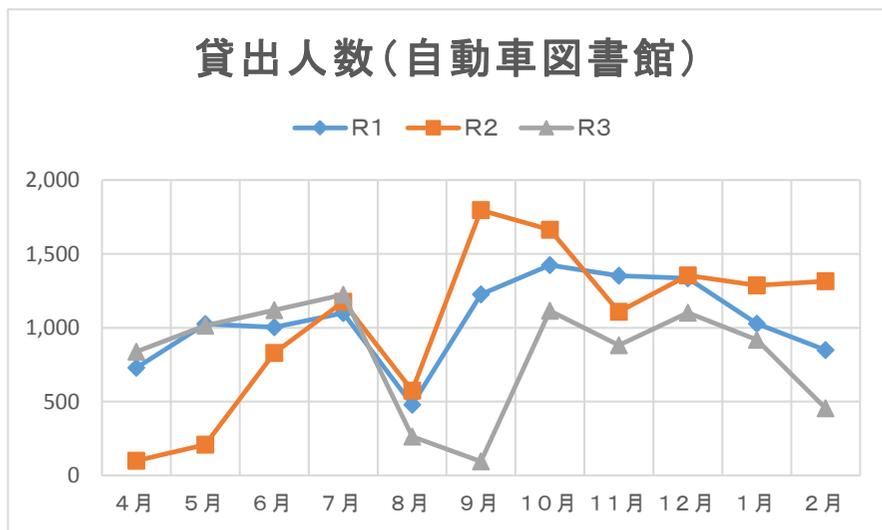
## つくば市図書館利用状況比較

中央	年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	小計	R1比較	3月	合計
	R1	貸出人数	18,727	19,139	19,225	20,948	21,682	19,645	19,231	19,374	17,174	18,315	18,099	211,559		19,793	231,352
	貸出冊数	79,585	80,613	82,319	88,441	90,583	83,435	81,436	82,068	73,565	79,415	77,628	899,088		85,432	984,520	
R2	貸出人数	2,646	5,496	15,398	17,673	20,129	18,693	19,123	18,682	18,150	18,982	17,022	171,994	81%	19,184	191,178	
	貸出冊数	11,753	27,208	70,803	78,932	89,061	83,460	82,917	81,757	81,095	85,723	76,481	769,190	86%	83,591	852,781	
R3	貸出人数	18,959	21,164	18,135	21,421	13,034	6,755	19,839	18,208	17,396	18,835	17,216	190,962	90%		190,962	
	貸出冊数	83,043	93,479	78,537	94,385	55,563	30,030	87,444	80,226	76,544	84,498	76,099	839,848	93%		839,848	



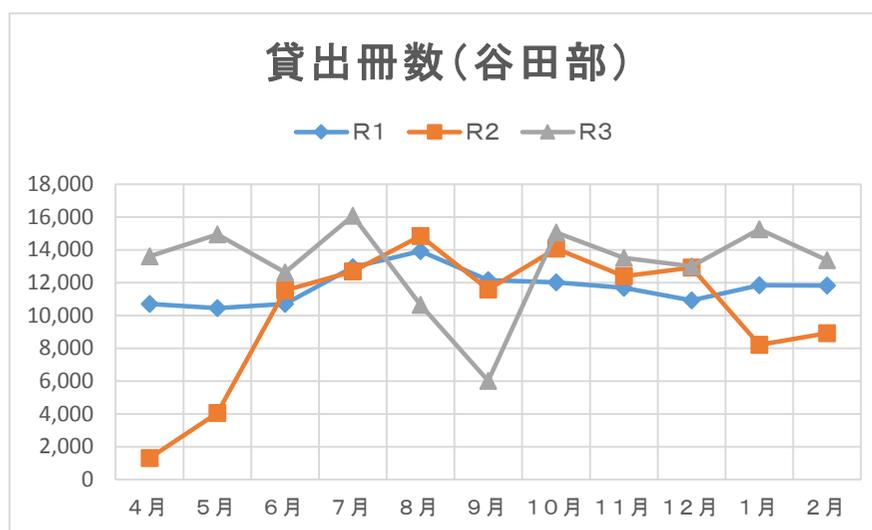
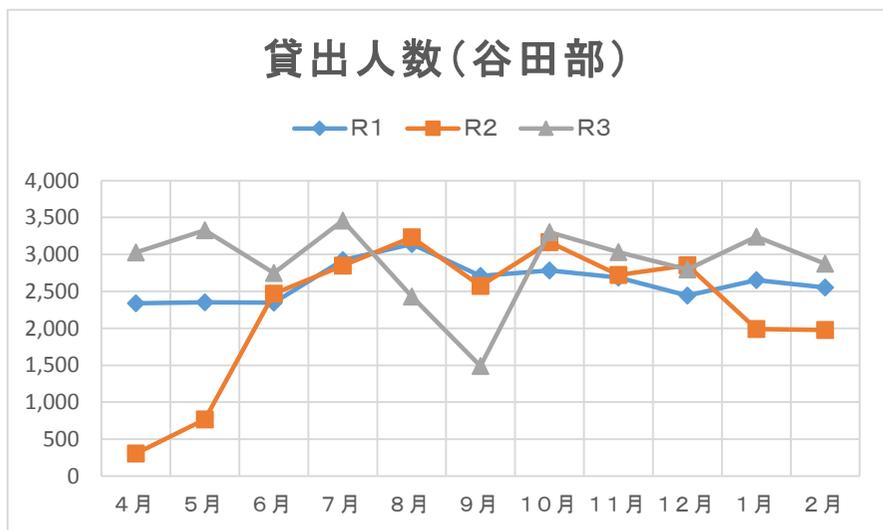
- R2 :4/4~5/11 臨時休館(4/7は時間短縮開館)  
:5/12~5/17 予約本貸出のみ(時間短縮開館)  
▲R3 :8/18~9/23 臨時休館

自動車図書館	年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	小計	R1比較	3月	合計
	R1	貸出人数	730	1,025	1,004	1,099	479	1,226	1,424	1,352	1,335	1,027	849	11,550		484	12,034
	貸出冊数	2,923	3,924	3,648	4,504	2,142	4,475	5,386	5,171	4,837	4,194	3,497	44,701		2,187	46,888	
R2	貸出人数	100	209	829	1,175	574	1,796	1,664	1,108	1,354	1,286	1,316	11,411	99%	1,301	12,712	
	貸出冊数	597	1,158	3,030	3,929	2,702	5,210	4,824	3,930	5,125	4,706	4,615	39,826	89%	4,589	44,415	
R3	貸出人数	839	1,015	1,120	1,224	264	95	1,115	882	1,102	919	454	9,029	78%		9,029	
	貸出冊数	3,328	3,282	3,962	4,440	1,125	461	3,918	3,801	4,217	3,517	2,255	34,306	77%		34,306	



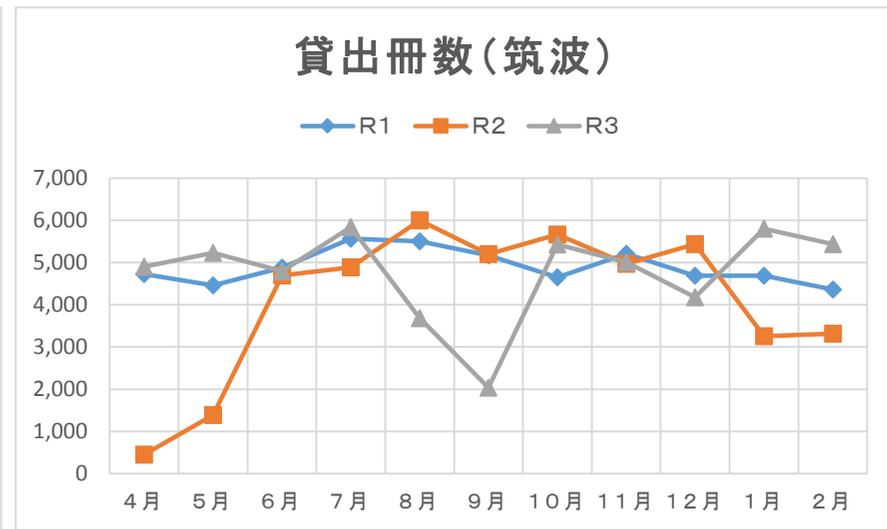
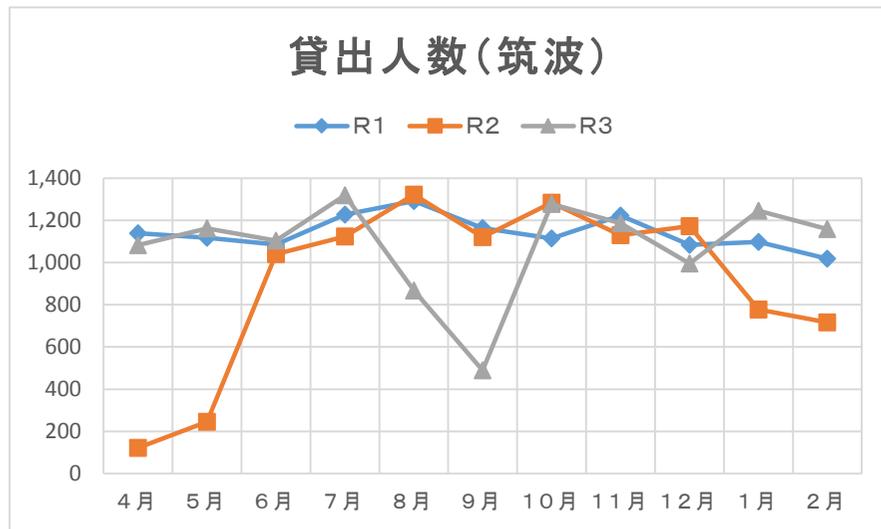
■R2 : 4/4,5、4/8~5/17 運行休止  
▲R3 : 8/18~9/23 運行休止

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	小計	R1比較	3月	合計
		R1	貸出人数	2,339	2,350	2,347	2,923	3,141	2,708	2,782	2,687	2,445	2,653	2,552	28,927	
貸出冊数	10,704		10,453	10,703	12,938	13,909	12,154	12,020	11,677	10,923	11,834	11,813	129,128		13,685	142,813
R2	貸出人数	305	767	2,469	2,849	3,230	2,576	3,168	2,724	2,852	1,991	1,975	24,906	86%	2,994	27,900
	貸出冊数	1,304	4,047	11,532	12,673	14,843	11,580	14,069	12,394	12,923	8,207	8,913	112,485	87%	13,357	125,842
R3	貸出人数	3,029	3,327	2,749	3,457	2,431	1,490	3,303	3,031	2,798	3,242	2,873	31,730	110%		31,730
	貸出冊数	13,609	14,927	12,620	16,066	10,635	6,017	15,051	13,512	12,998	15,258	13,362	144,055	112%		144,055



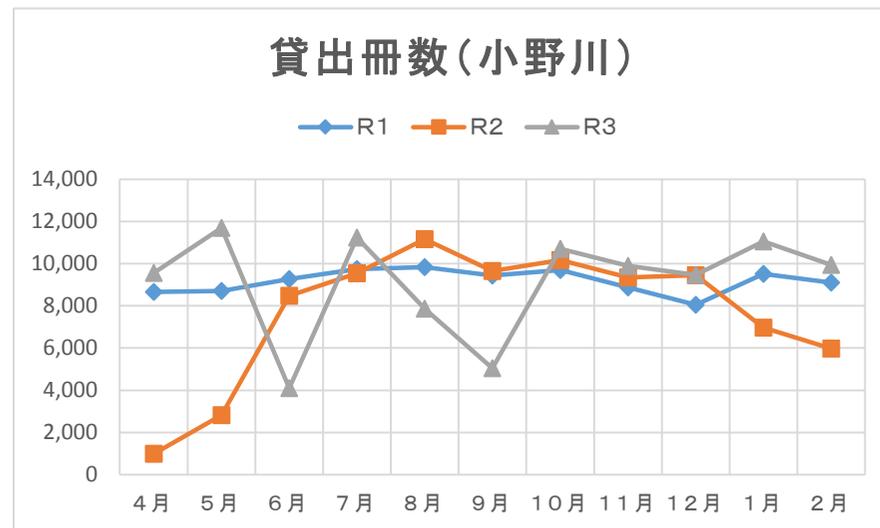
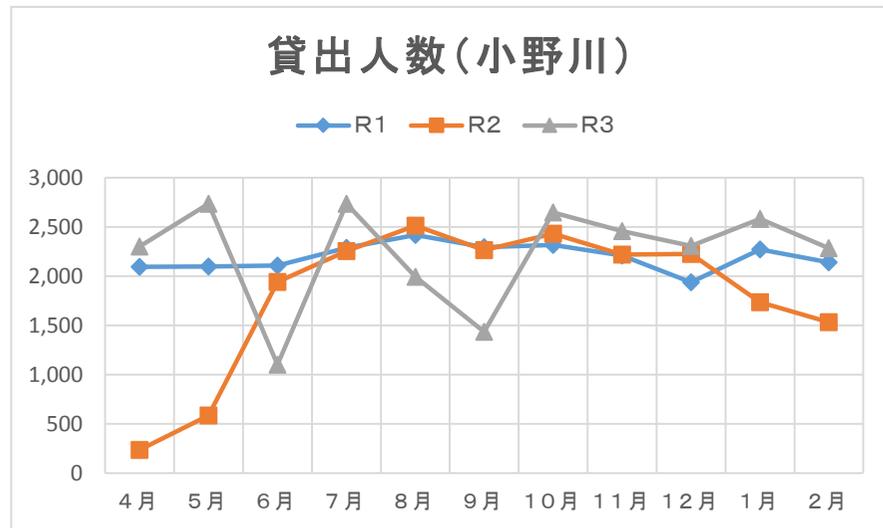
- R2 : 4/4~5/11 臨時休館(4/7は時間短縮開館)  
: 5/12~5/17 予約本貸出のみ(時間短縮開館)  
: 1/19~2/7 臨時休館
- ▲R3 : 8/18~9/23 臨時休館

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	小計	R1比較	3月	合計
		R1	貸出人数	1,138	1,117	1,085	1,227	1,291	1,163	1,115	1,223	1,084	1,098	1,019	12,560	
貸出冊数	4,722		4,456	4,876	5,564	5,502	5,167	4,649	5,203	4,685	4,687	4,358	53,869		5,505	59,374
R2	貸出人数	122	245	1,039	1,124	1,322	1,120	1,283	1,130	1,172	777	717	10,051	80%	1,135	11,186
	貸出冊数	451	1,383	4,696	4,882	6,000	5,196	5,660	4,971	5,433	3,255	3,316	45,243	84%	5,101	50,344
R3	貸出人数	1,083	1,162	1,103	1,318	868	489	1,278	1,186	995	1,246	1,159	11,887	95%		11,887
	貸出冊数	4,902	5,230	4,794	5,841	3,680	2,037	5,424	5,004	4,173	5,797	5,434	52,316	97%		52,316



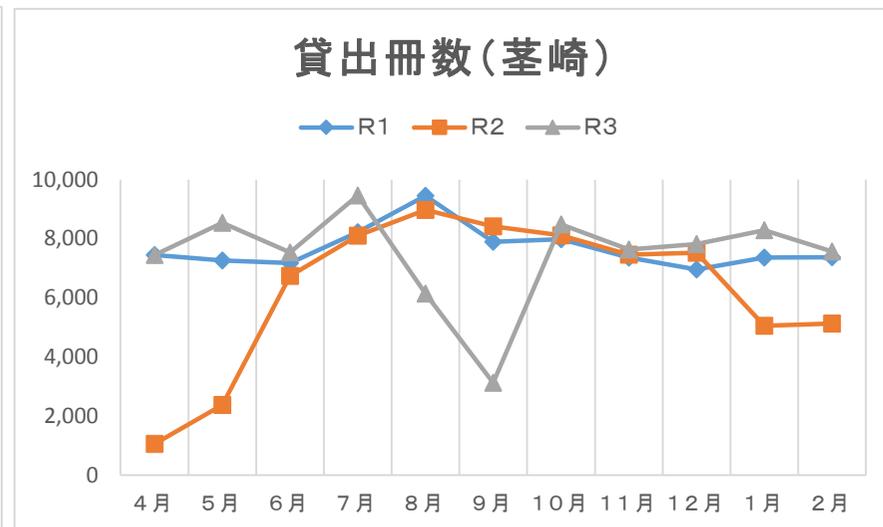
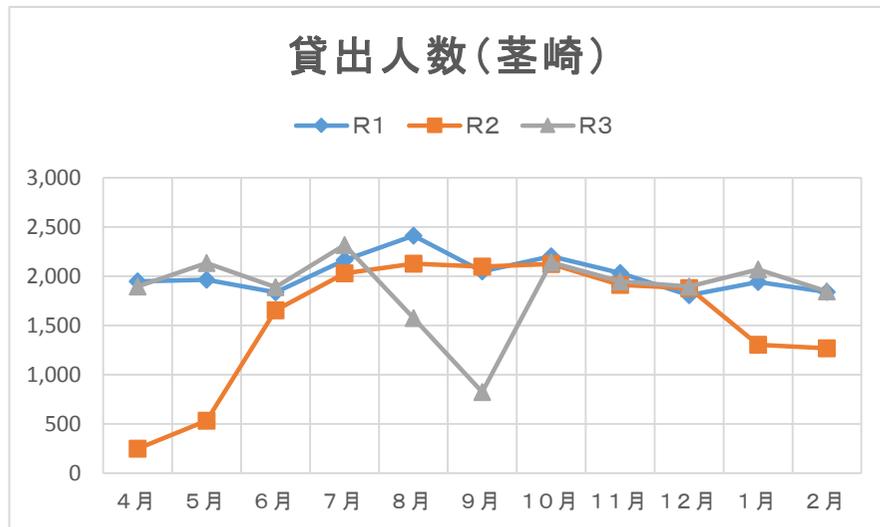
- R2 :4/4~5/11 臨時休館(4/7は時間短縮開館)
- :5/12~5/17 予約本貸出のみ(時間短縮開館)
- :1/19~2/7 臨時休館
- ▲R3 :8/18~9/23 臨時休館

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	小計	R1比較	3月	合計
		R1	貸出人数	2,093	2,098	2,108	2,287	2,416	2,294	2,316	2,208	1,938	2,269	2,139	24,166	
貸出冊数	8,664		8,705	9,264	9,738	9,836	9,440	9,699	8,866	8,051	9,509	9,102	100,874		11,189	112,063
R2	貸出人数	234	584	1,939	2,254	2,513	2,264	2,431	2,217	2,224	1,735	1,532	19,927	82%	2,269	22,196
	貸出冊数	984	2,820	8,482	9,547	11,156	9,653	10,164	9,341	9,448	6,971	5,981	84,547	84%	9,195	93,742
R3	貸出人数	2,300	2,734	1,100	2,733	1,993	1,434	2,645	2,457	2,306	2,579	2,284	24,565	102%		24,565
	貸出冊数	9,550	11,687	4,095	11,242	7,859	5,037	10,699	9,889	9,461	11,045	9,944	100,508	100%		100,508



- R2 : 4/4~5/11 臨時休館(4/7は時間短縮開館)  
       : 5/12~5/17 予約本貸出のみ(時間短縮開館)  
       : 1/19~2/7 臨時休館  
 ▲ R3 : 6/1~6/21 臨時休館(空調設備工事)  
       : 8/18~9/23 臨時休館

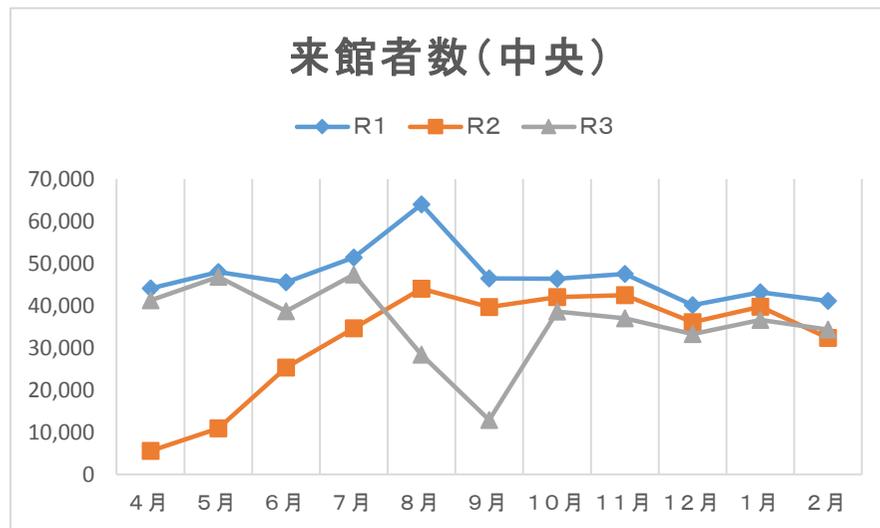
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	小計	R1比較	3月	合計	
																貸出人数
R1	貸出人数	1,946	1,964	1,837	2,164	2,412	2,049	2,202	2,032	1,806	1,941	1,840	22,193		2,235	24,428
	貸出冊数	7,447	7,266	7,177	8,216	9,456	7,894	7,977	7,360	6,962	7,356	7,368	84,479		9,032	93,511
R2	貸出人数	247	531	1,654	2,028	2,128	2,097	2,123	1,910	1,879	1,303	1,266	17,166	77%	1,918	19,084
	貸出冊数	1,057	2,371	6,737	8,104	8,968	8,413	8,110	7,459	7,520	5,048	5,123	68,910	82%	7,440	76,350
R3	貸出人数	1,896	2,134	1,889	2,317	1,573	823	2,140	1,947	1,893	2,068	1,846	20,526	92%		20,526
	貸出冊数	7,450	8,533	7,538	9,460	6,142	3,121	8,478	7,637	7,816	8,283	7,569	82,027	97%		82,027



- R2 : 4/4~5/11 臨時休館(4/7は時間短縮開館)  
: 5/12~5/17 予約本貸出のみ(時間短縮開館)  
: 1/19~2/7 臨時休館
- ▲ R3 : 8/18~9/23 臨時休館

## 来館者数(中央)

中央	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	小計	R1比較	3月	合計
	R1	44,053	47,934	45,495	51,337	63,939	46,447	46,365	47,466	40,097	43,136	41,109	517,378		42,420	559,798
	R2	5,553	10,868	25,307	34,626	43,952	39,634	41,982	42,475	36,063	39,743	32,346	352,549	68%	40,827	393,376
	R3	41,195	46,821	38,661	47,328	28,338	12,849	38,553	36,971	33,265	36,587	34,322	394,890	76%		394,890



- R2 : 4/4~5/11 臨時休館(4/7は時間短縮開館)  
 : 5/12~5/17 予約本貸出のみ(時間短縮開館)  
 ▲R3 : 8/18~9/23 臨時休館

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 05 社会教育費 02 図書館費 12 図書館運営設に要する経費
事業名	電子図書館運営事業
担当課	教育局 中央図書館
事業期間	令和4年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	8,789	0	0	0	0	8,789	0	8,789	
歳出内訳	使用料	1,100	電子図書館使用料					0	1,100
	使用料	7,480	電子書籍使用料					0	7,480
	賃借料	209	電子書籍用目録データ (MARC) 賃借料					0	209

事業の目的	図書館機能をさらに高めながら市民サービスの向上を目指す。
事業の概要	<p>令和4年10月に予定している図書館情報システム更新に合わせて、電子図書館サービスを開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電子図書館運営事業概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 令和4年度導入予定書籍数 2,000タイトル</li> <li>2 電子書籍用目録データ (MARC) 2,000タイトル 図書館情報システムと連携させ、図書館Webページからの検索、貸出を可能とする。</li> <li>3 電子図書館運営開始 令和4年10月予定</li> </ul> </li> <li>○ 予算 <ul style="list-style-type: none"> <li>使用料及び賃借料 <ul style="list-style-type: none"> <li>電子図書館使用料 1,100千円</li> <li>初期導入経費 770千円</li> <li>クラウド使用料 (10～3月) 330千円</li> </ul> </li> <li>電子書籍使用料 7,480千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>電子書籍 (有期限・回数制限タイプ) 3,080千円</li> <li>電子書籍 (無期限タイプ) 4,400千円</li> </ul> </li> <li>目録データ (MARC) 賃借料 209千円</li> </ul> </li> </ul>
事業の効果	<p>電子図書館サービスを開始することにより、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(通称:読書バリアフリー法)の基本理念にあるアクセシブルな書籍・電子書籍等の量的拡充や質の向上が図られる。</p> <p>また、インターネットを利用してサービスが提供できるため、非来館型サービスが実現することになり、コロナ禍における図書館サービスとして効果的である。</p>

# 令和4年度前期の自動車図書館日程表(4月～9月)

資料4

皆さんの地域を自動車図書館が巡回しています(荒天時は運休)。市内在住・在勤・在学の方で利用カードをお持ちの方は、本を借りることができます。小さなお子さん向けの絵本や暮らしに役立つ一般図書、小説など幅広く取りそろえています。また、自動車図書館に載っていない図書の予約やリクエストもできます。詳細はお問い合わせください。

	ステーション①	ステーション②	ステーション③	曜日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
A	東小学校 13:00～14:00	谷田部南小学校 14:30～15:30		火	5日 19日	10日 24日	14日 28日	12日	2日 23日	6月 27日	
B	九重小学校 10:10～10:50	学園の森義務教育学校 13:00～14:00	豊里の杜(せせらぎ公園集会所) 14:30～15:30								
C	緑が丘団地バスターミナル 13:00～14:00	自由ヶ丘団地 14:30～15:30									
D	葛城小学校 13:00～13:40	ビレッジハウス東光台 14:00～14:40	沼崎小学校 15:00～15:40	水	6日 20日	11日 25日	15日 29日	13日 27日	10日 24日	7日 21日	
E	みどりの学園義務教育学校 13:00～14:00	稲岡保育所 15:00～15:40									
F	旧桜庁舎前駐車場 13:00～14:00	新つくばホーム(学園の森) 14:30～15:30									
G	要小学校 13:00～13:40	前野小学校 14:00～14:40	小田児童館 15:10～15:40	木	7日 21日	12日 26日	16日 30日	14日 28日	18日	1日 15日 29日	
H	秀峰筑波義務教学校 13:00～14:00	沼田保育所 14:30～15:30									
I	筑波園 13:00～14:00										
J	桜南小学校 13:00～14:00	上広岡保育所前 14:30～15:30		金	8日 22日	13日 27日	17日	1日 15日 29日	19日	2日 16日	
K	小野川小学校 13:00～13:40	柳橋小学校 14:00～14:40	上横場保育所 15:00～15:40								
L	桜ニュータウンバスターミナル 13:00～14:00										
M	大曾根小学校 13:00～14:00	つくば市役所 14:30～15:30		火	12日 26日	17日 31日	21日	5日 26日	9日 30日	13日	
N	荃崎第一小学校 13:00～14:00	荃崎第二小学校 14:30～15:30									
O	ケアハウスくきの里 13:00～14:00	★老人ホームいちちょうの木 14:30～15:30									
P	吉沼小学校 13:00～14:00	作岡保育所 14:30～15:30		水	13日 27日	18日	1日 22日	6日 20日	3日 17日 31日	14日 28日	
Q	今鹿島小学校 13:00～13:40	上郷郵便局職員駐車場 14:00～14:40	上郷小学校 15:00～15:40								
R	介護老人保健施設なでしこ 13:00～14:00										
S	栗原小学校 13:00～13:40	栄小学校 14:00～14:40	上ノ室保育所 15:00～15:40	木	14日 28日	19日	2日 23日	7日 21日	4日 25日	8日 22日	
T	手代木南小学校 13:00～14:00	桜南児童館 14:30～15:30									
U	★流星台ケアセンターそよ風 13:00～14:00	陽の見公園 14:30～15:30									
V	みどりの学園義務教育学校 13:00～14:00	つくば保健所 14:40～15:30		金	1日 15日	6日 20日	3日 24日	8日 22日	5日 26日	9日 30日	
W	島名小学校 13:00～13:40	ソシエルみどりの集会所 14:00～14:40	真瀬小学校 15:00～15:40								
X	JICA筑波国際センター(高野台) 13:00～14:00										
Y	つくば市役所 14:30～15:30			土	9日 23日	7日 21日	4日 18日	2日 16日 30日	27日	10日 24日	

★はR4年度4月より新しく追加されたステーションです。  
ステーションは今後も随時追加予定ですので、決まり次第別途お知らせいたします。

**問合せ先**  
つくば市立中央図書館  
TEL:029(856)4311

## 4人でチャレンジ！ けっかはっぴょう



「ダイダラボッチ」という<sup>しんかい</sup>深海の生きものの体は何色？

百科じてんを見たけどのってないよ。  
本が見つからな～い。

Aさん



3さつのずかんを見てさがしたよ。  
「NEO<sup>しんかいせいぶつ</sup>深海生物」にのってたよ！

Bさん

ダイダラボッチは大男だって。<sup>しんかい</sup>深海には  
いないはず。

ダイダラボッチ

Cさん

しゃしんがたくさん見つかったよ。  
正しいしょうほうかな？  
えびの形をしている！

ダイダラボッチ 深海

Dさん

こたえは「白色」だよ！  
せかいさいだいのヨコエ  
ビのなかまでです。  
本当に白色か  
いろいろな調べ方にチャ  
レンジしてみてね。

<参考資料>  
「小学館の図鑑●NEO  
深海生物」藤原義弘/  
総合監修 小学館  
2021

## 本で調べる？ ネットで調べる？



知りたいことがあったら、どうやって調  
べますか？



人に聞いてみたり、出かけたり、本や  
インターネットからさがしたりと、いろい  
ろな調べ方がありますね。



つぎのページでは、本とインターネット  
のちがいをまとめてみました。

きみも調べもの名人になれるかも！



本で調べる？ ネットで調べる？



ぼくは、本で調べてみたよ。

- よいところ ● せきになひょうじ  
 ・ 書いた人の名前（責任表示）があり、  
 ふくすうの人がチェックしている。しんらい信頼できる。



- !! 気をつけて !!
- ・ 1さつだけではなく 2・3さつ 見くらべて、調べよう。
- ・ じょうほうが古いことがある。  
 （しゅっぱん年をかならずかくにんしよう。）

ネットで調べてみたよ。



- よいところ ●
- ・ 新しいじょうほうが入る。
- ・ たくさんのじょうほうがかんたんに見られる。

- !! 気をつけて !! せいかく
- ・ 早く見つかるけれど正確ではないサイトもおおくある。
- ・ ふくすうのサイトで確認しよう。かくにん



Q 4人でチャレンジ! ダイダラボッチという深海生物の体の色は何色? しんかいせいぶつ

本で調べる

百科じてんなら  
なんでものってるし  
ラクショーだ!

Aさん

ずかんを何さつか  
みてみよう!  
わたし、さくいん  
知ってるしー。

この本のさくいんには  
ないなー。  
あ、この本のさくいん  
にのってる!

Bさん

ネットで調べる



Cさん

ダイダラボッチ

ネットで調べれば  
すぐだもんね。

ぼくは、キーワード  
を2こ入れてみ  
ようっと。

Dさん

ダイダラボッチ 深海

けっかは、  
つぎのページ!



# 名作は 書庫に ねむる

特集

ここにいるよ……

いいしごとしてますね



## 思考の整理学

外山滋比古/著

1983年の刊行ながら、難関大学の学生に支持され続けているという思考法の入門書。朝の頭は効率がいい、つんどく法など、自分の頭で考える方法がわかりやすく書かれています。ちくま文庫



141.5/ト



## アルジャーノンに花束を

ダニエル・キイス/著 小尾美佐/訳

知的障害をもつ心優しい青年が先端の脳手術を受け、同じ手術で天才となったアルジャーノンと知能を競いあうというSF小説の名作。アルジャーノンは、なんと！白ねずみなのです。ご一読を。早川書房



933/キ



## モモ

ミハエル・エンデ/作 大島かおり/訳

モモはどこからきたのかわからない女の子。時間泥棒に盗まれた時間を、人間に取り返してくれるモモの不思議な物語です。ドイツ児童文学賞に輝いた本書は大人にも読み応えあり。岩波書店



943/エ



## どうぞのいす

香山美子/作 柿本幸造/絵

うさぎさんが作ったいすの横には「どうぞのいす」の立て札。次々に通りかかる動物たちがそれを読んで行動します。愉快なお話ですが、思いやりの心がじんわり伝わってくる絵本です。ひさかたチャイルド



E/カ



## 夏の庭

湯本香樹実/著

「人は死んだらどうなるのだろう」そんな興味から近所の老人を見張ることにした少年たち。けれどおじいさんが教えてくれたのは……。少年たちが過ごした忘れられない12才の夏休みのお話。徳間書店



ユモト



## 記事

- イベント企画あれこれ「としょかんから夏のおたのしみ」 「The World Week @中央図書館」……3面
- 連載 ほんとの話『麦の海に沈む果実』……4面
- New! 連載 雑誌Pick Up! 『鉄おも!』……4面
- 雑誌スポンサー募集中……4面

## 図書館からのお知らせ●お願い

- ▶ 『ファーストブック講座』…赤ちゃんのための本の紹介や絵本選びのコツなどご紹介します。3月開催予定です。
- ▶ おはなし会や各イベントはコロナ対策をしながら開催しています。HP/掲示等で最新情報をご確認いただき、ご参加ください。
- ▶ 中央図書館のほか、交流センター図書室(谷田部・小野川・荻崎・筑波)や自動車図書館(48カ所巡回中)でも貸出/返却ができます。



## つくば市立中央図書館 HP

Webから本の検索ができます。  
イベント情報や、  
図書館情報紙『ヨモッカ』も掲載中。

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/kankobunka/bunka/toshokan/index.html>



**アミ小さな宇宙人** 新装改訂版  
エンリケ・バリオス/著 石原彰二/訳



ユーモラスでいたずらっ子の小さな宇宙人アミが伝える物語のテーマは、民族間の兄弟愛や平和。1986年にチリでベストセラーになり11か国語に翻訳されました。日本版はさらにもこさんの挿絵が魅力。徳間書店

963/バ

**夜と霧** 新版  
ヴィクトール E.フランクル/著 池田香代子/訳



原題の直訳は「心理学者、強制収容所を体験する」。ホロコーストの負の歴史のルポルターージュとしてあまりにも有名な本書。悲惨さだけでなく人間の偉大さも描いています。みすず書房

946/フ

**イシューからはじめよ**  
安宅和人/著



近著『シン・ニホン』が話題になった著者の代表作。何かをなすには人生はあまりにも短いという命題のもと、やるべきことが100分の1になる問題解決法を紹介しています。英治出版

336.2/ア

**銃・病原菌・鉄** 上・下  
ジャレド・ダイヤモンド/著 倉骨彰/訳



ピューリッツァー賞受賞作。全2巻の大著ですが、読破すればなぜ人間は5つの大陸で異なる発展をとげたのか?という壮大な謎が解けるかも。13000年の人類史を辿ってみてください。草思社

204/タ

**悪童日記** こんな本もありますよー  
アゴタ・クリストフ/著 堀茂樹/訳  
早川書房 953/ク

**風が強く吹いている**  
三浦しをん/著 新潮社 ミウラ

**火の鳥** 全11別1巻  
手塚治虫/著 朝日新聞出版 726.1/テ

**7つの習慣**  
スティーブン・R・コヴィー/著 ジェームス・J・スキナー、川西茂/訳 キング・ペアー出版 159/コ

**西の魔女が死んだ**  
梨木香歩/著



中学校に進んでもまもなく不登校になってしまったまい。初夏へのひと月を西の魔女=祖母のもとで魔女修行することになります。著者のデビュー作にして児童文学各賞を受賞した、癒しと自立の物語。新潮文庫

ナシキ

**妻を帽子とまちがえた男**  
オリヴァー・サックス/著 高見幸郎、金沢泰子/訳



脳神経科医のサックス博士が会った奇妙で驚きに満ちた症例を抱えた患者たちを、愛情をこめて描いた医学エッセイです。興味本位の驚きだけでなく、感動も与えてくれるのがすごい。ハヤカワ文庫

493.7/サ

**金持ち父さん貧乏父さん**  
ロバート・キヨサキ、シャロン・レクター/著  
白根美保子/訳 筑摩書房 159/キ

**数の悪魔**  
エンツェンスベルガー/著 ベルナー/絵  
丘沢静也/訳 晶文社 410/エ

**組曲「惑星」(CD)**  
ホルスト/作曲 ヘルベルト・フォン・カラヤン/指揮  
ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団/演奏 A12/ホル

**光の旅かげの旅**  
アン・ジョナス/著 内海まお/訳



不思議な存在感を放つモノクロの絵本です。明け方、車で家を出発して、農場を過ぎ…、過ぎていく一日の風景はやがて町に着いて陽が沈む。ところがここから驚きの景色が見えてきます。評論社

E/ジ

**沈黙の春**  
レイチェル・カーソン/著 青樹築一/訳



美しい書名のこの本は、世界でいち早く自然破壊、環境問題に警鐘を鳴らしながら、孤立無援のうちに出版されたという、エコロジーの名著です。同著者の『センス・オブ・ワンダー』もご一読を。新潮社

519/カ

**モリー先生との火曜日**  
ミッチ・アルボム/著 別宮貞徳/訳



ジャーナリストの著者は、難病ALSを闘病中の恩師と再会。動かなくなった体で人とのふれあいを楽しむモリー先生との最後の授業の日々を綴った感動のノンフィクションです。日本放送出版協会

936/ア

**わたしのワンピース**  
にしまさ かやこ/えとぶん



出版から半世紀を過ぎても色あせない名作絵本です。うさぎの「わたし」が着る白いワンピースが、お花畑にいくと花もように、雨が降ると水玉もように、次々に変わります。こぐま社

E/ニ

書庫の本を借りるには

図書館の資料は開架の本棚に並んでいるものと、書庫にあるものがあります。探している資料が「書庫」にあるとわかったら、以下の2つの方法のいずれかでカウンターにお申し出ください。

検索機で調べて、検索機に備え付けのプリンターから書庫出納票を印刷して渡す。



カウンターや検索機に備え付けの書庫出納票に記入し渡す。



資料の準備ができましたら、レファレンスカウンターにあるホワイトボードに番号が表示されますので、館員に番号札をお渡しください。



コロナ禍  
でも

# イベント企画 あれこれ

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年とは少し異なりますが、様々なイベントを開催しました。今年も工夫を凝らしたイベントをする予定ですので、ぜひ図書館へお越しください。



↑「幼児向け」「1・2年生向け」「3・4年生向け」「5・6年生向け」「中学生向け」に分けて児童コーナーで本の福袋を展示。

←こちらの福袋には「さかなくてふしぎ」というテーマで1・2年生向けの本が2冊入っています。中はどうな本かなあ…。

～本の福袋企画～

## としょかんから 夏のおたのしみ

2021.8/7～8/8

「としょかんから夏のおたのしみ」は、テーマに合わせた2冊の本を職員が選び、本の福袋として貸し出しするイベントです。「ミステリー」「はなび」など、いろいろな角度からテーマを決め、貸し出しました。



●テーマ「旅にでかけよう」の5・6年生向けの福袋の中の様子。①『家をせめて歩く かんぜん版』村上憲/作 福音館書店②『ぼくのたび』みやこしあきこ/作 ブロンズ新社の2冊が入っていました。

## The World Week

@

## 中央図書館

2021.11/4～11/30



「図書館で、世界の『そうなんだ!』を見つけよう」をテーマに、世界の絵本展示やSDGs関連展示、パズルクイズの配布などを行いました。図書館にいながらにして世界を感じることができるイベントです。JICA筑波、県立竹園高校の御協力をいただきました。



### 世界のおはなしくらべっこ

「キツネは賢い？ネズミは親切？」世界の昔話を中心に、色んな国のとらえ方の違いを絵本の展示で紹介しました。

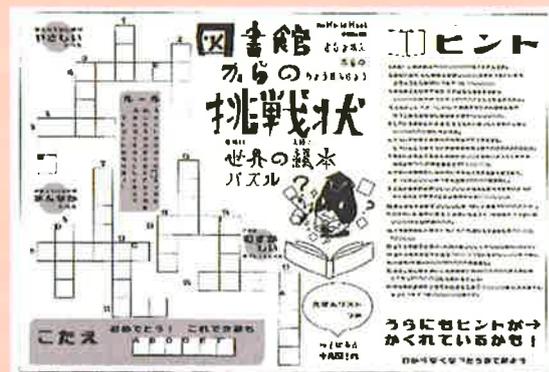


### 学びたい？学べない？世界のいま

●世界各国の「教育」について、パネルで紹介しました。触って学べる企画や、SDGsの活動の展示も。

●ケニアの衣装も展示しました。

これからの図書館イベント情報  
●おはなし会…人数制限を設けて開催中。  
●ファーストブック講座…赤ちゃん向けの絵本を紹介。例年3月に2回開催。  
※詳しくは中央図書館ホームページでご確認ください。



### 図書館からの挑戦状

●絵本のタイトルを使ったパズルに挑戦！ヒントを手がかりに全問正解なるか？

# ほんとの話

図書館員の  
忘れられない本



## 『麦の海に沈む果実』

オンダ

この4月図書館へ  
異動してきたHさん

原田 陸/作 講談社 2000

「三月以外に入ってくる生徒は不吉の象徴」と囁かれる、湿原に囲まれた特殊な全寮制の学園へ、主人公・理瀬は二月の最後の日に転入します。そこでは生徒の失踪事件が起こり、やがて殺人事件まで……。少女に訪れる出会いと別れの季節の物語。

<これは、私が古い革のトランクを取り戻すまでの物語である。>という冒頭の一文が好きで、旅先には必ず持って行く一冊でした。おいそれと外出できない日々が続いていますが、この本を開く度に、物語の舞台だけではなく今まで旅してきた場所にも思いを馳せます。



# 雑誌 Pick Up!



## 『鉄おも!』 ネコ・パブリッシング 2021

『鉄おも!』という雑誌を知っていますか? 「鉄」は「鉄道」、「おも」は「おもちゃ」のことです。誌名のとおり、鉄道模型など様々な鉄道グッズがたくさん載っています。でも、それ以上に、実際の鉄道車両の情報が充実しているのです! 引退する車両、新デザイン車両の紹介や、車両の仕組み、路線名の秘密、鉄道ビュースポットなど、毎号楽しい内容が載っています。写真もたくさん、全てふりがなありなので、子どももひとりで楽しめます。親子で一緒に読んで、お気に入りの車両を見に行ったり、乗りに行ったりしてみたいはかがでしょう。



# 雑誌スポンサー募集中

令和4年度、雑誌スポンサーを募集します。

スポンサーになっていただける企業・個人の事業所・団体等を募集します。

雑誌の最新号カバー等にスポンサー名および広告を掲出いたします。



スポンサー料

15,000円/年(年度途中からは月額1,250円として年度末まで)

認定期間

令和4年4月1日~令和5年3月31日(更新可能)

受付

令和4年2月18日~随時募集



詳しくは、WEBへ

令和3年度 雑誌スポンサー (令和3年12月現在)



中央図書館  
ご案内

開館時間 9:30~19:00 ※特別開館日は17:00閉館  
休館日 月曜日・祝祭日・年末年始・その他館内整理日  
住所 つくば市吾妻2-8 電話番号 029-856-4311  
駐車場 北2・南2駐車場: 駐車券持参で2時間無料  
自転車駐車場 中央図書館南: 駐車証明書持参で1日サービス券有り  
中央公園東・中央図書館西: 2時間まで無料



ヨモッカ  
バックナンバーはこちら